

市民アンケート調査  
報告書

平成 31 年 3 月  
富津市



# 目次

I 調査概要	1
1. 調査の趣旨	1
2. 調査の方法	1
3. 回答結果	1
4. 調査結果の見方	1
II 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 富津市について	5
(1)富津市への誇り・愛着	5
(2)富津市の住みごころ	7
(3)富津市への定住意向	9
(4)富津市での生活の満足度	11
(5)富津市に重要なこと	39
(6)参加している地域活動	43
(7)地域活動への参加意欲	47
(8)地域活動に参加しない理由	49
(9)富津市から連想するキーワード	53
(10)富津市の強み	57
(11)幸せだと感じた時・事	58
3. 子育てや結婚について	59
(1)富津市の子育てのしにくさ	59
(2)子育てしやすい地域になるために必要なこと	61
(3)未婚・既婚の別	64
(4)未婚者が結婚しない理由	65
III 分析結果	69
1. 市民と富津市との関係	69
(1)市民(顧客)の満足度と価値度	69
(2)定住意向による満足度からの魅力度	70
2. 生活環境評価意識	71
(1)富津市の強みと弱み	71
(2)満足度と重要度からの施策優先分野	73
IV 基本目標に関する意見	74



# I 調査概要

---

## 1. 調査の趣旨

2020年度以降の富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に当たり、現在の富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の各基本目標に係る数値目標の達成状況を確認するとともに、市民の富津市や子育て・結婚に関する意識を把握するため、市民向けのアンケート調査を実施する。

## 2. 調査の方法

調査対象	市内在住 15 歳以上の男女 2,000 人
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収方式
調査期間	平成 30 年 6 月 22 日～7 月 3 日

## 3. 回答結果

配布数	2,000
有効回答数	422
有効回答率	21.1%

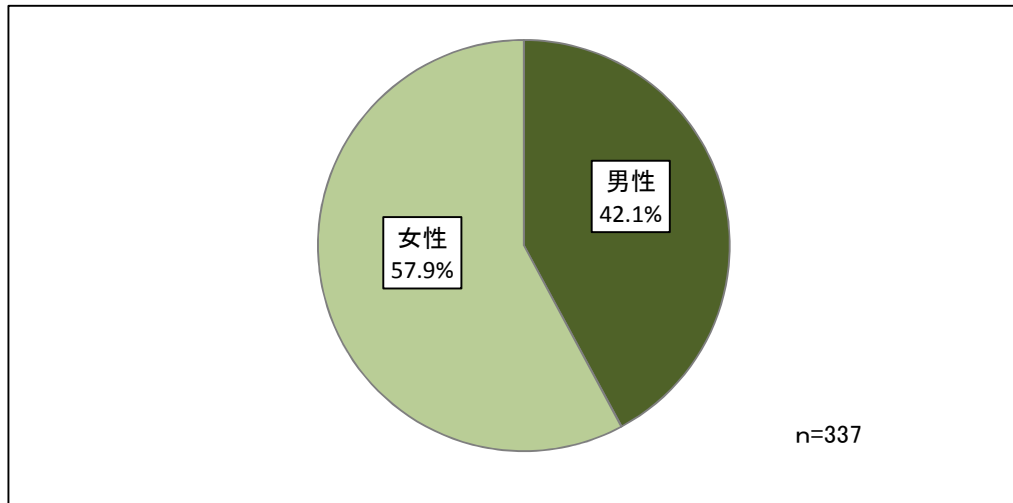
## 4. 調査結果の見方

- ①各設問の比率は、傾向を分かりやすくするために「無回答」を除外して算出している。
- ②本文中の「SA」「MA」は以下の概略である。また、「n」はその設問の有効回答数を示す。
  - ・「SA」(Single Answer)：単一回答形式（選択肢の中から1つを選択してもらう設問）
  - ・「MA」(Multiple Answer)：複数回答形式（選択肢の中から複数を選択してもらう設問）
- ③掲載しているグラフの単位は「%」で、各設問の標本数を100%とした百分比で表示した（※ただし、問9のP53横棒グラフ、問10のP57上段横棒グラフ、問11のP58上段横棒グラフを除く。）。また、原則として小数点第2位を四捨五入してあり、その結果として「SA（単一回答形式）」では、この比率の合計が100%にならないこともある。
- ④「MA（複数回答形式）」では、回答者が複数の選択肢を選択するため、百分比（%）の合計は通常100%を超える。

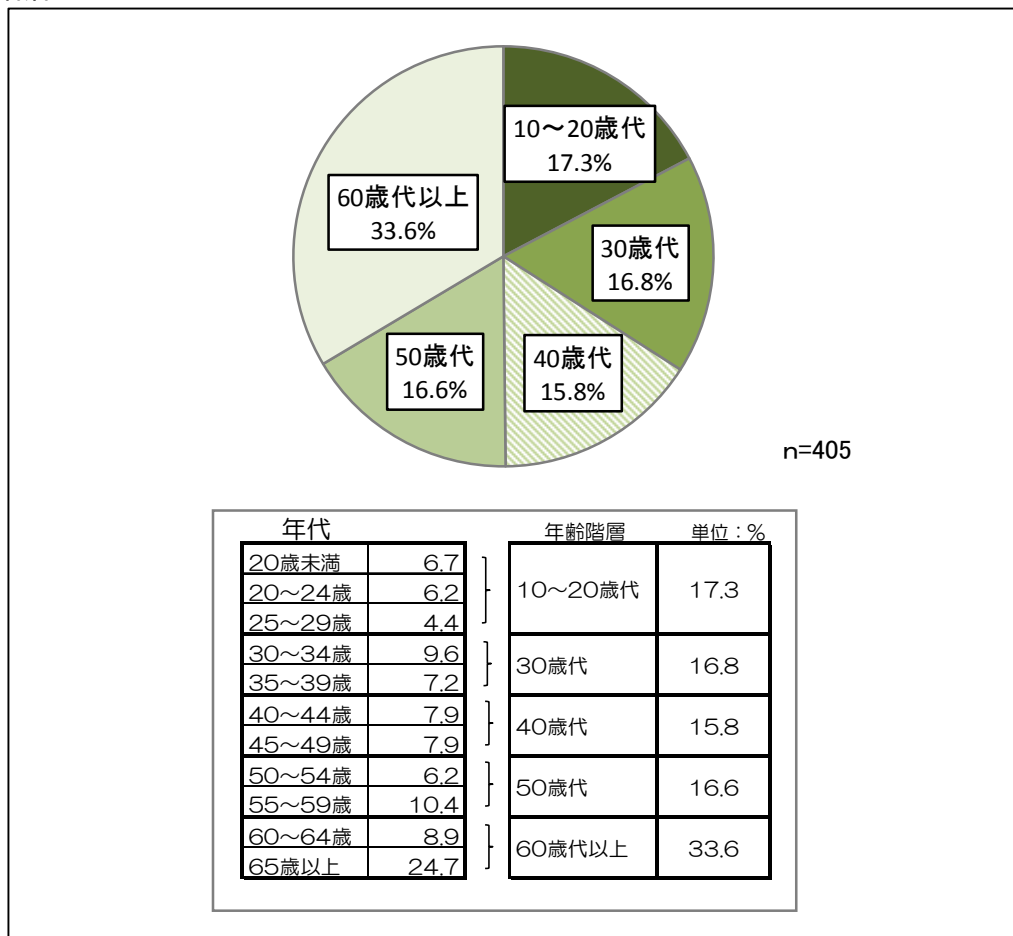
## Ⅱ 調査結果

### 1. 回答者の属性

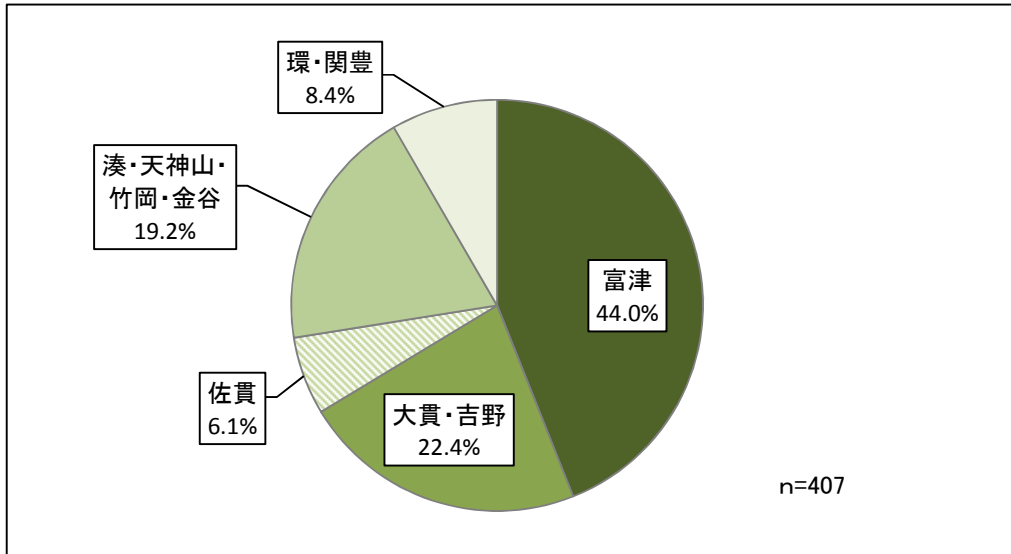
#### ①性別



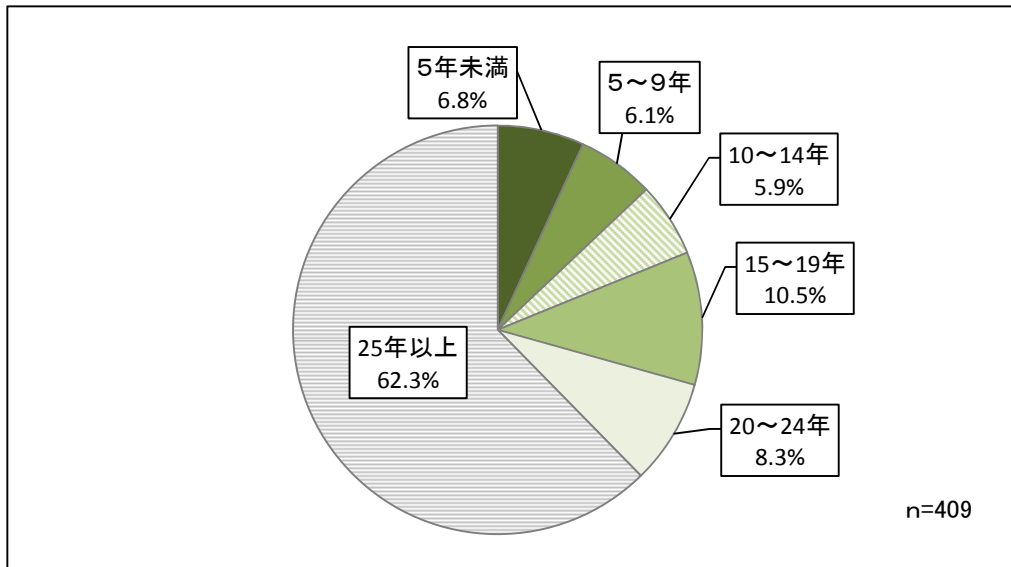
#### ②年齢階層



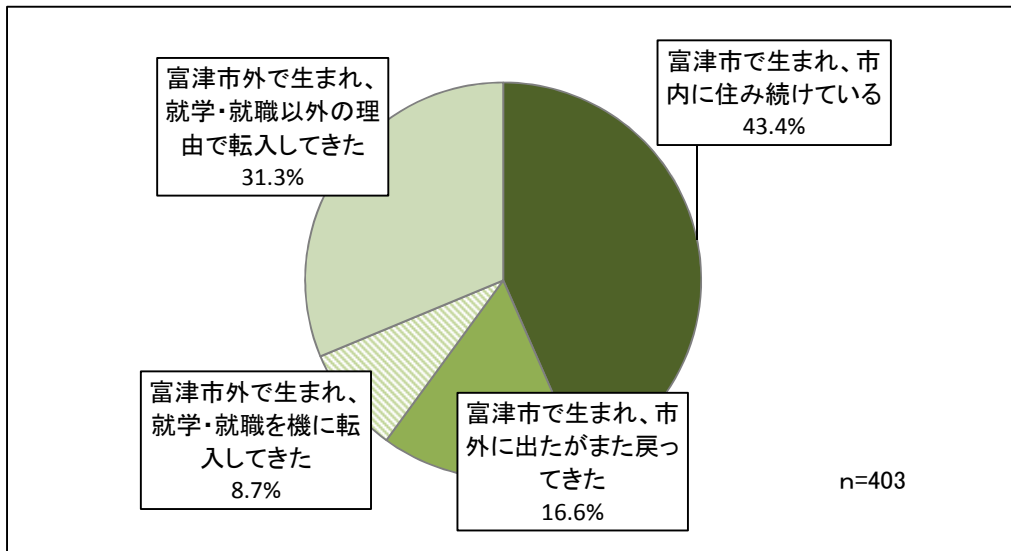
③居住地区



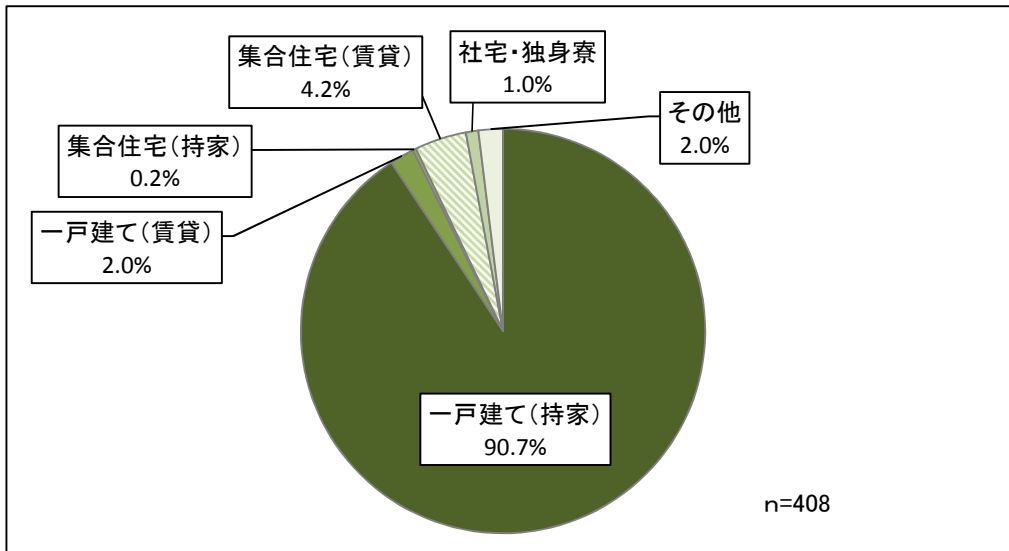
④市内在住年数



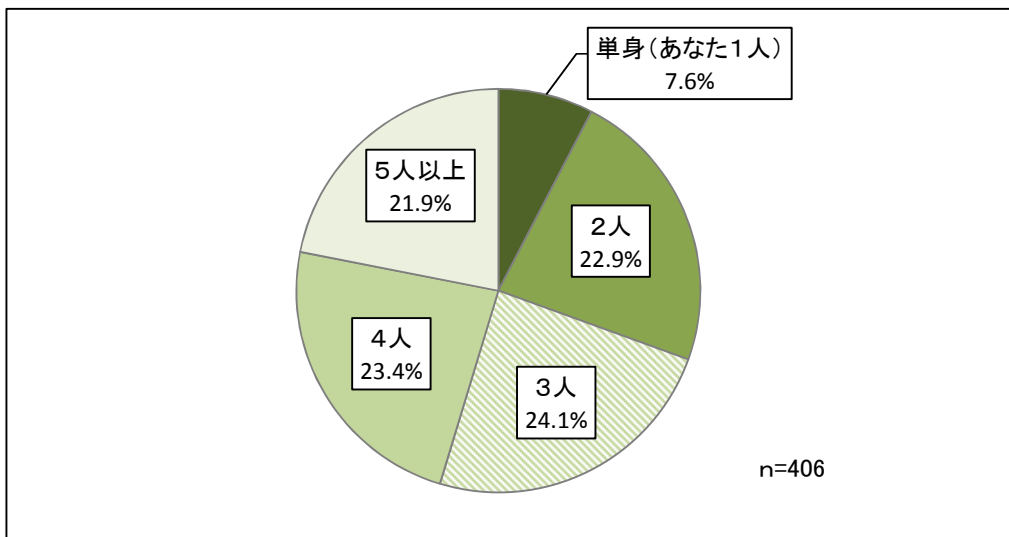
⑤転入の有無



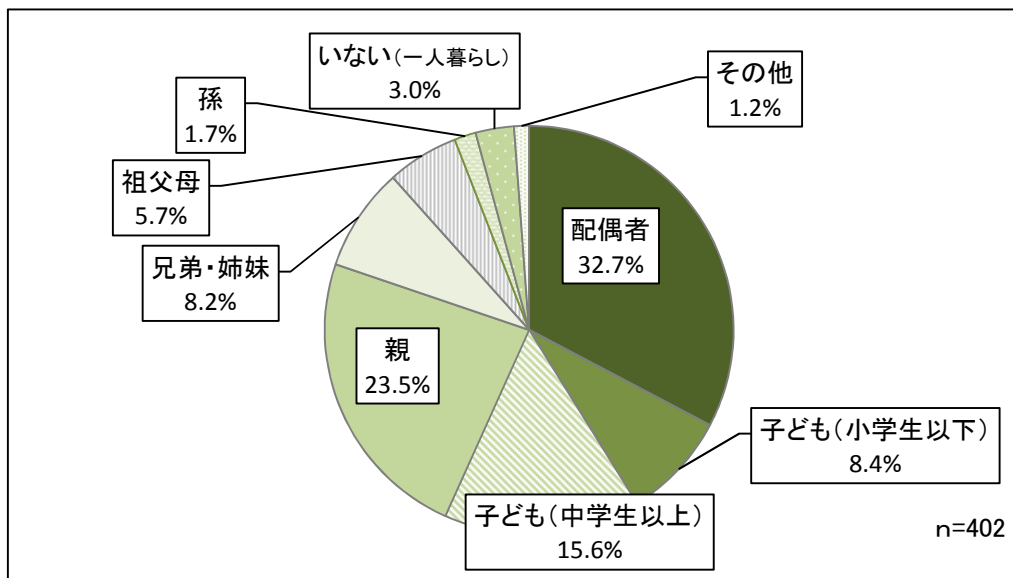
⑥居住形態



⑦世帯人数



⑧同居者



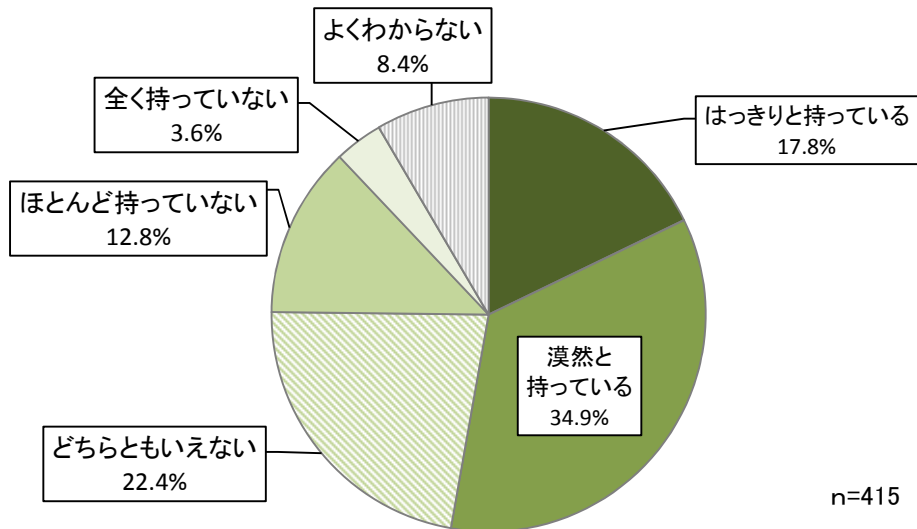


## 2. 富津市について

### (1) 富津市への誇り・愛着

問1 あなたは、富津市に誇りや愛着を持っていますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

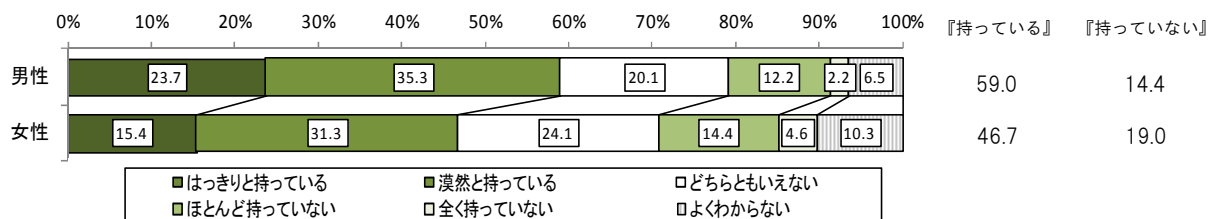
「はっきりと持っている」「漠然と持っている」を合わせた『持っている』は52.7%で、「ほとんど持っていない」「全く持っていない」を合わせた『持っていない』の16.4%を大きく上回っていることから、全体的な傾向として、市民は富津市に誇りや愛着を感じているといえる。



### ■ 属性別動向

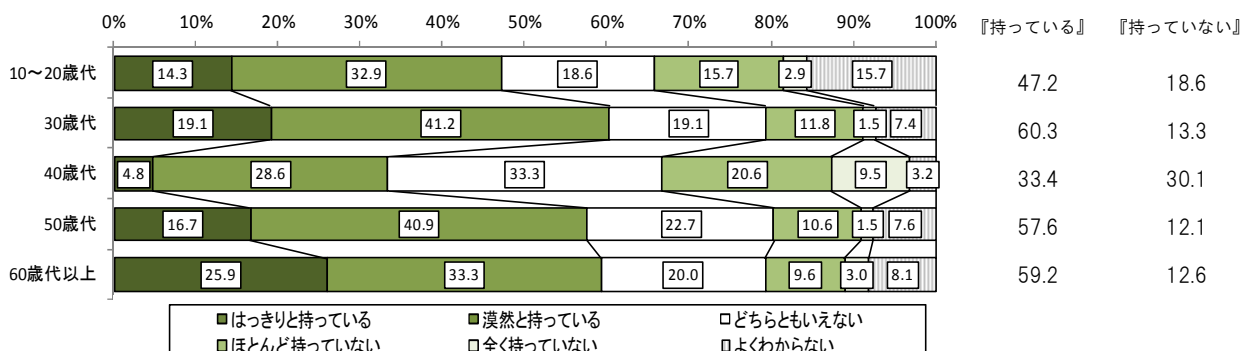
#### ① 性別

・『持っている』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



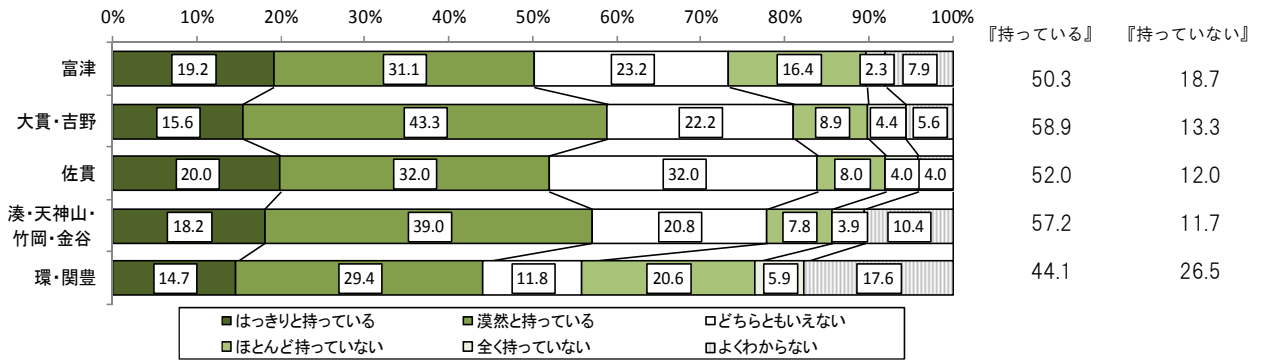
#### ② 年齢階層別

・『持っている』の回答比率が最も高いのは30歳代となっている。『持っていない』の回答比率が最も高いのは40歳代で、他の年代と比較して突出している。



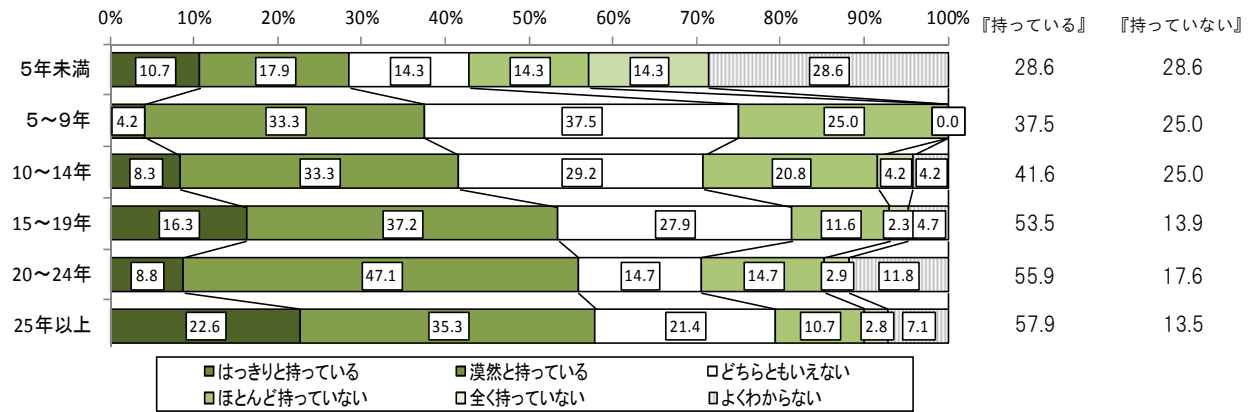
### ③居住地区別

・『持っている』の回答比率が最も高いのは大貫・吉野地区で、『持っていない』の回答比率が最も高いのは環・関豊地区となっている。



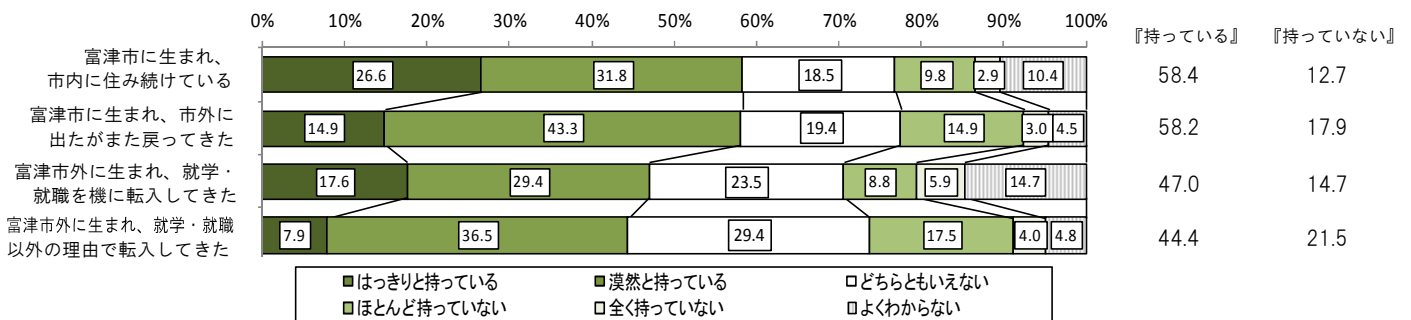
### ④市内在住年数別

・市内在住年数が長くなるにつれて、『持っている』の回答比率が高くなっている。



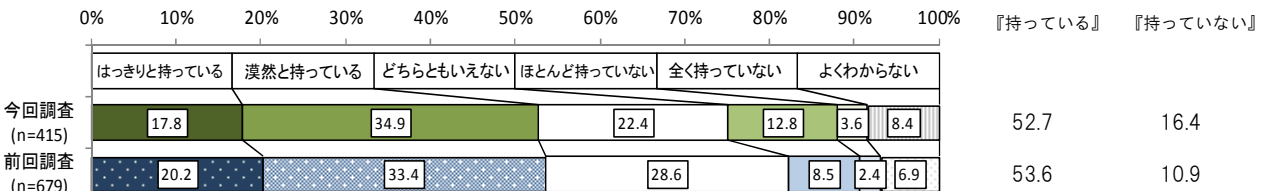
### ⑤転入の有無別

・市内で生まれた方が市外で生まれた方より『持っている』の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

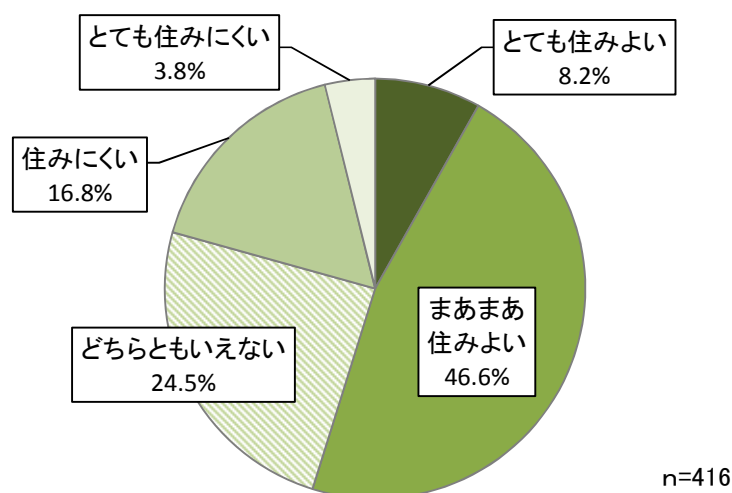
・前回調査と比較して『持っている』の回答比率は微減し、『持っていない』の回答比率は増加している。



## (2) 富津市の住みごころ

問2 富津市の住みごころはいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

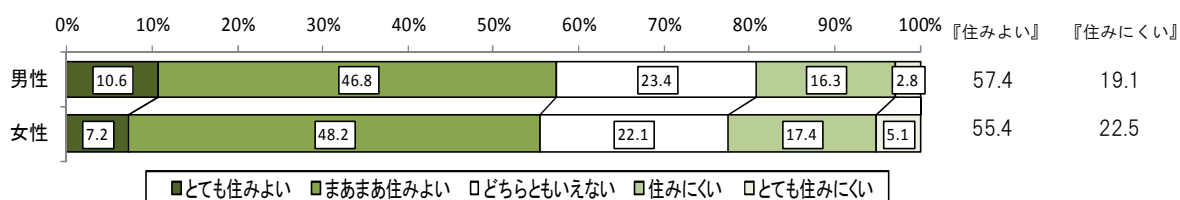
「とても住みよい」「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよい』は54.8%で、「住みにくい」「とても住みにくい」を合わせた『住みにくい』の20.6%を大きく上回っていることから、全体的な傾向として、市民は富津市の住みごころに満足しているといえる。



### ■ 属性別動向

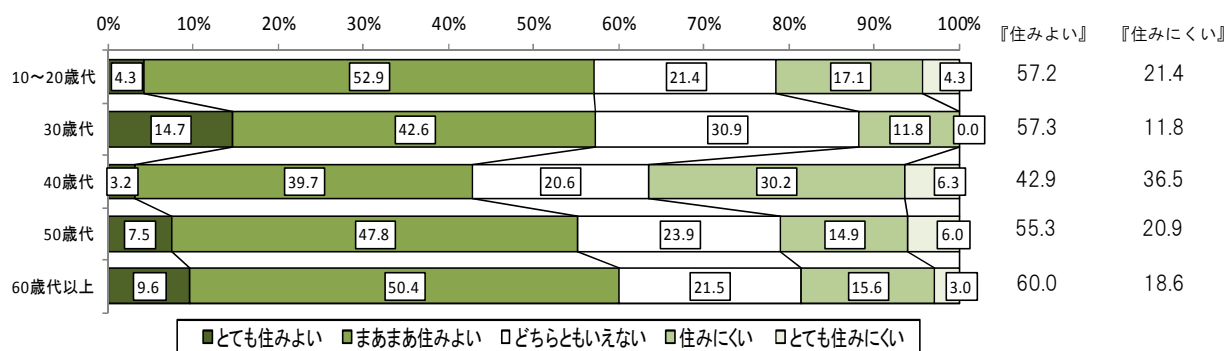
#### ① 性別

・『住みよい』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



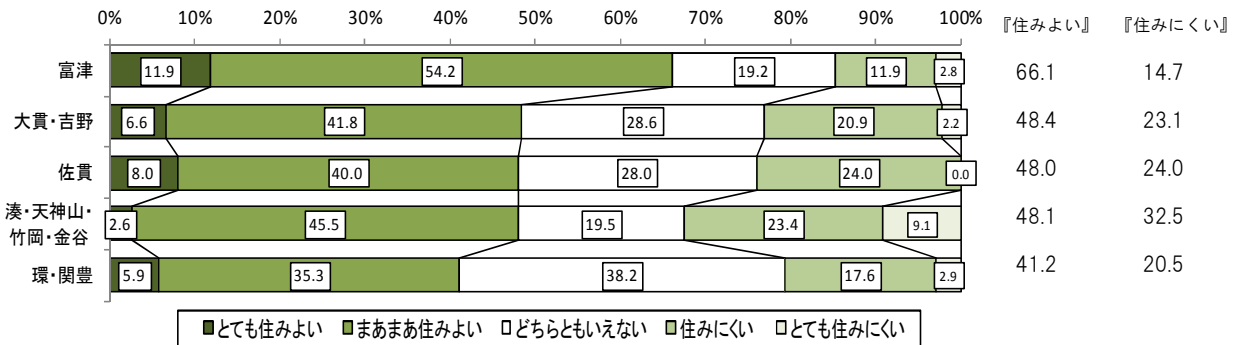
#### ② 年齢階層別

・『住みよい』の回答比率が最も高いのは60歳代以上となっている。『住みにくい』の回答比率が最も高いのは40歳代で、他の年代と比較して突出している。



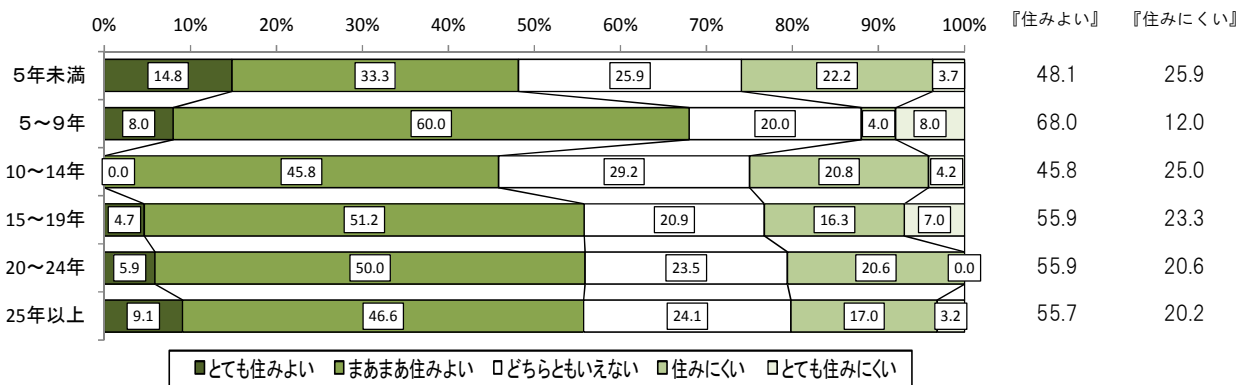
### ③居住地区別

・『住みよい』の回答比率が最も高いのは富津地区で、他の地区と比較して突出している。『住みにくい』の回答比率が最も高いのは湊・天神山・竹岡・金谷地区となっている。



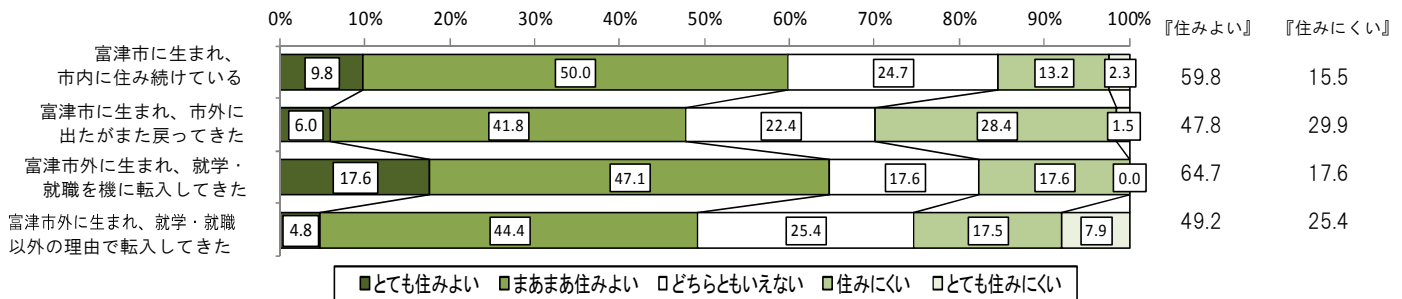
### ④市内在住年数別

・『住みよい』の回答比率が最も高いのは5～9年在住で、他の区分と比較して突出している。



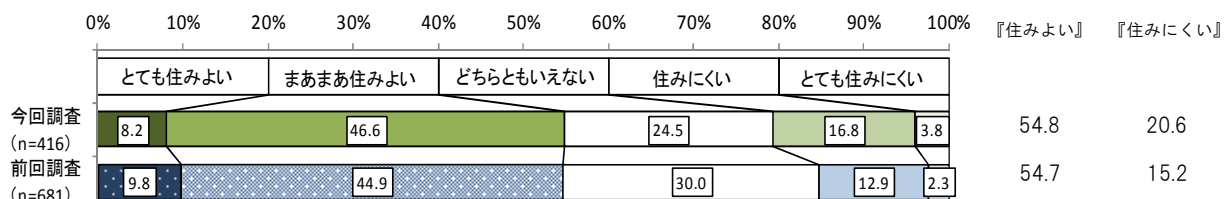
### ⑤転入の有無別

・『住みよい』の回答比率が最も高いのは就学・就職を機に転入してきた方で、『住みにくい』の回答比率が最も高いのは市外に出たがまた戻ってきた方となっている。



### 前回調査との比較

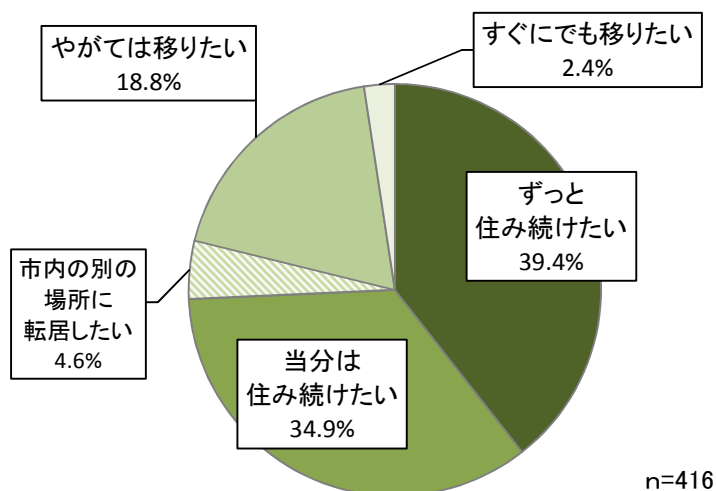
・前回調査と比較して『住みよい』の回答比率はほぼ横ばいだが、『住みにくい』の回答比率は増加している。



### (3) 富津市への定住意向

問3 あなたは、これからも富津市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○をつけてください。(SA)

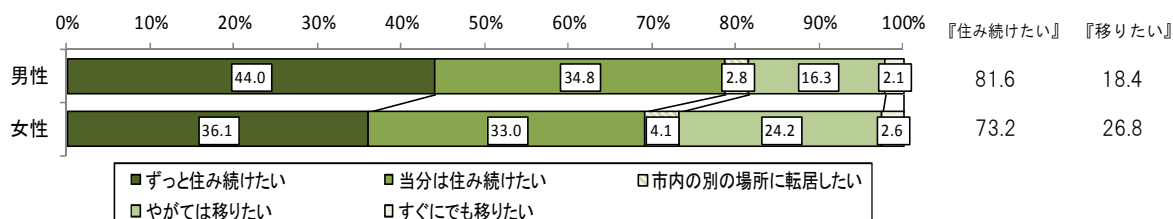
「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」「市内の別の場所に転居したい」を合わせた『住み続けたい』は78.9%で、「やがては移りたい」「すぐにでも移りたい」を合わせた『移りたい』の21.2%を大きく上回っていることから、全体的な傾向として、市民の定住意向は高いといえる。



#### ■ 属性別動向

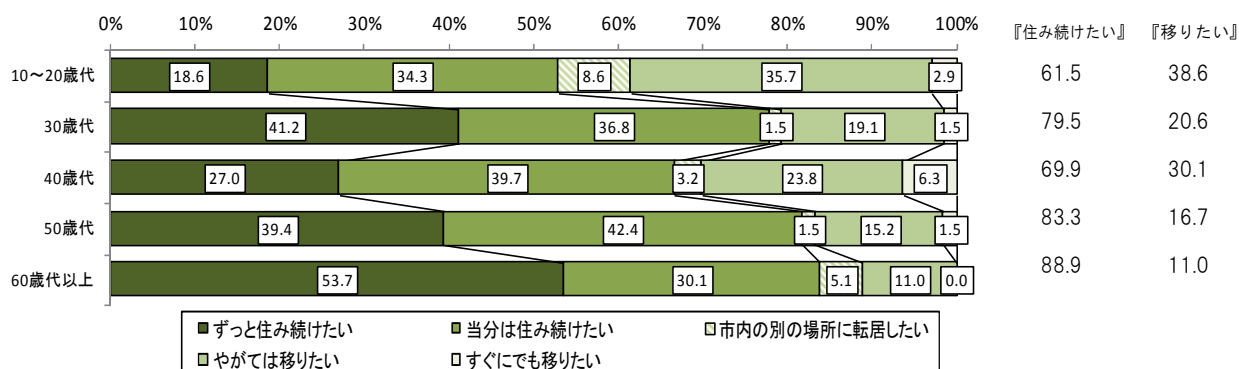
##### ① 性別

・『住み続けたい』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



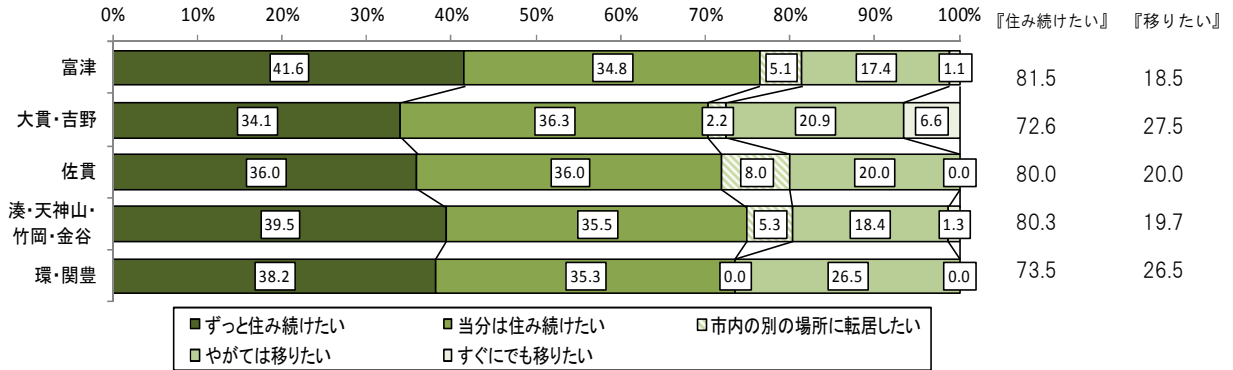
##### ② 年齢階層別

・全体的な傾向として、年代が上がるにつれて『住み続けたい』の回答比率が高くなっている。『移りたい』の回答比率が最も高いのは10～20歳代となっている。



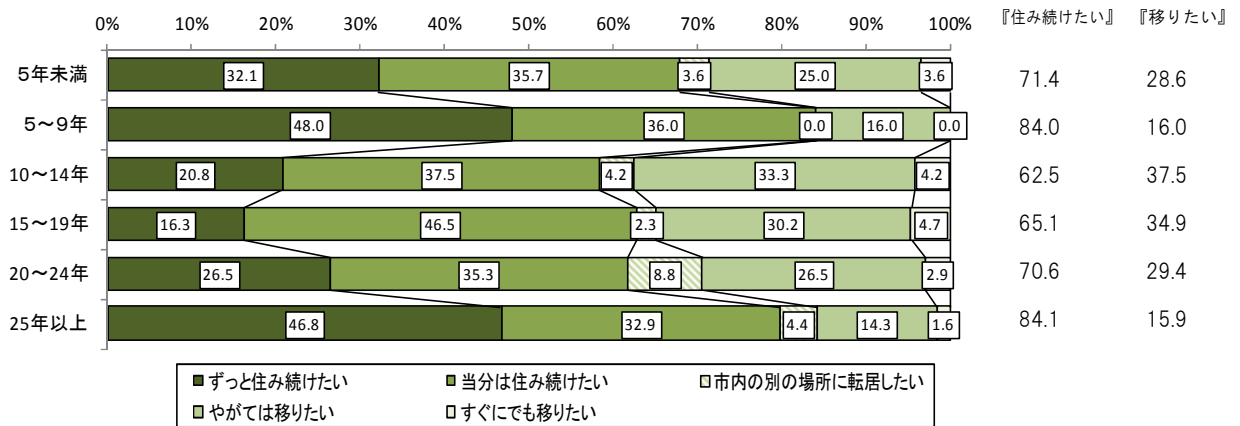
### ③居住地区別

• 全ての地区で『住み続けたい』の回答比率が7割を超えている。佐貴地区、環・関豊地区は「すぐにでも移りたい」の回答者がいなかった。



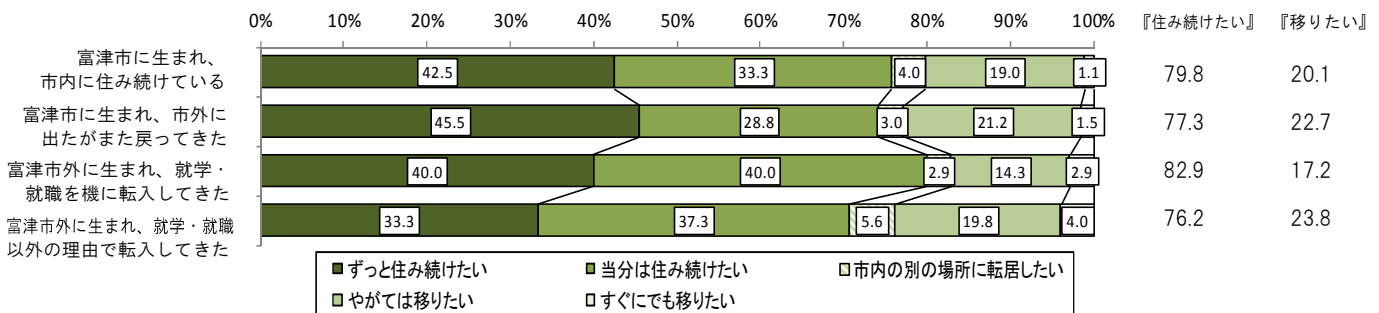
### ④市内在住年数別

• 『住み続けたい』の回答比率が高いのは5～9年と25年以上で、8割を超えている。『移りたい』の回答比率が最も高いのは10～14年となっている。



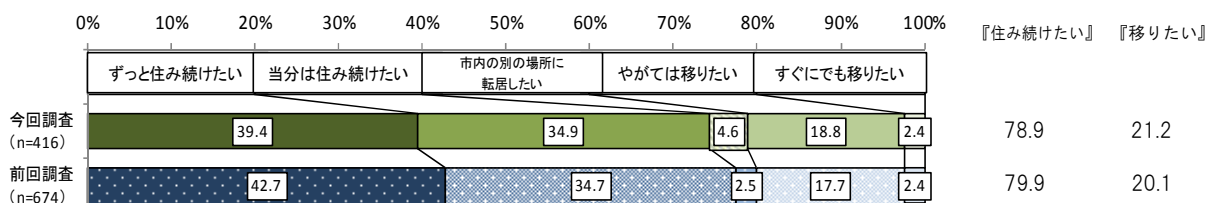
### ⑤転入の有無別

• 就学・就職を機に転入してきた方は『住み続けたい』の回答比率が最も高く、『移りたい』の回答比率が最も低くなっている。



### 前回調査との比較

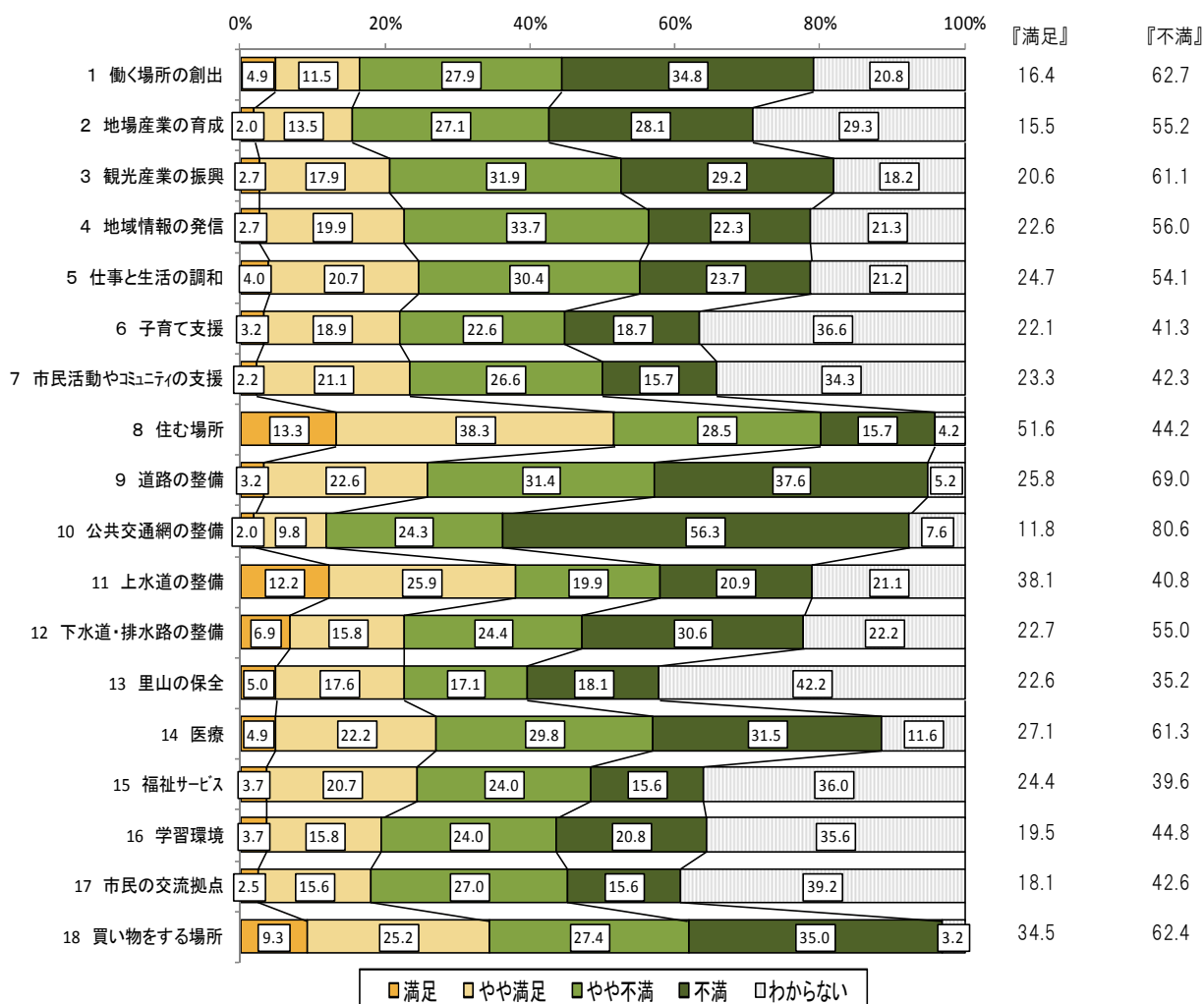
• 前回調査と比較して『住み続けたい』の回答比率は微減し、『移りたい』の回答比率は微増している。



#### (4) 富津市での生活の満足度

問4 あなたの、富津市での生活の満足度についておうかがいします。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください（各SA）

「住む場所」を除く全ての項目において、「やや不満」「不満」を合わせた『不満』の回答比率が「満足」「やや満足」を合わせた『満足』の回答比率を上回っている。特に「公共交通網の整備」「道路の整備」に対する『不満』の回答比率が高くなっている。

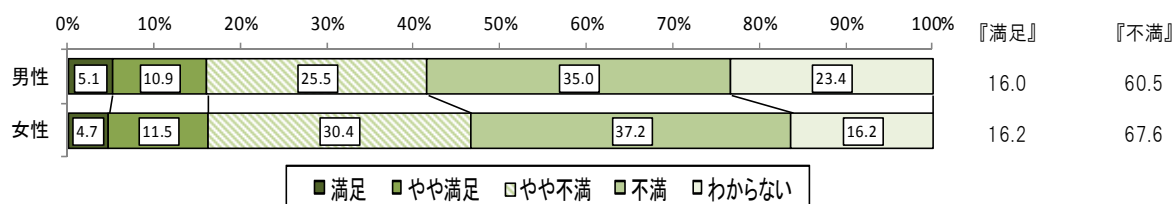


#### 1) 働く場所の創出

##### ■属性別動向

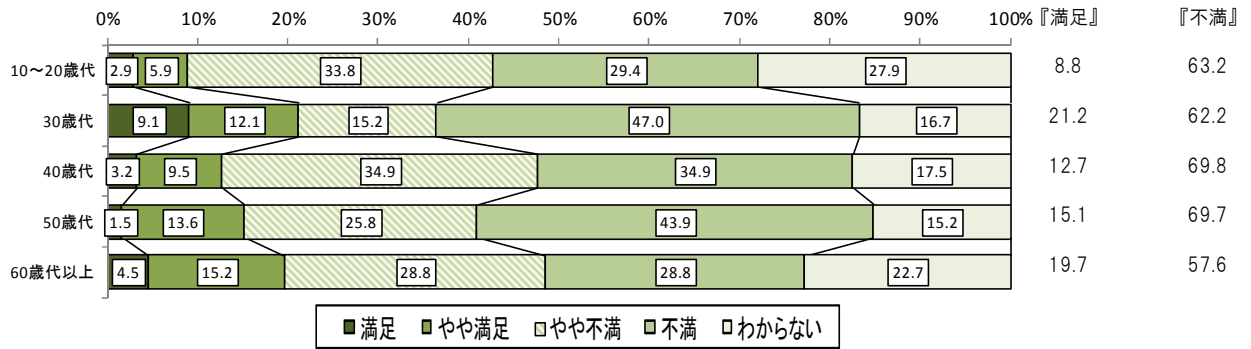
##### ①性別

・『満足』の回答比率は男女ともにほぼ同じだが、『不満』の回答比率は女性の方が高くなっている。



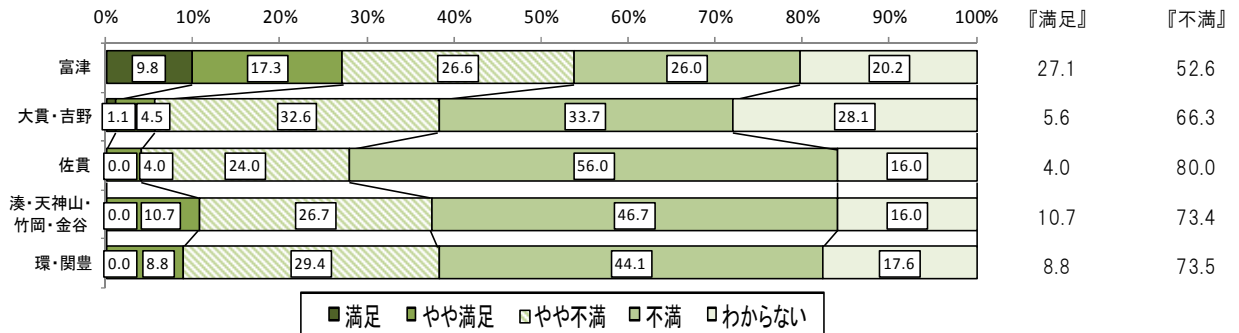
## ②年齢階層別

・『満足』の回答比率が最も高いのは30歳代で、最も低いのは10～20歳代となっている。



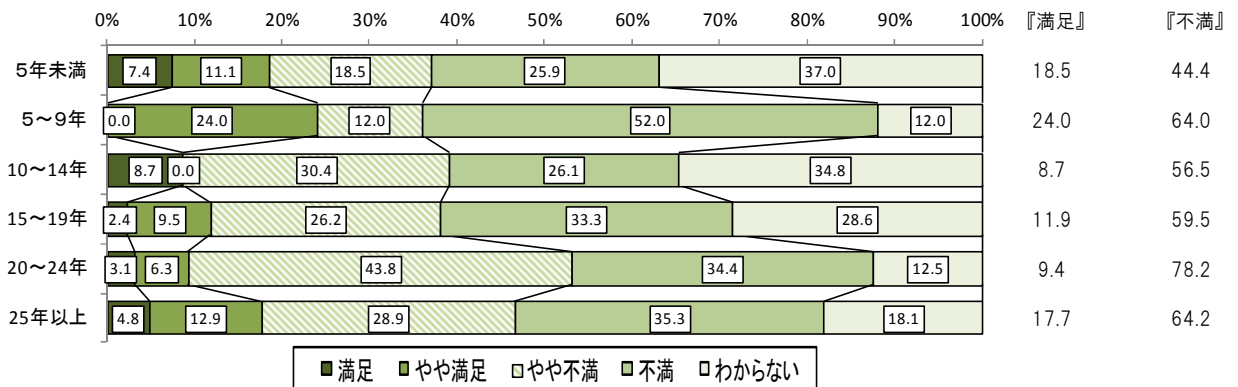
## ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区で、他の地区と比較して突出している。『不満』の回答比率が最も高いのは佐貫地区で8割となっている。



## ④市内在住年数別

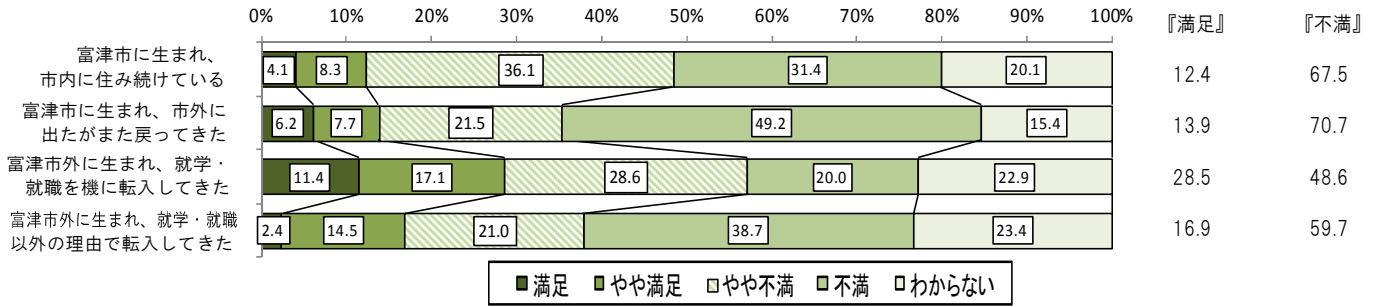
・『満足』の回答比率が最も高いのは5～9年で、『不満』の回答比率が最も高いのは20～24年となっている。





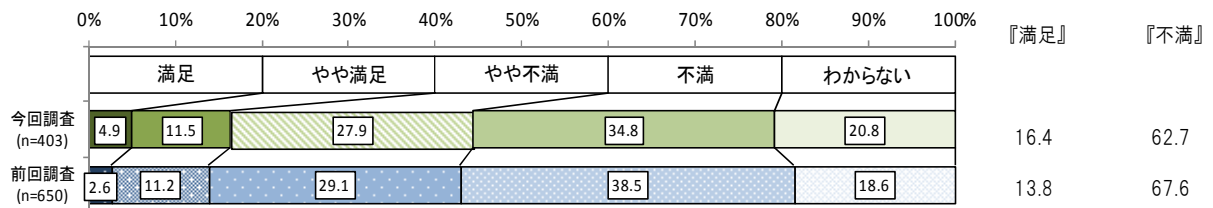
## ⑤転入の有無別

・『満足』の回答比率が最も高いのは就学・就職を機に転入してきた方で、『不満』の回答比率が最も高いのは市外に出たがまた戻ってきた方となっている。



## 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は増加し、『不満』の回答比率は減少している。

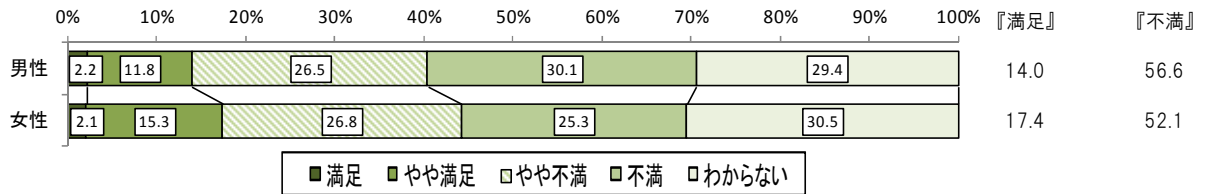


## 2) 地場産業の育成

### ■属性別動向

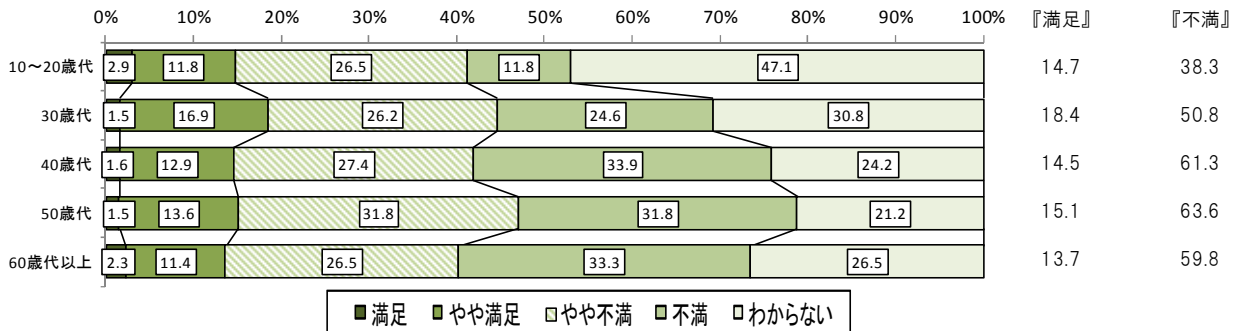
#### ①性別

・『満足』の回答比率は、女性の方が高くなっている。



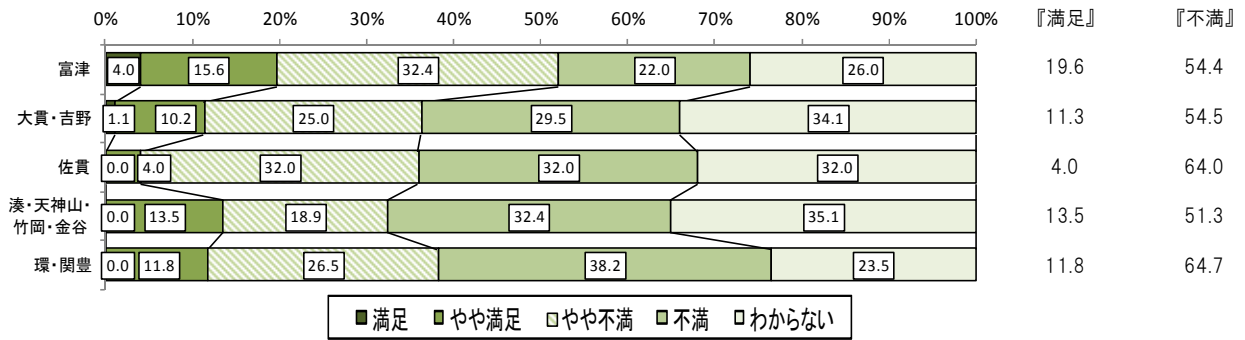
#### ②年齢階層別

・『満足』の回答比率が最も高いのは30歳代となっている。10~20歳代は「わからない」の回答比率が他の年代と比較して突出している。



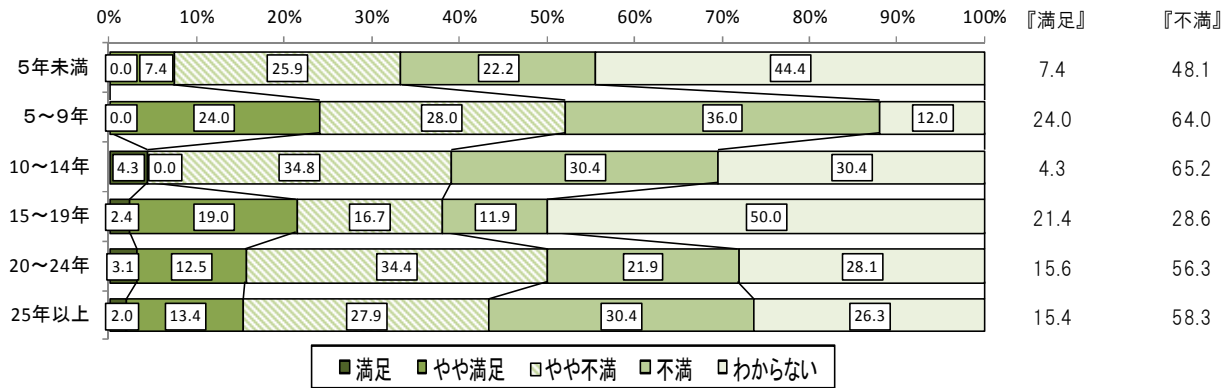
### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区となっている。佐貴地区は『満足』の回答比率が最も低く、『不満』の回答比率も高くなっている。



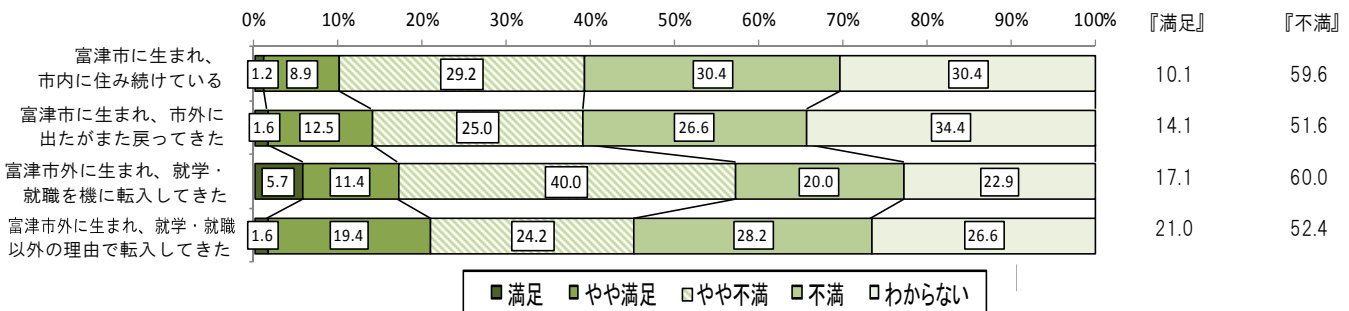
### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは5～9年となっている。10～14年は『満足』の回答比率が最も低く、『不満』の回答比率が最も高くなっている。



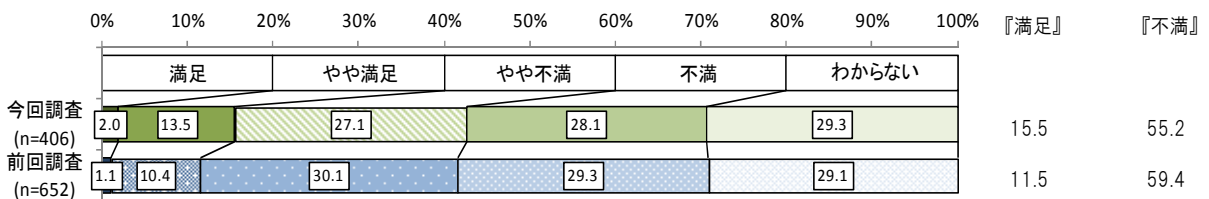
### ⑤転入の有無別

・市外で生まれた方が市内で生まれた方より『満足』の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は増加し、『不満』の回答比率は減少している。

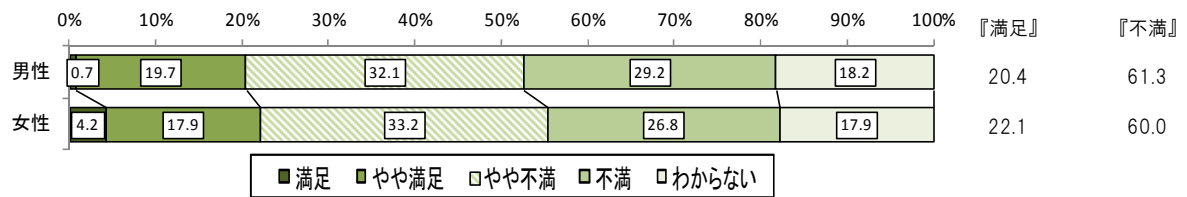


### 3) 観光産業の振興

#### ■属性別動向

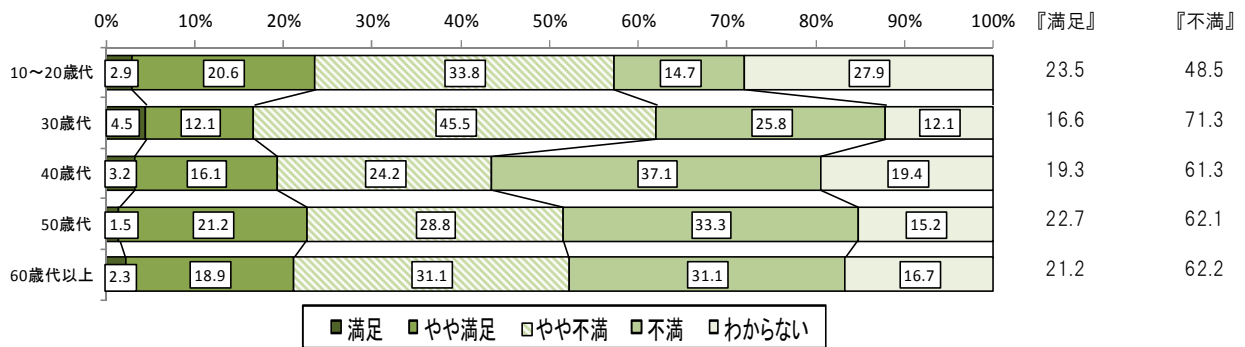
##### ①性別

・『満足』の回答比率は、女性の方が高くなっている。



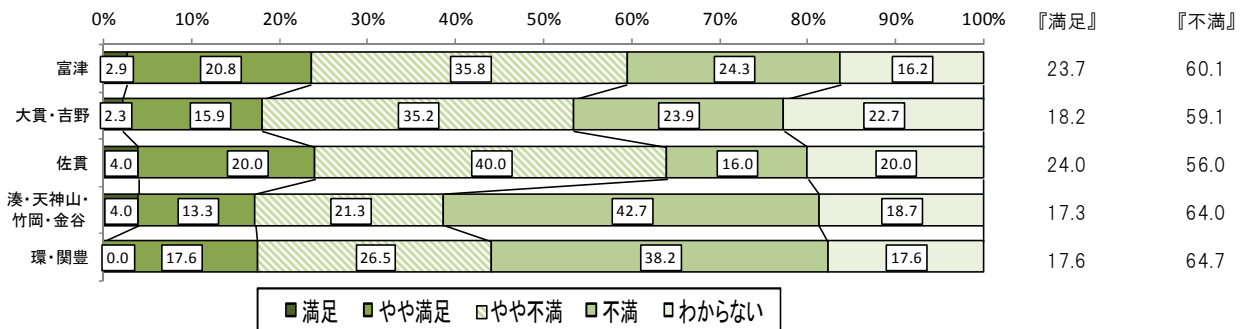
##### ②年齢階層別

・30歳代が『満足』の回答比率が最も低く、『不満』の回答比率が最も高くなっている。



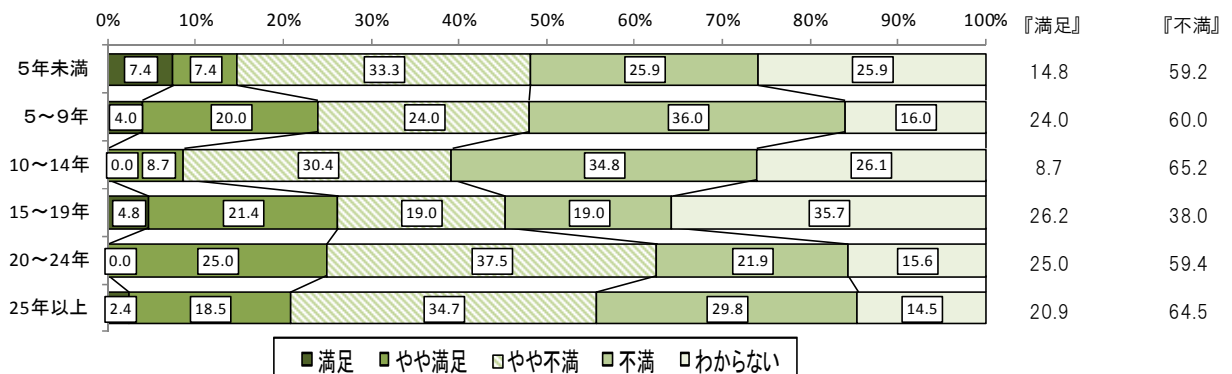
##### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が高いのは富津地区と佐貫地区で、『不満』の回答比率が高いのは湊・天神山・竹岡・金谷地区と環・関豊地区となっている。



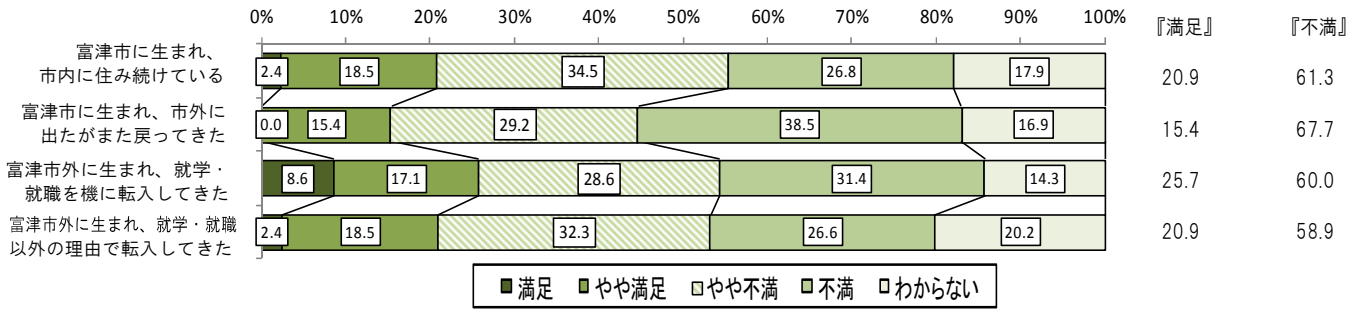
##### ④市内在住年数別

・15~19年は『満足』の回答比率が最も高く、『不満』の回答比率が最も低くなっている。  
10~14年は『満足』の回答比率が他の区分と比較して特に低くなっている。



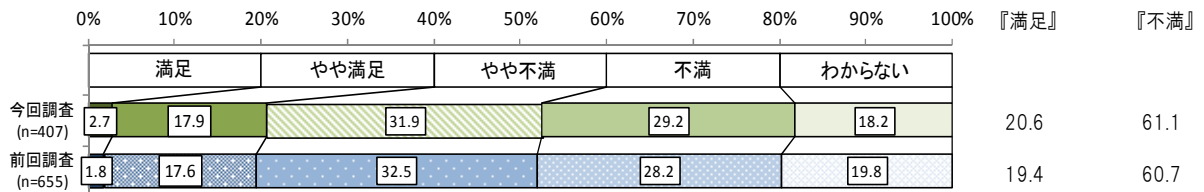
### ⑤転入の有無別

・市外で生まれた方が市内で生まれた方より『満足』の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』、『不満』ともに回答比率は微増となっている。

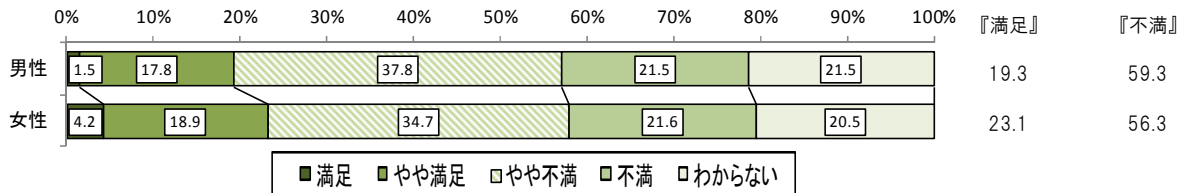


## 4) 地域情報の発信

### ■属性別動向

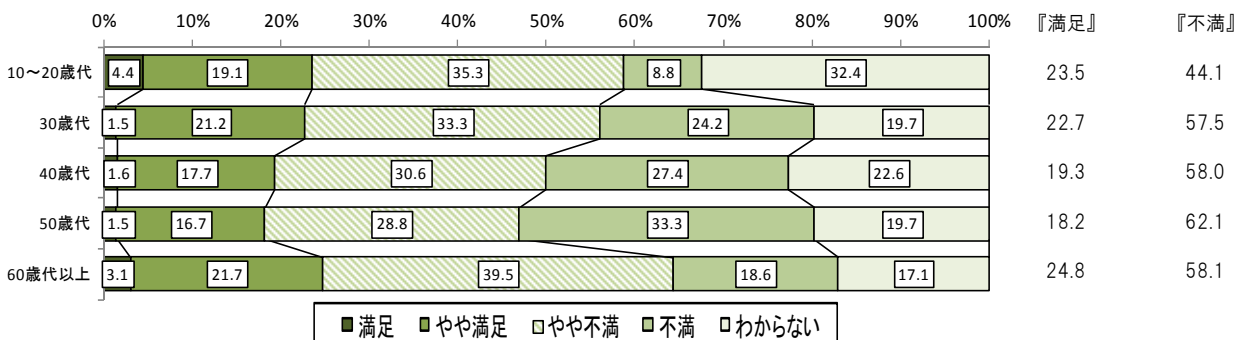
#### ①性別

・『満足』の回答比率は、女性の方が高くなっている。



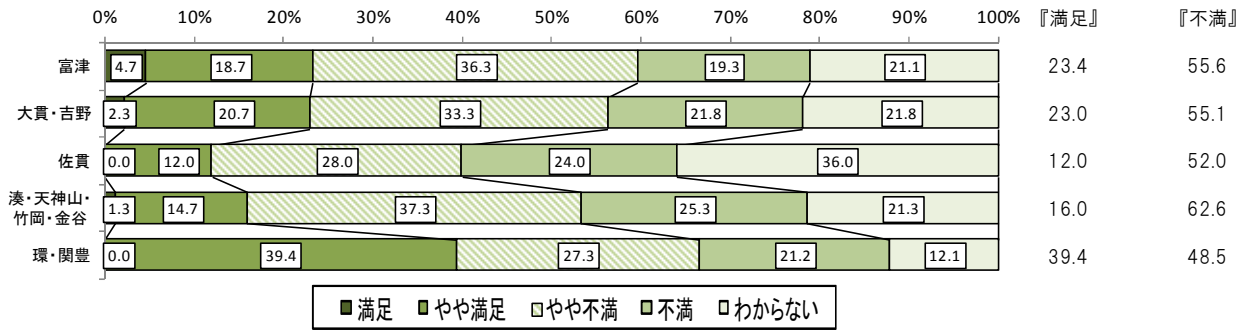
#### ②年齢階層別

・10～20歳代は『満足』の回答比率が高く、『不満』の回答比率が最も低くなっている。



### ③居住地区別

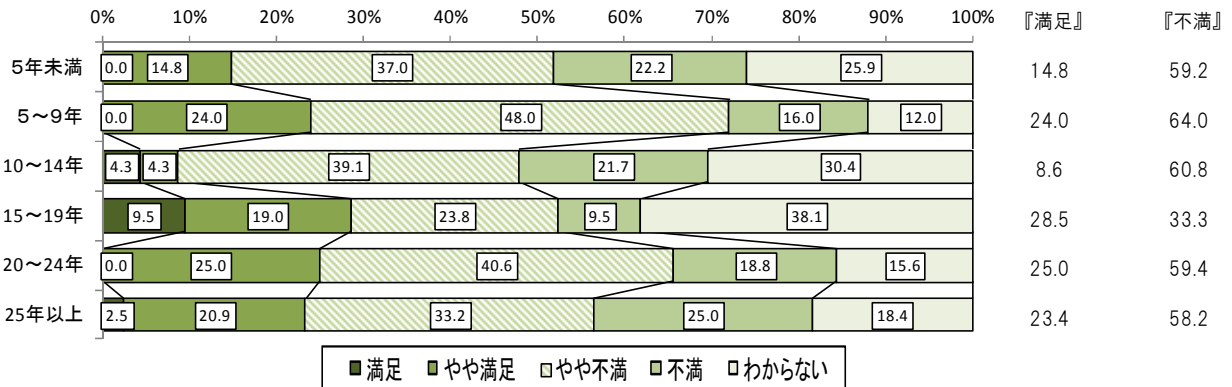
・『満足』の回答比率が最も高いのは環・関豊地区で、最も低いのは佐貴地区となっている。



### ④市内在住年数別

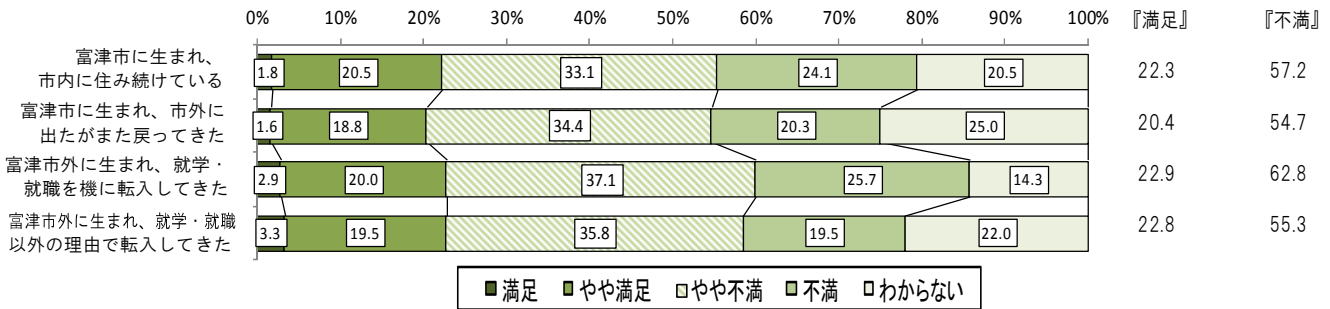
・15～19年は『満足』の回答比率が最も高く、『不満』の回答比率が最も低くなっている。

10～14年は『満足』の回答比率が他の区分と比較して特に低くなっている。



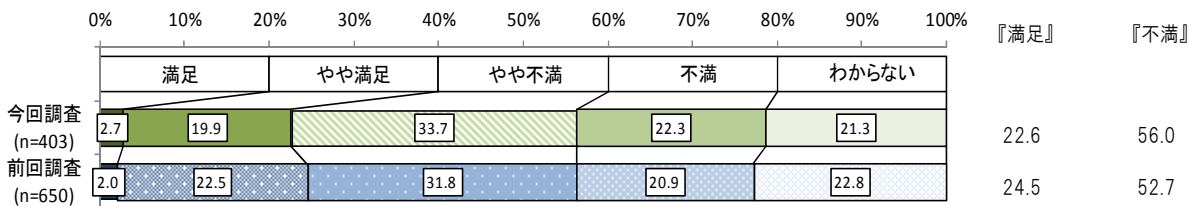
### ⑤転入の有無別

・全ての区分で『満足』の回答比率はほぼ同じとなっている。就学・就職を機に転入してきた方の『不満』の回答比率が最も高くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は減少し、『不満』の回答比率は増加している。

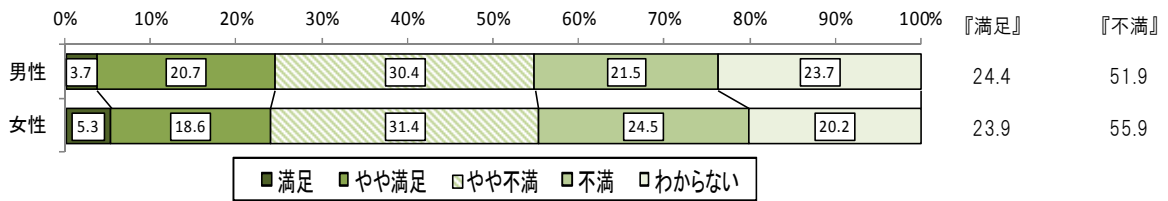


## 5) 仕事と生活の調和

### ■属性別動向

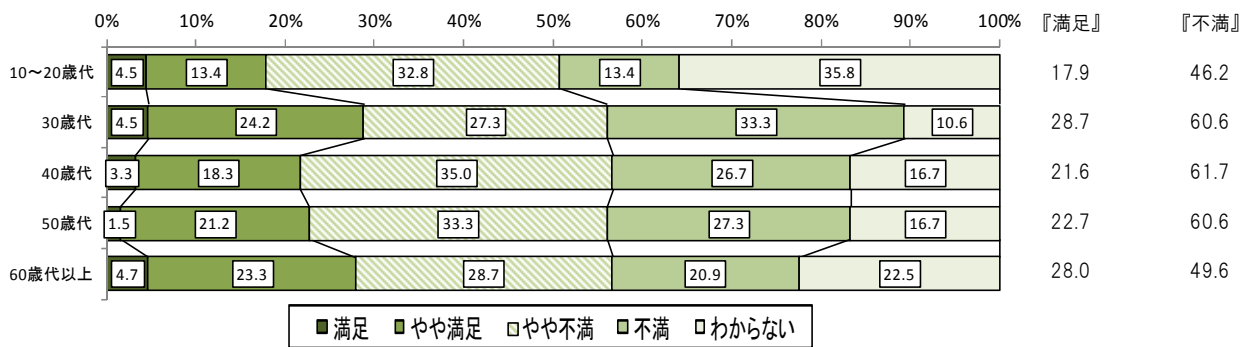
#### ①性別

- 『満足』の回答比率は男女ともにほぼ同じだが、『不満』の回答比率は女性の方が高くなっている。



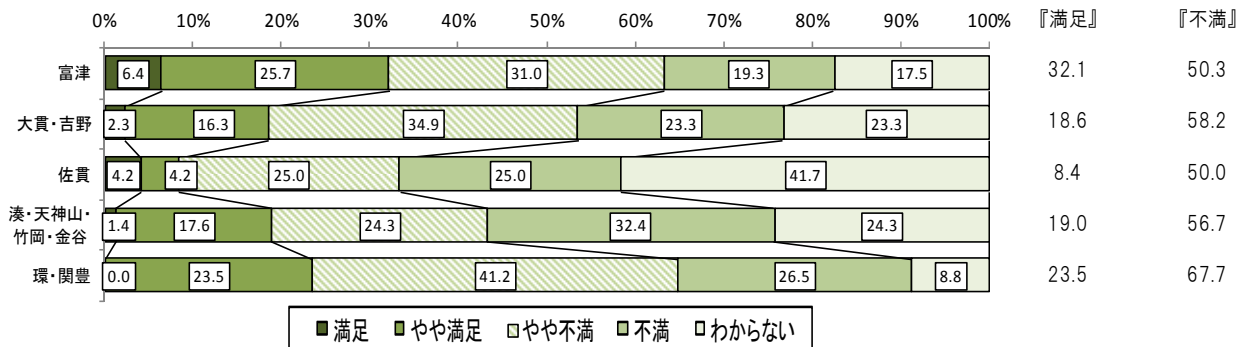
#### ②年齢階層別

- 『満足』の回答比率が最も高いのは30歳代となっている。10～20歳代は「わからない」の回答比率が他の年代と比較して突出して高くなっている。



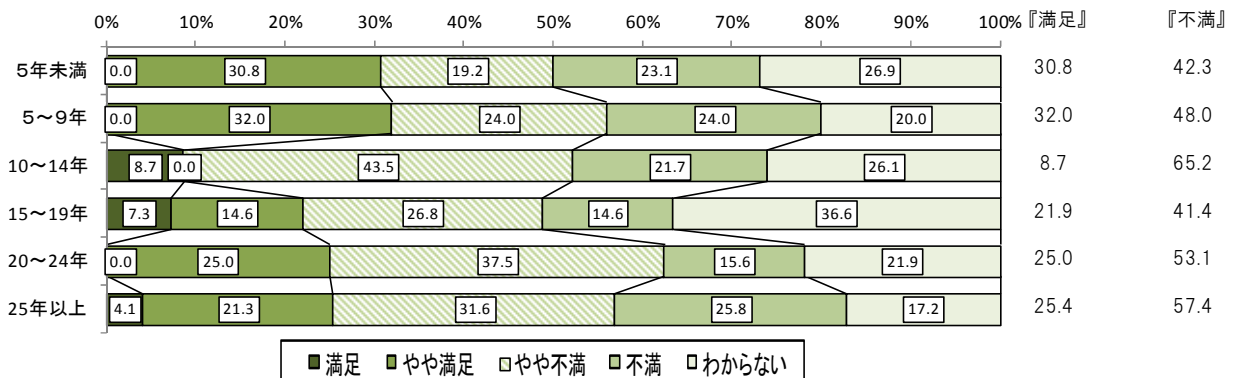
#### ③居住地区別

- 『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区で、最も低いのは佐貫地区となっている。



#### ④市内在住年数別

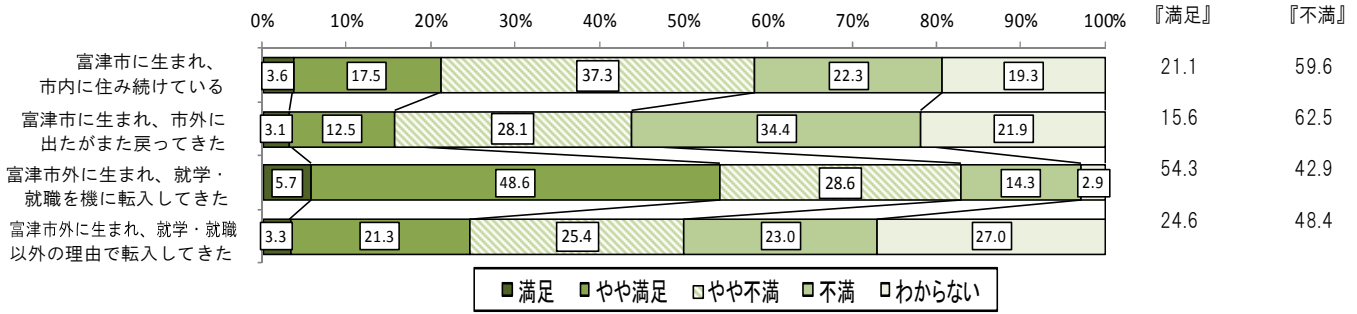
- 『満足』の回答比率が最も高いのは5～9年となっている。10～14年は『満足』の回答比率が最も低く、『不満』の回答比率が最も高くなっている。





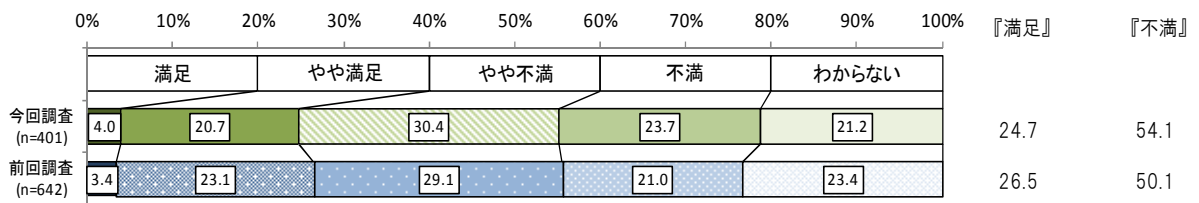
### ⑤転入の有無別

・就学・就職を機に転入してきた方は『満足』の回答比率が最も高く、『不満』の回答比率が最も低くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は減少し、『不満』の回答比率は増加している。

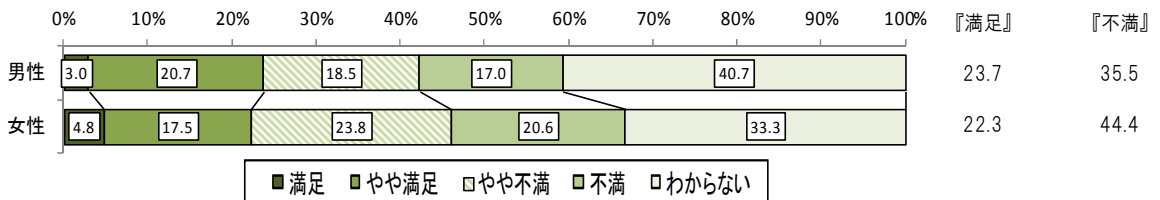


## 6) 子育て支援

### ■属性別動向

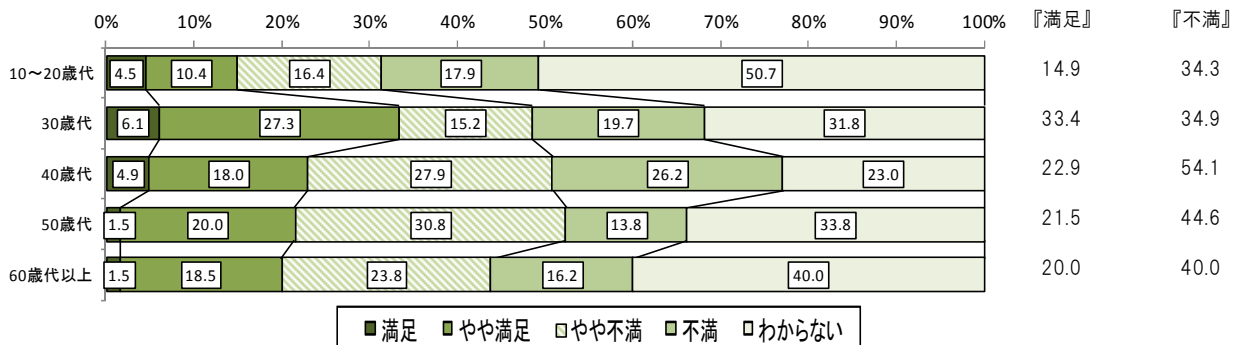
#### ①性別

・『満足』の回答比率は男女ともにほぼ同じだが、『不満』の回答比率は女性の方が高くなっている。



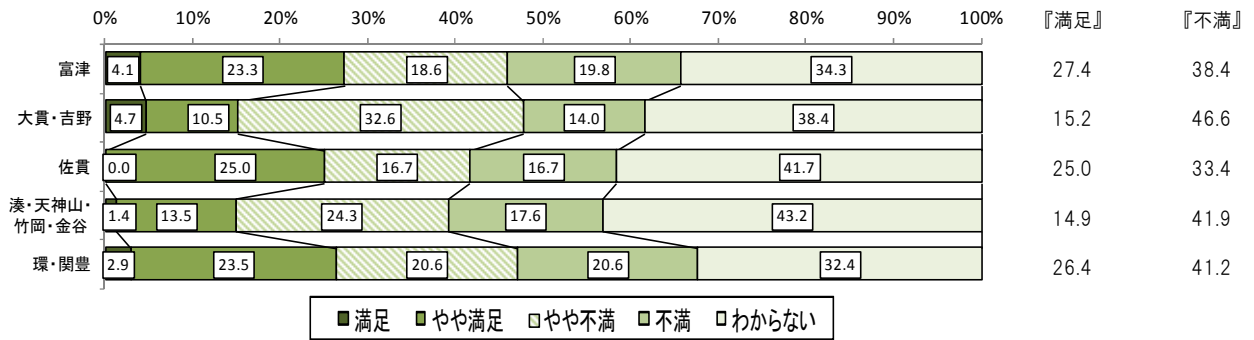
#### ②年齢階層別

・『満足』の回答比率が最も高いのは30歳代で、『不満』の回答比率が最も高いのは40歳代となっている。



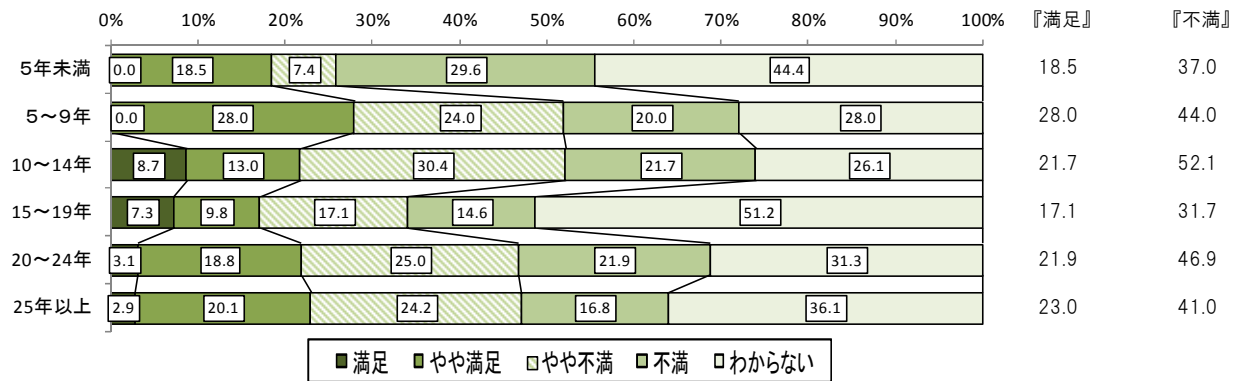
### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区で、『不満』の回答比率が最も高いのは大貫・吉野地区となっている。



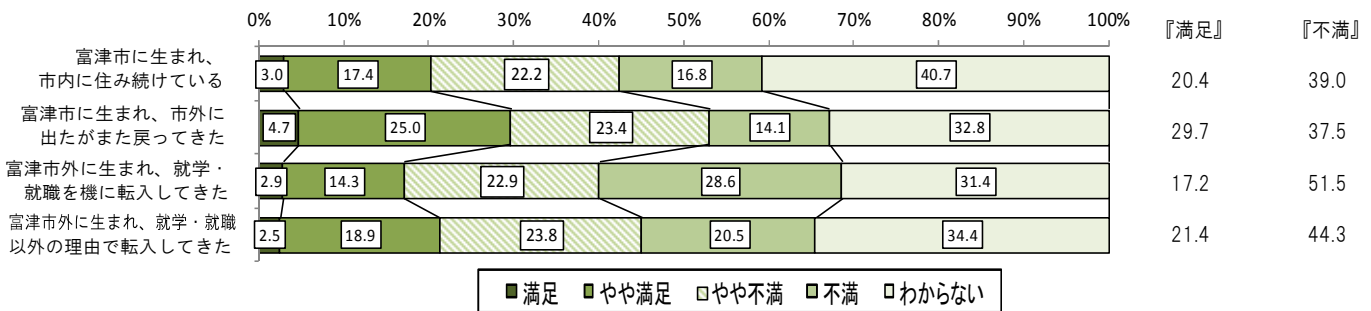
### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは5～9年で、『不満』の回答比率が最も高いのは10～14年となっている。



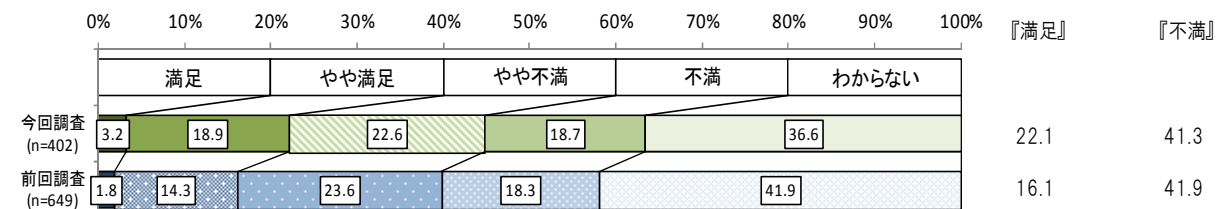
### ⑤転入の有無別

・市内で生まれた方が市外で生まれた方より『満足』の回答比率が高く、『不満』の回答比率が低くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率が増加している。



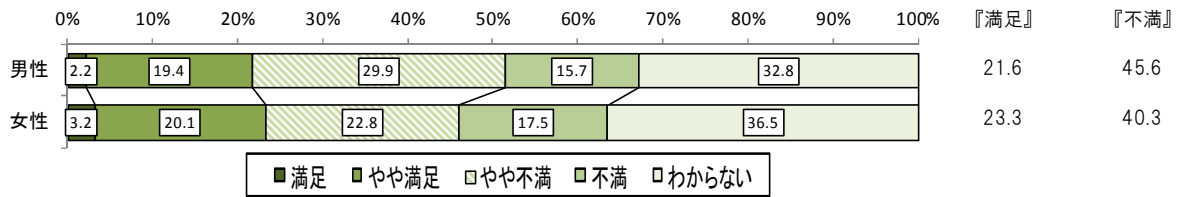


## 7) 市民活動やコミュニティの支援

### ■属性別動向

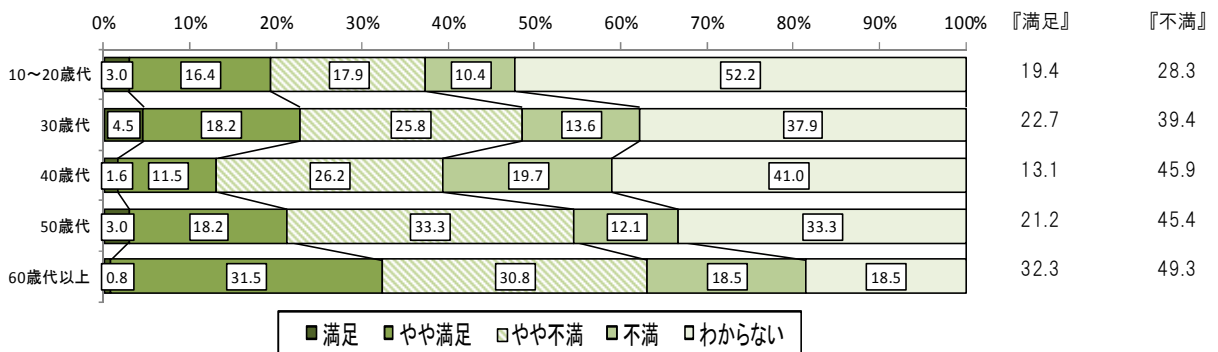
#### ①性別

・『満足』の回答比率は、女性の方が高くなっている。



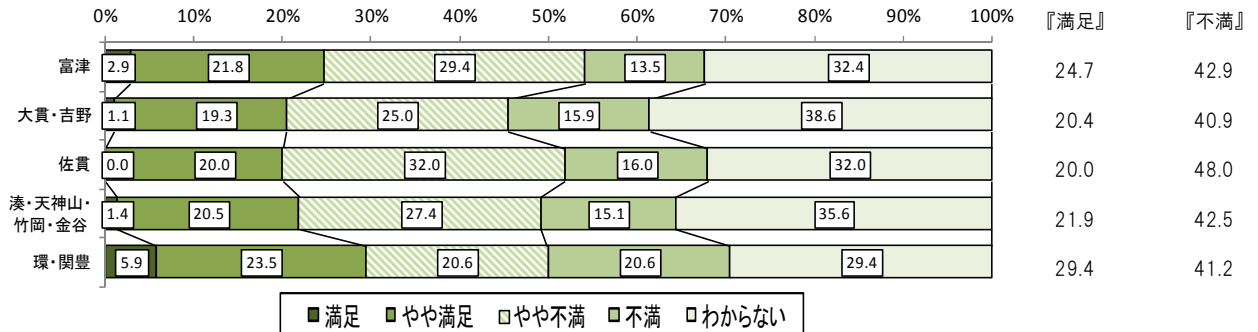
#### ②年齢階層別

・60歳代以上は『満足』、『不満』ともに回答比率が最も高くなっている。10～20歳代は「わからない」の回答比率が他の年代と比較して突出して高くなっている。



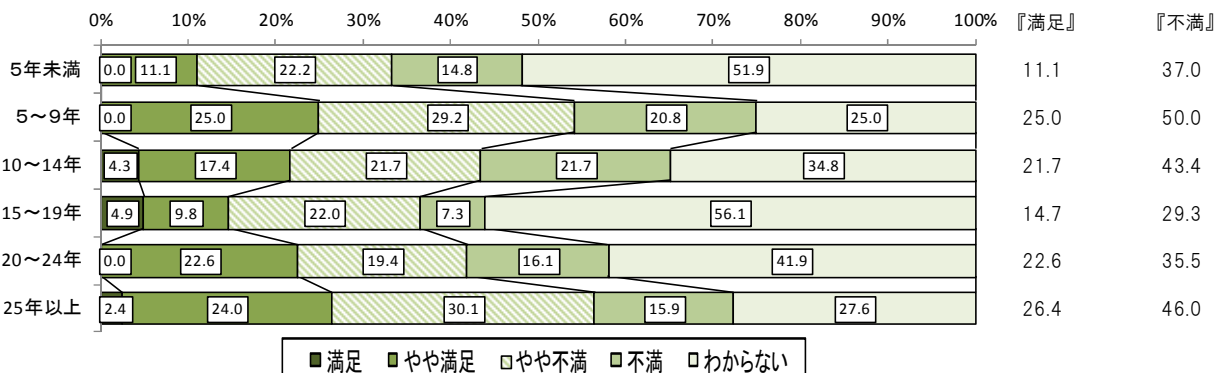
#### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは環・関豊地区で、『不満』の回答比率が最も高いのは佐貫地区となっている。



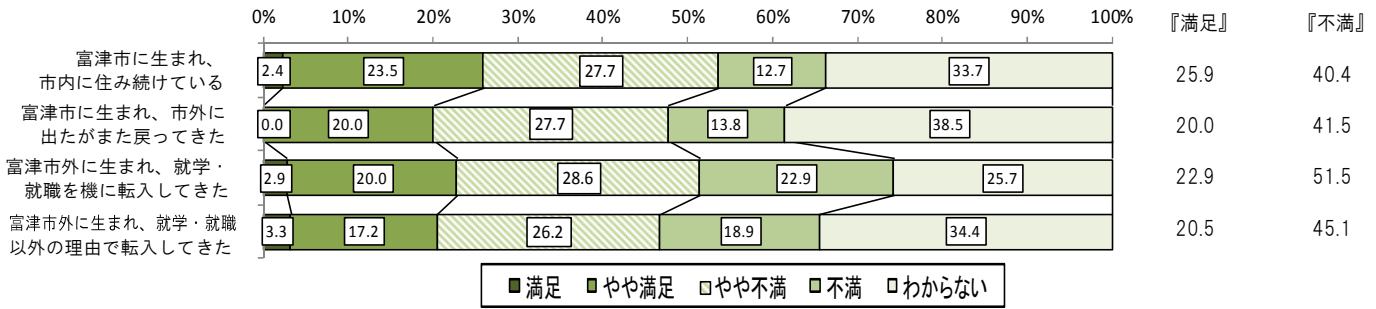
#### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは25年以上で、『不満』の回答比率が最も高いのは5～9年となっている。



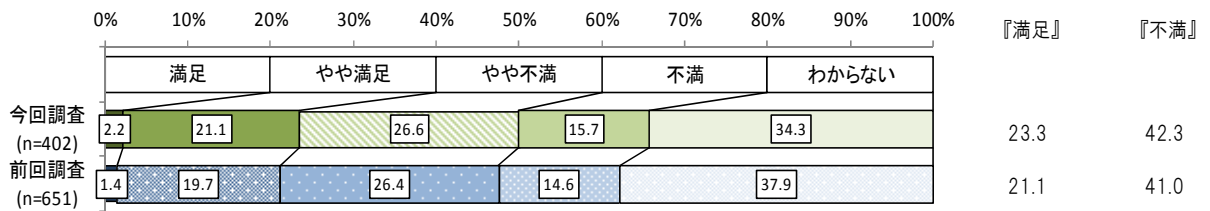
### ⑤転入の有無別

- 市内で生まれた方が市外で生まれた方より『満足』の回答比率が高く、『不満』の回答比率が低くなっている。



### 前回調査との比較

- 前回調査と比較して『満足』、『不満』ともに回答比率が増加している。

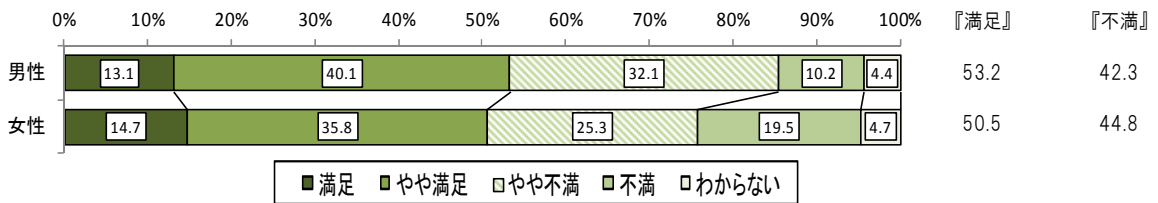


## 8) 住む場所

### ■属性別動向

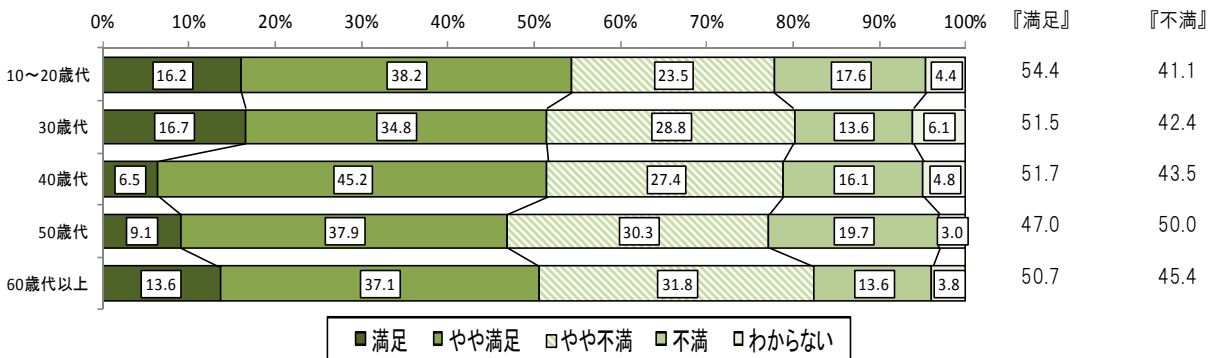
#### ①性別

- 『満足』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



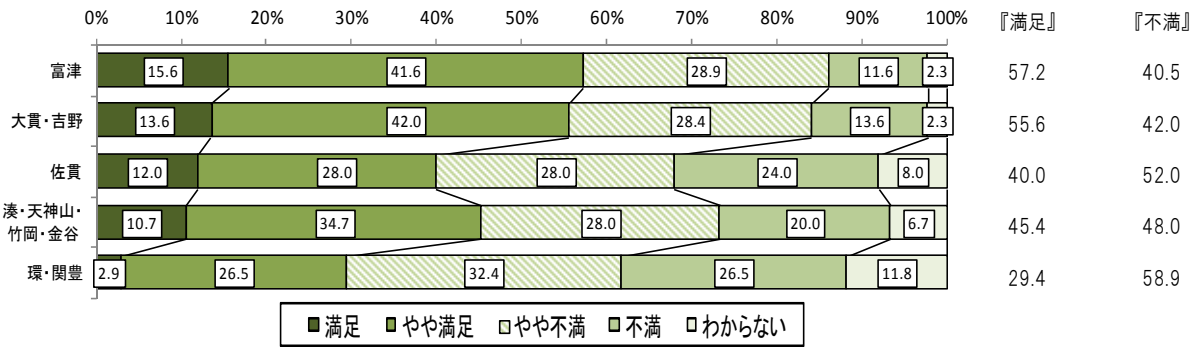
#### ②年齢階層別

- 50歳代を除く全ての年代で『満足』と回答している比率が5割を超えている。



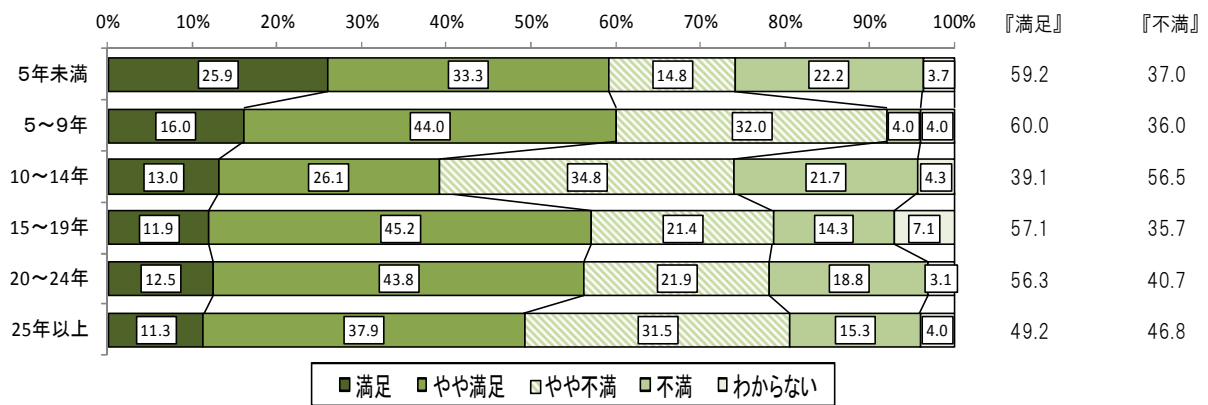
### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区となっている。環・関豊地区は『満足』の回答比率が他の地区と比較して特に低く、『不満』の回答比率が最も高くなっている。



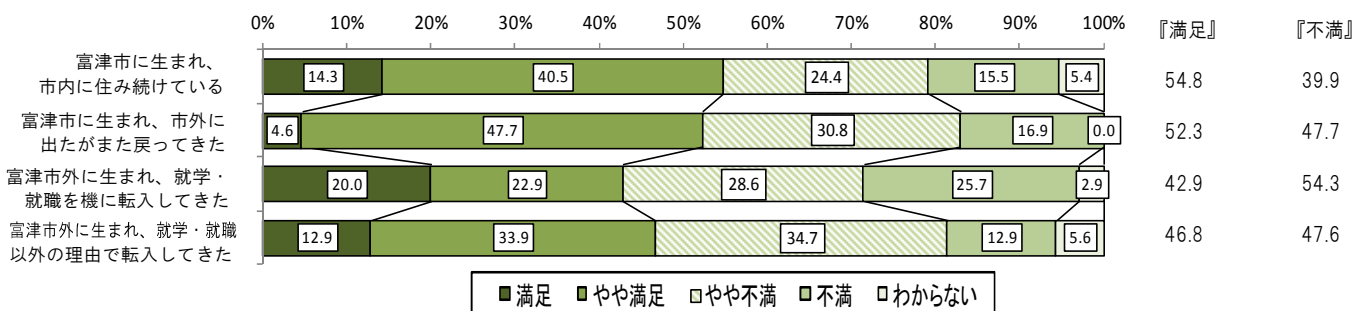
### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは5～9年となっている。10～14年は『満足』の回答比率が最も低く、『不満』の回答比率が最も高くなっている。



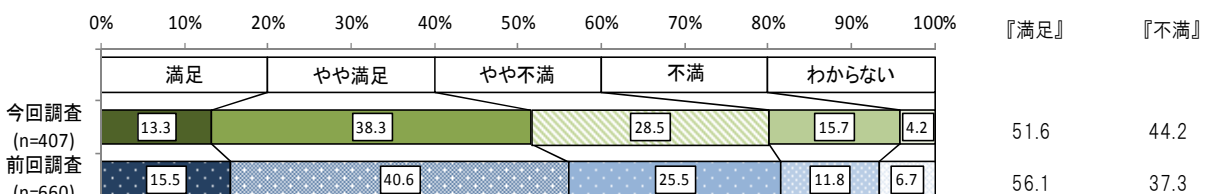
### ⑤転入の有無別

・市内で生まれた方が市外で生まれた方より『満足』の回答比率が高く、『不満』の回答比率が低くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は減少し、『不満』の回答比率は増加している。

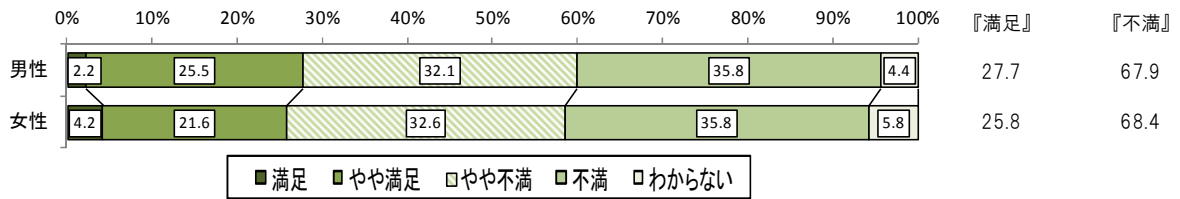


## 9) 道路の整備

### ■属性別動向

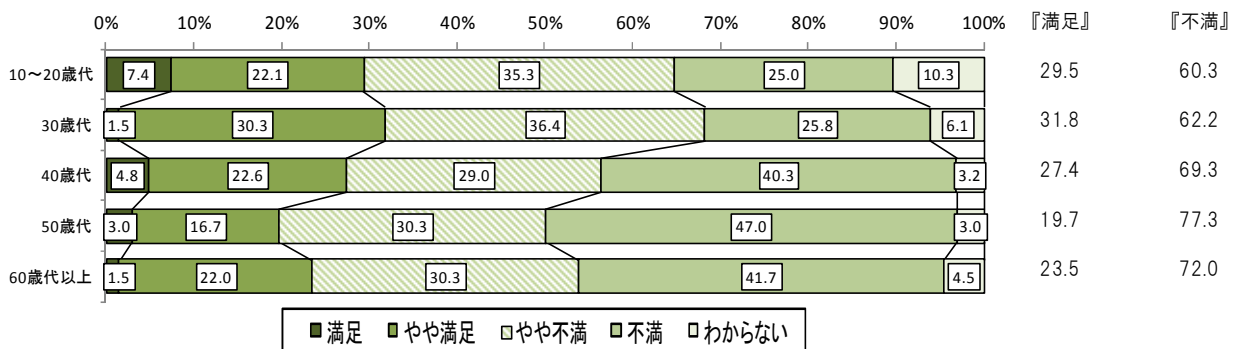
#### ①性別

・『満足』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



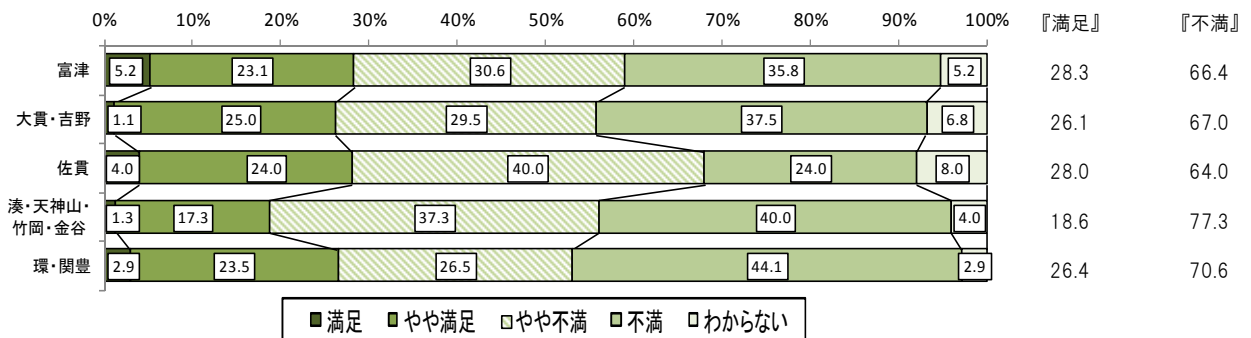
#### ②年齢階層別

・『満足』の回答比率が最も高いのは30歳代で、『不満』の回答比率が最も高いのは50歳代となっている。



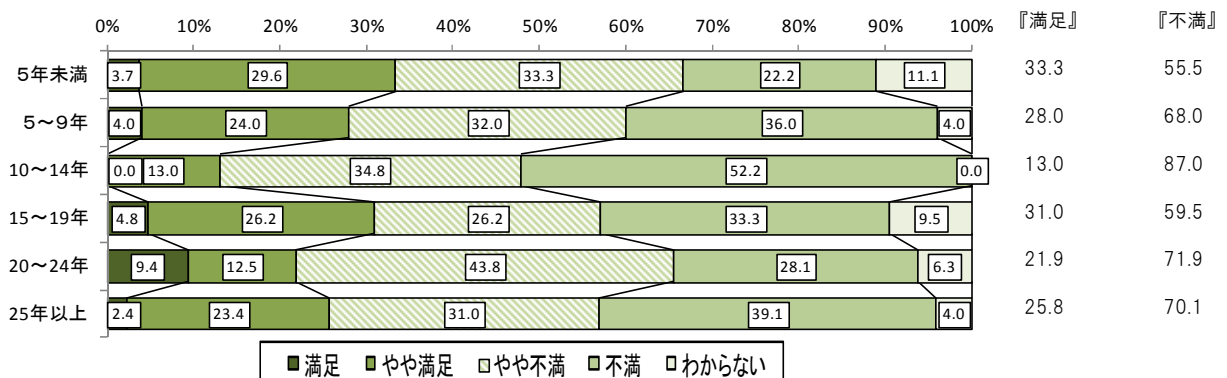
#### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区で、『不満』の回答比率が最も高いのは湊・天神山・竹岡・金谷地区となっている。



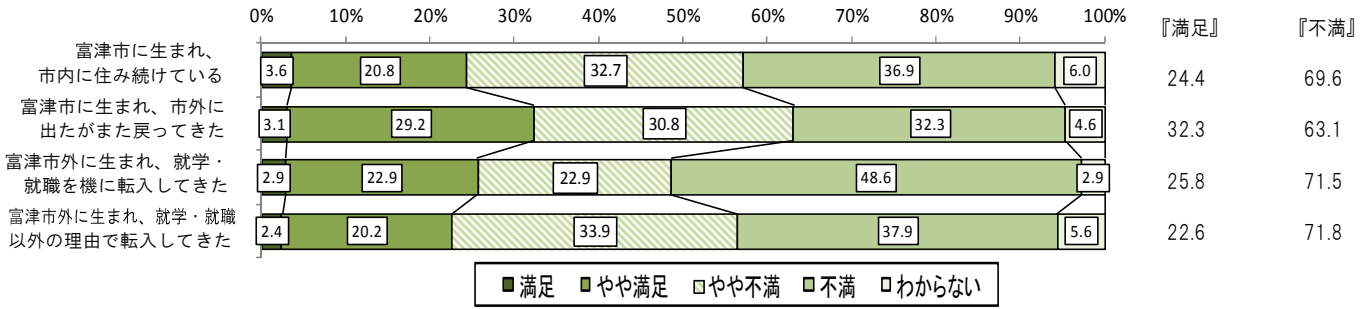
#### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは5年未満となっている。10~14年は他の区分と比較して『満足』の回答比率が低く、『不満』の回答比率の高さが突出している。



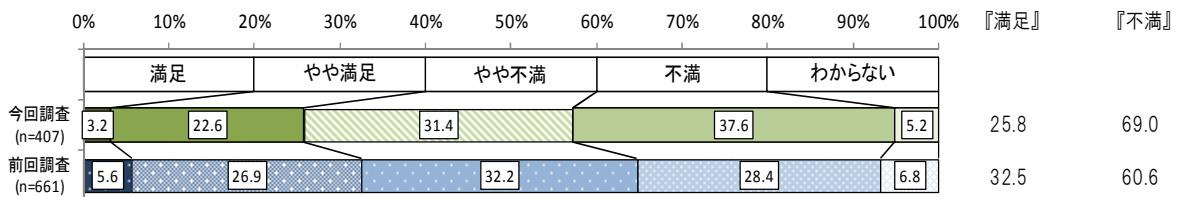
### ⑤転入の有無別

- ・市内で生まれた方が市外で生まれた方より『満足』の回答比率が高く、『不満』の回答比率が低くなっている。



### 前回調査との比較

- ・前回調査と比較して『満足』の回答比率は減少し、『不満』の回答比率は増加している。

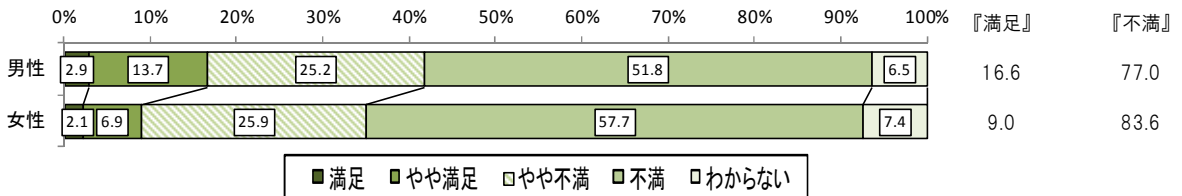


## 10) 公共交通網の整備

### ■属性別動向

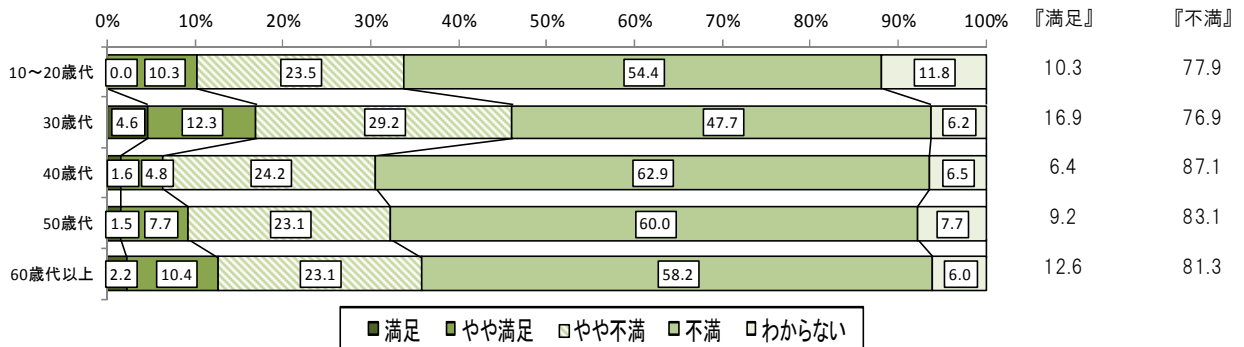
#### ①性別

- ・『満足』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



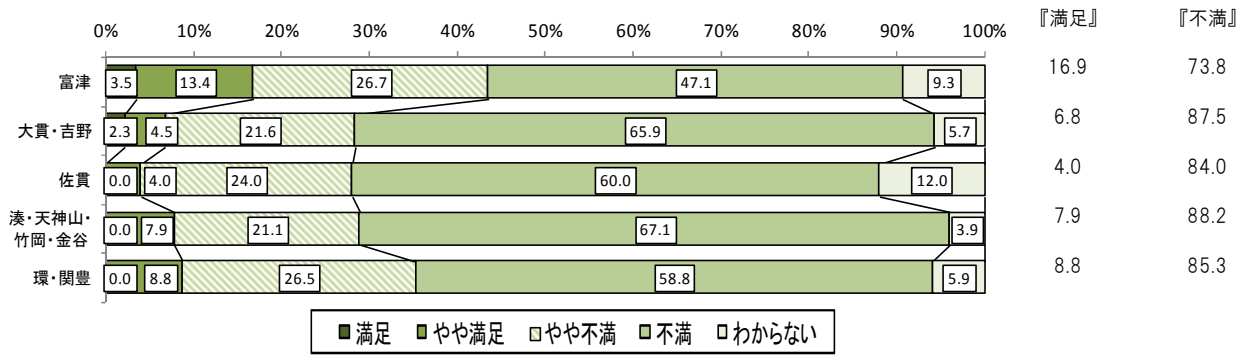
#### ②年齢階層別

- ・『満足』の回答比率が最も高いのは30歳代となっている。40歳代は『満足』の回答比率が最も低く、『不満』の回答比率が最も高くなっている。



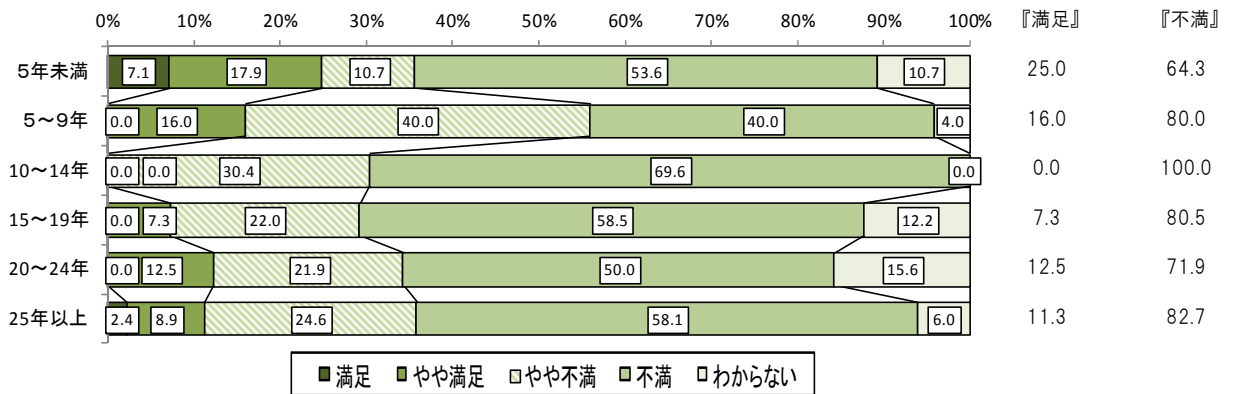
### ③居住地区別

・富津地区を除く全ての地区で『満足』の回答比率が1割未満となっている。



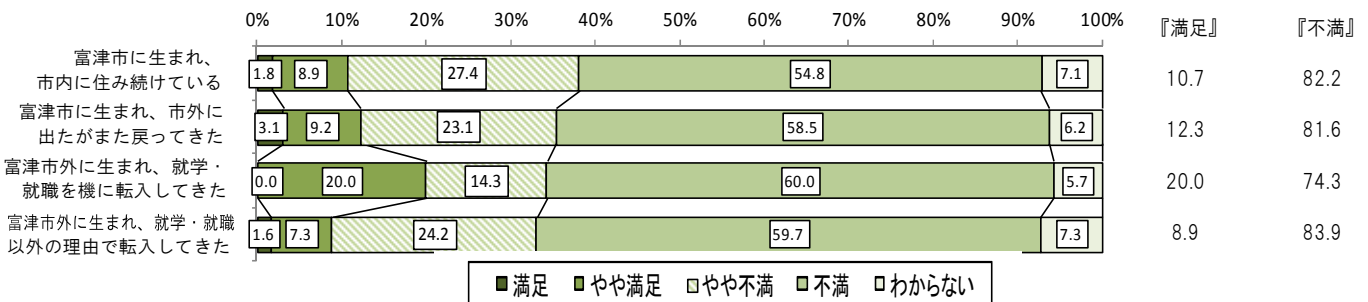
### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは5年未満となっている。10～14年は『不満』の回答比率が100%となっている。



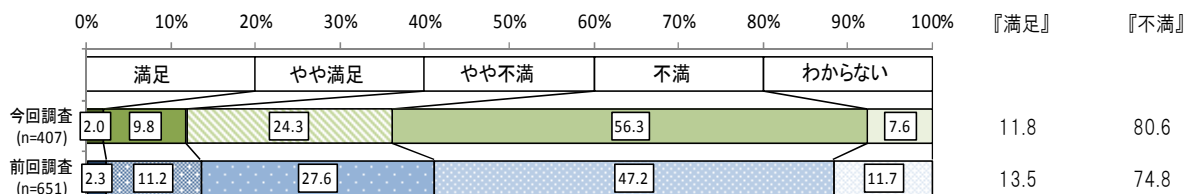
### ⑤転入の有無別

・『満足』の回答比率が最も高いのは就学・就職を機に転入してきた方となっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は減少し、『不満』の回答比率は増加している。



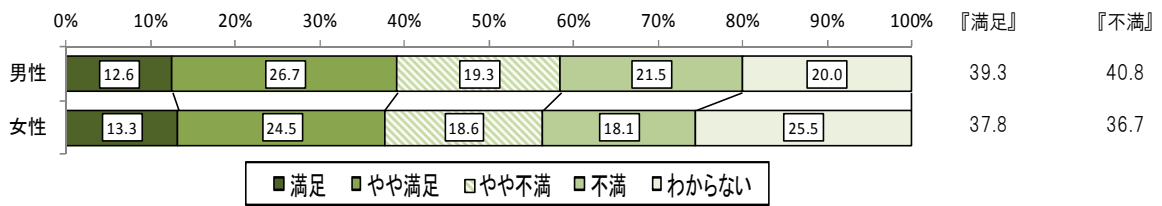


## 11) 上水道の整備

### ■属性別動向

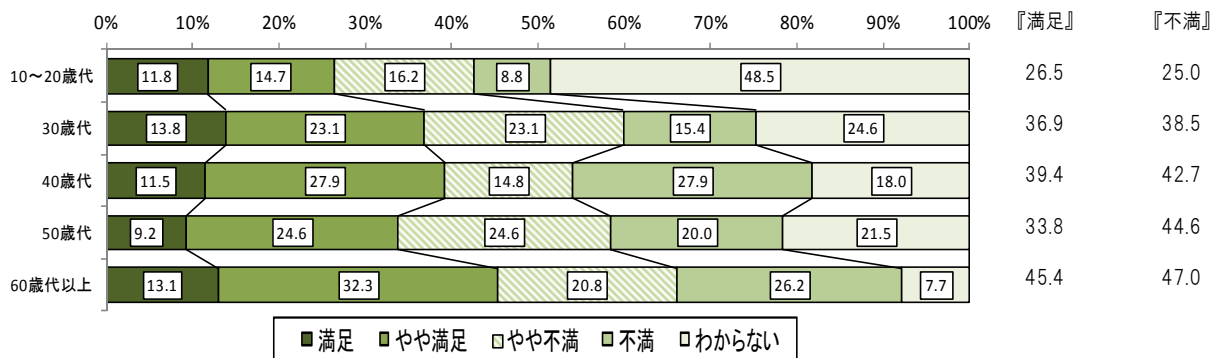
#### ①性別

- 男性の方が『満足』、『不満』ともに回答比率が高くなっている。



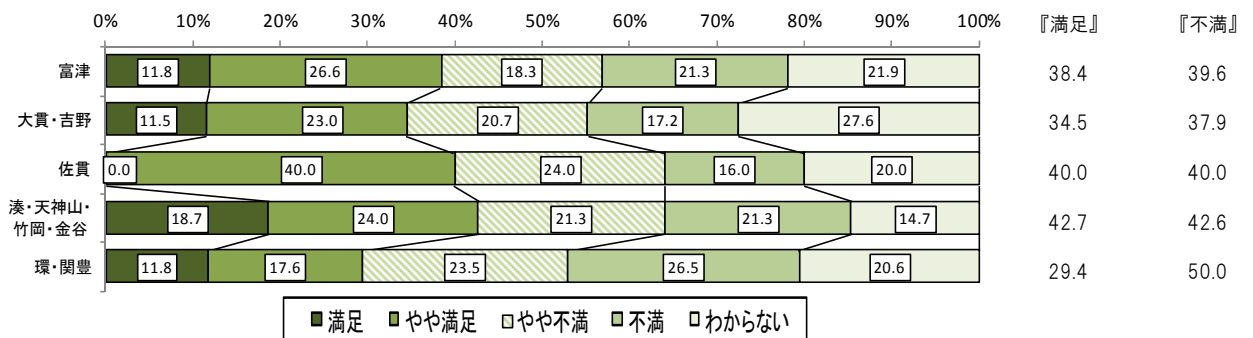
#### ②年齢階層別

- 全体的に年代が上がるにつれて『満足』、『不満』ともに回答比率が高くなっている。



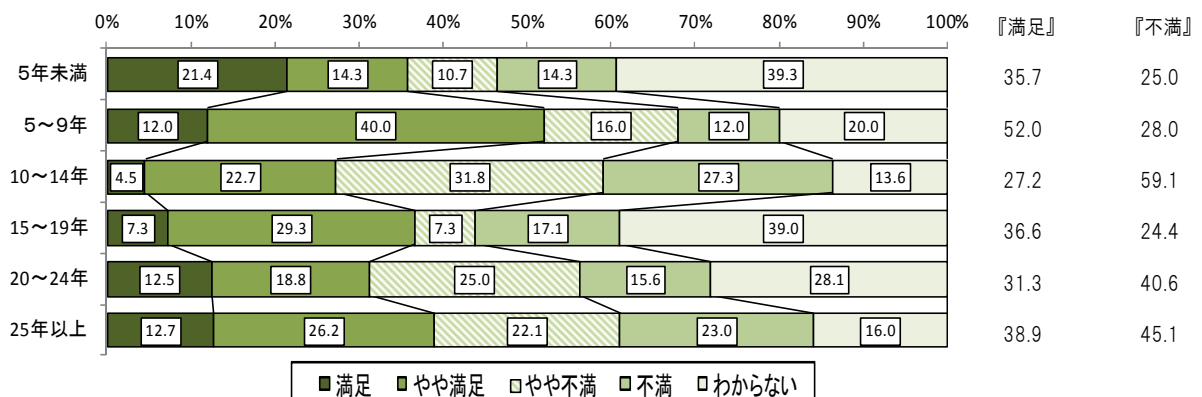
#### ③居住地区別

- 『満足』の回答比率が最も高いのは湊・天神山・竹岡・金谷地区で、『不満』の回答比率が最も高いのは環・関豊地区となっている。



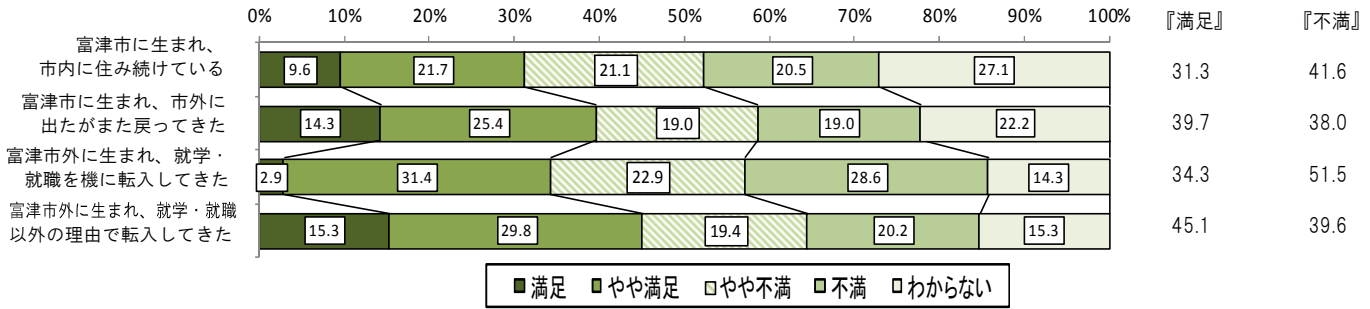
#### ④市内在住年数別

- 『満足』の回答比率が最も高いのは5～9年で、『不満』の回答比率が最も高いのは10～14年となっている。



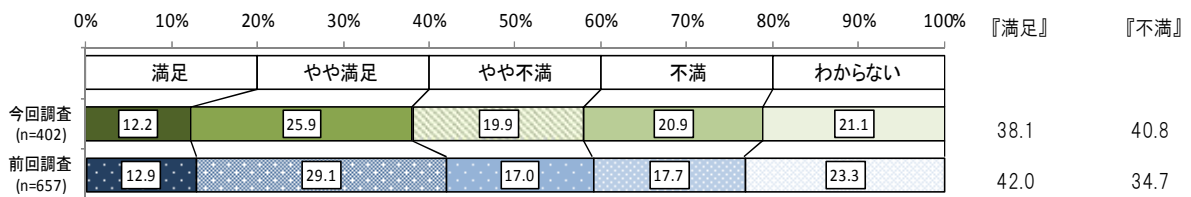
### ⑤転入の有無別

・『満足』の回答比率が最も高いのは就学・就職以外の理由で転入してきた方で、『不満』の回答比率が最も高いのは就学・就職を機に転入してきた方となっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は減少し、『不満』の回答比率は増加している。

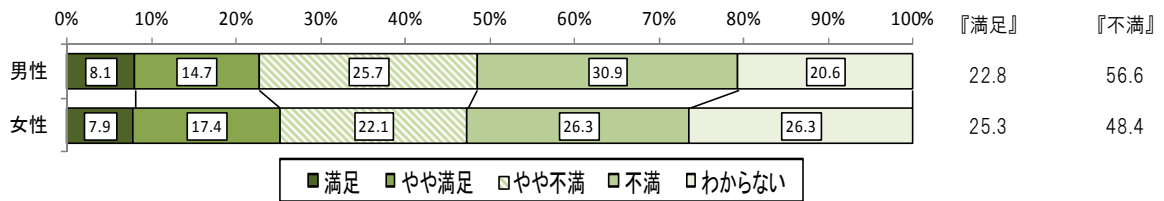


## 12) 下水道・排水路の整備

### ■属性別動向

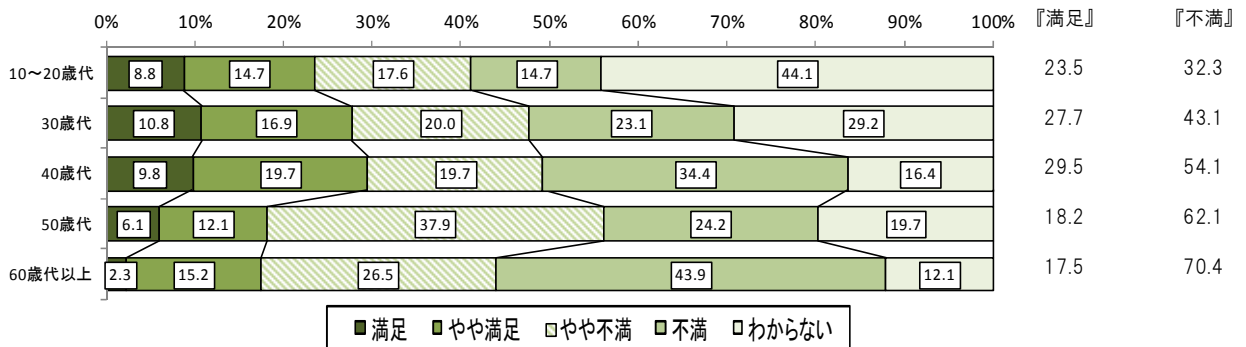
#### ①性別

・『満足』の回答比率は、女性の方が高くなっている。



#### ②年齢階層別

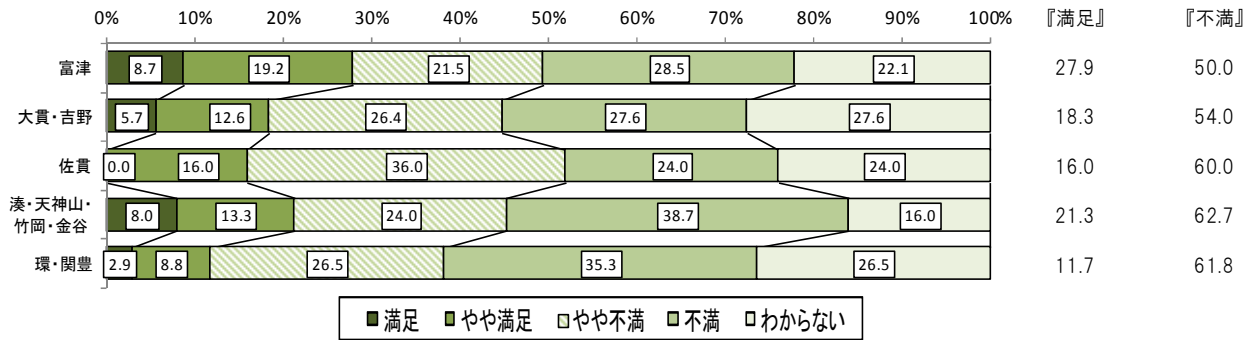
・『満足』の回答比率が最も高いのは40歳代となっている。年代が上がるにつれて『不満』の回答比率が高くなっている。





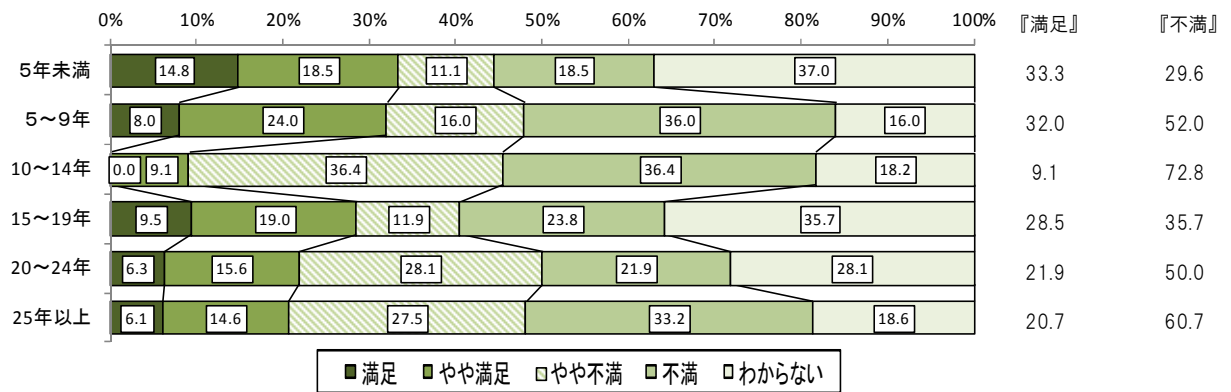
### ③居住地区別

- 『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区で、『不満』の回答比率が最も高いのは湊・天神山・竹岡・金谷地区となっている。



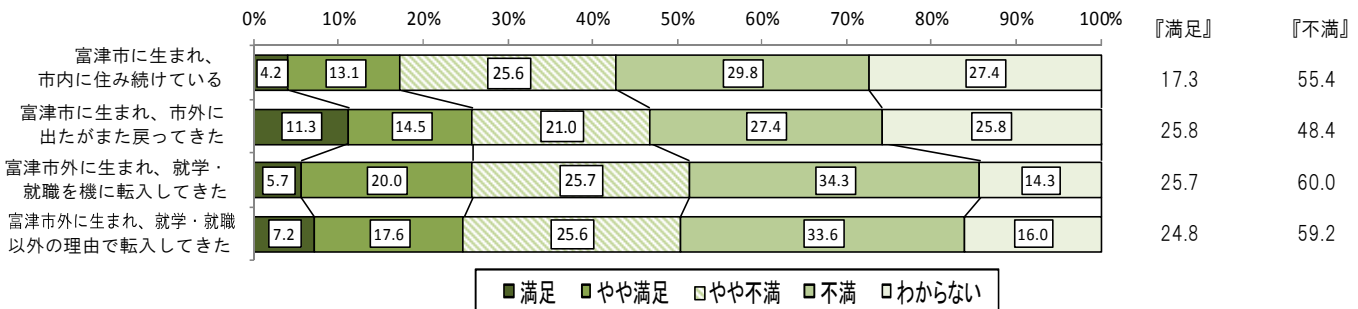
### ④市内在住年数別

- 『満足』の回答比率が最も高いのは5年未満となっている。10～14年は他の区分と比較して特に『満足』の回答比率が低く、『不満』の回答比率の高さが突出している。



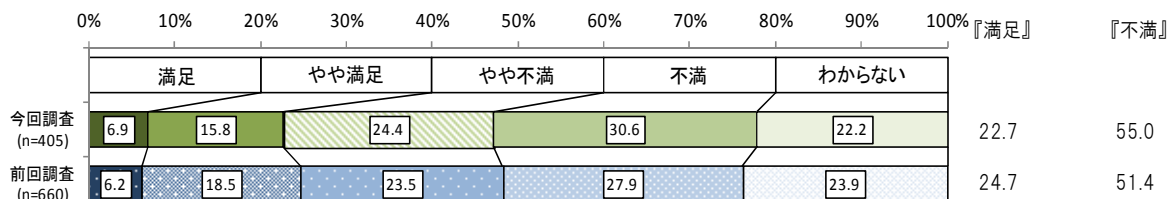
### ⑤転入の有無別

- 市外で生まれた方が『満足』、『不満』ともに回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

- 前回調査と比較して『満足』の回答比率は減少し、『不満』の回答比率は増加している。

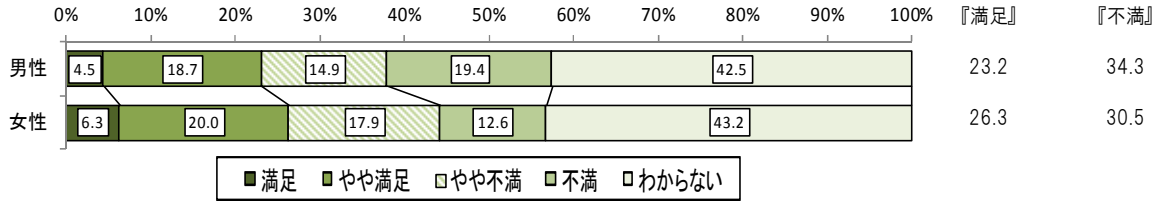


### 13) 里山の保全

#### ■属性別動向

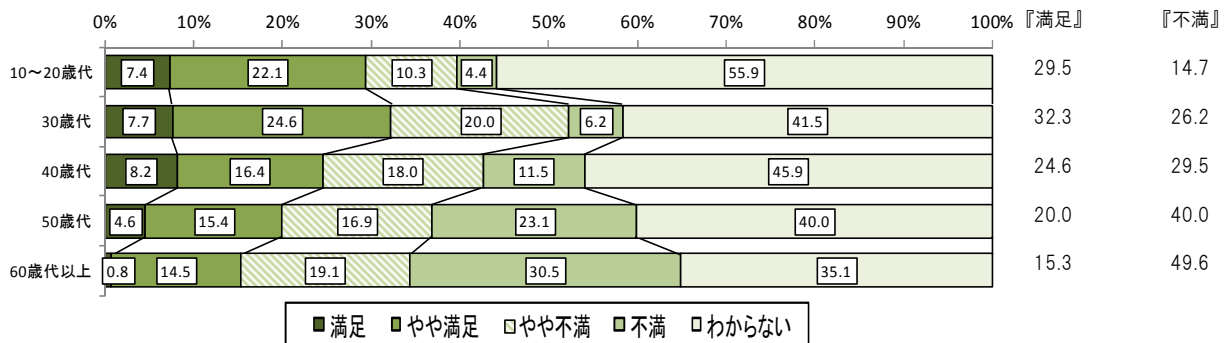
##### ①性別

・『満足』の回答比率は、女性の方が高くなっている。



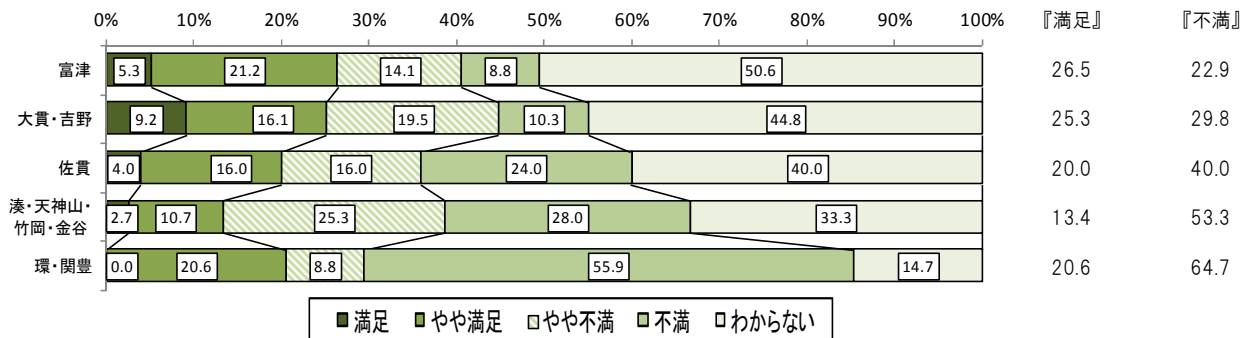
##### ②年齢階層別

・『満足』の回答比率は30歳代が最も高くなっている。『不満』の回答比率は年代が上がるにつれて高くなっている。10～20歳代は「わからない」の回答比率が他の年代と比較して突出して高くなっている。



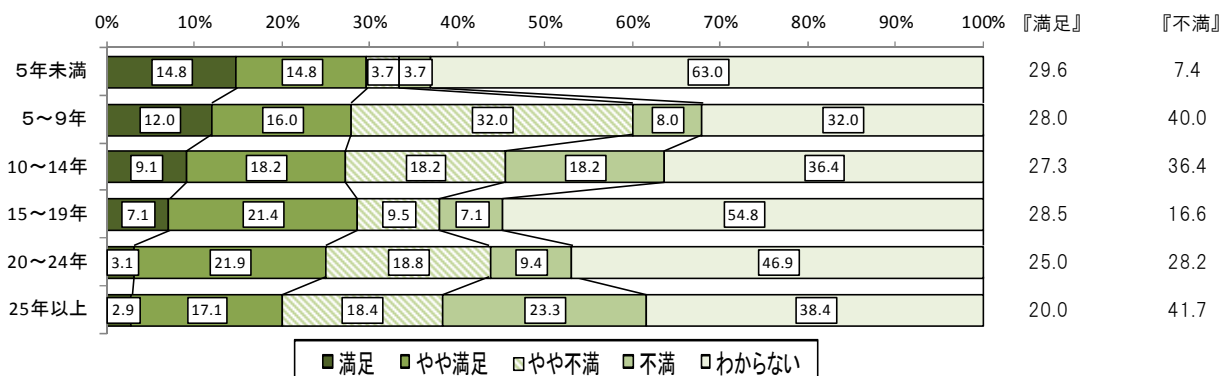
##### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区で、『不満』の回答比率が最も高いのは環・関豊地区となっている。



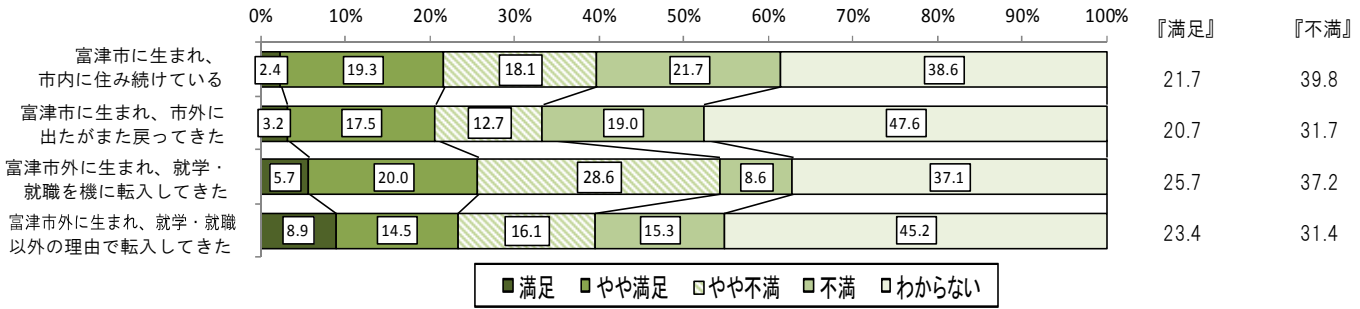
##### ④市内在住年数別

・全体的に在住年数が長くなるにつれて『満足』の回答比率は低くなっている。5年未満は「わからない」の回答比率が他の区分と比較して突出して高くなっている。



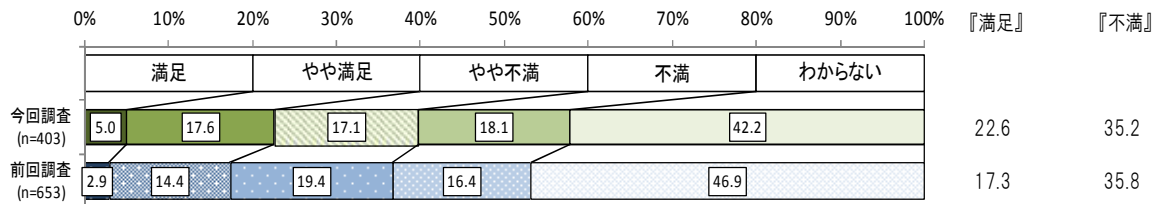
### ⑤転入の有無別

・市外で生まれた方が市内で生まれた方より『満足』の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は増加している。

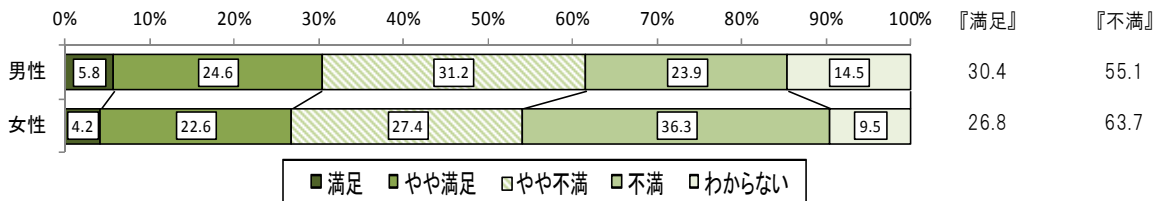


## 14) 医療

### ■属性別動向

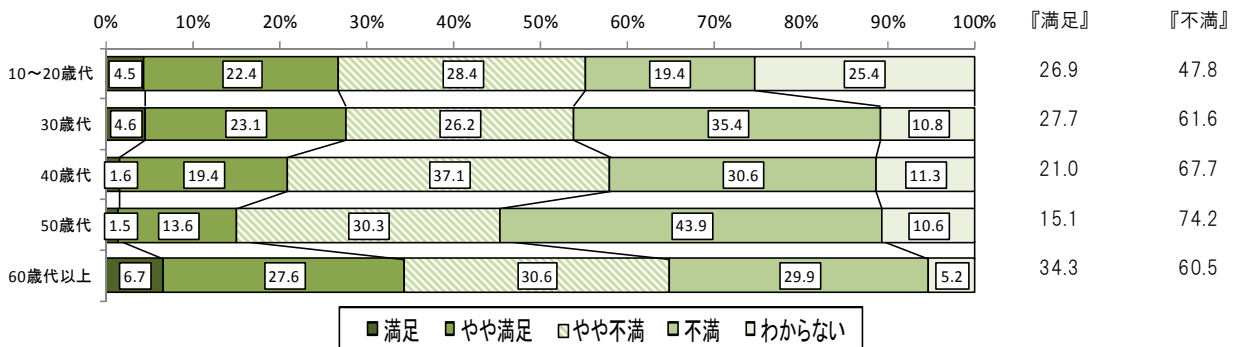
#### ①性別

・『満足』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



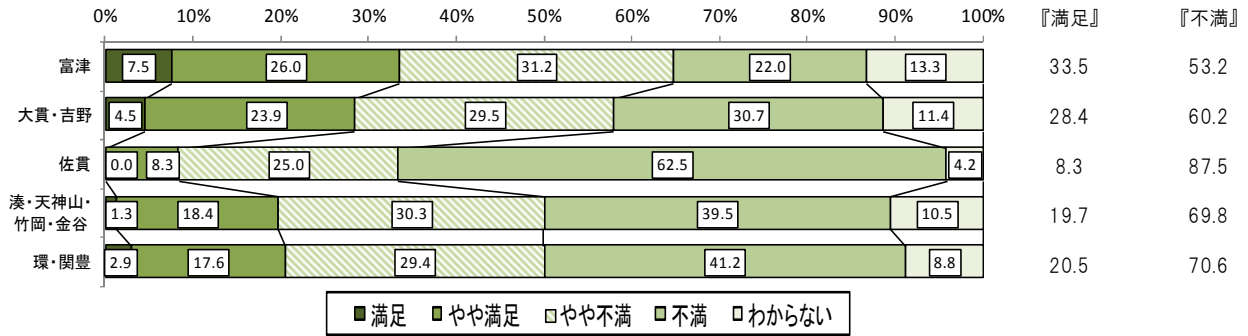
#### ②年齢階層別

・『満足』の回答比率が最も高いのは60歳代以上で、『不満』の回答比率が最も高いのは50歳代となっている。



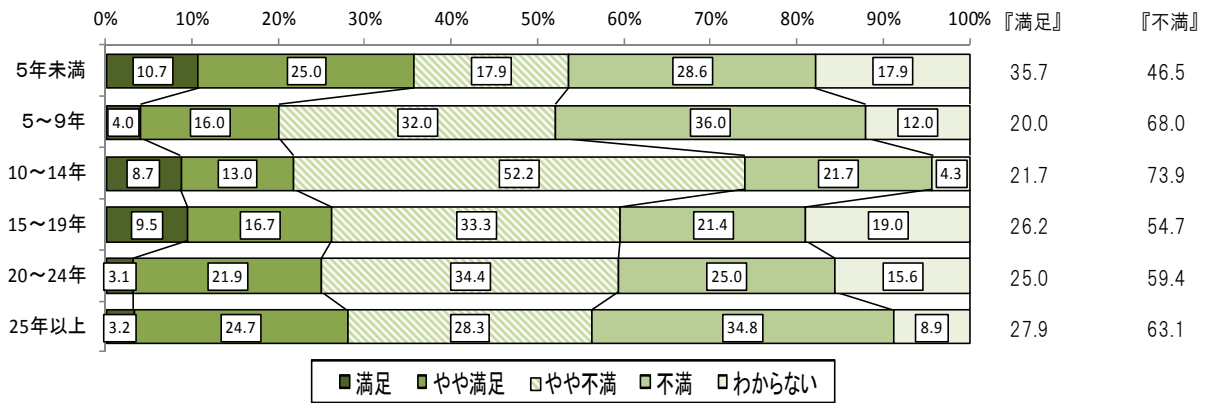
### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区となっている。佐貴地区は『不満』の回答比率が他の地区と比較して突出して高くなっている。



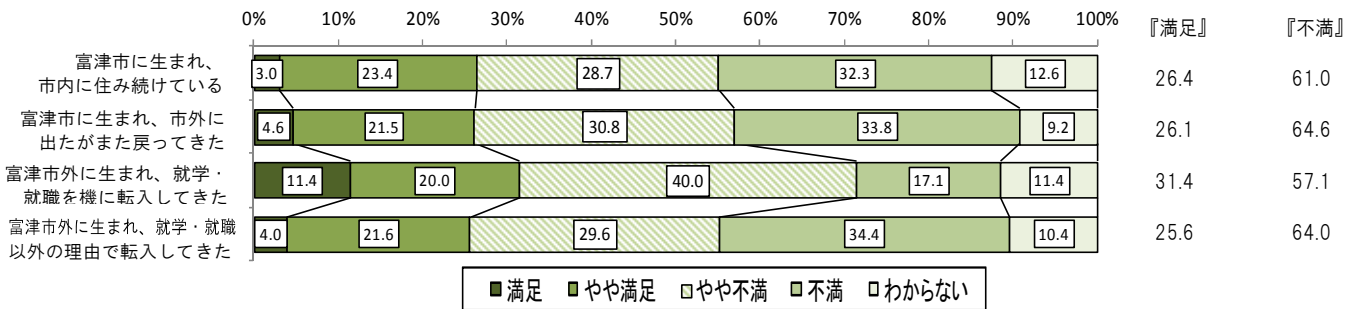
### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは5年未満で、『不満』の回答比率が最も高いのは10～14年となっている。



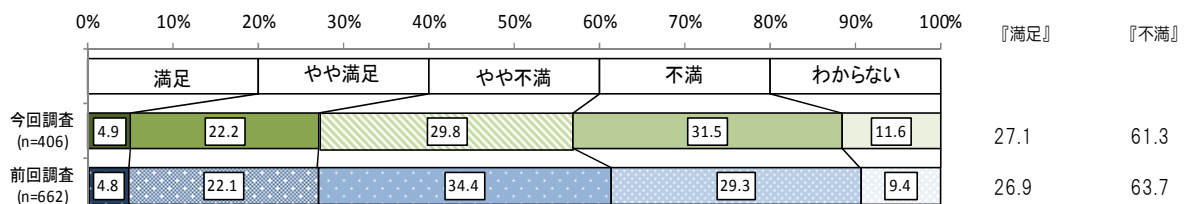
### ⑤転入の有無別

・『満足』の回答比率が最も高いのは就学・就職を機に転入してきた方で、『不満』の回答比率が最も高いのは市外に出たがまた戻ってきた方となっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率はほぼ同じで、『不満』の回答比率は減少している。

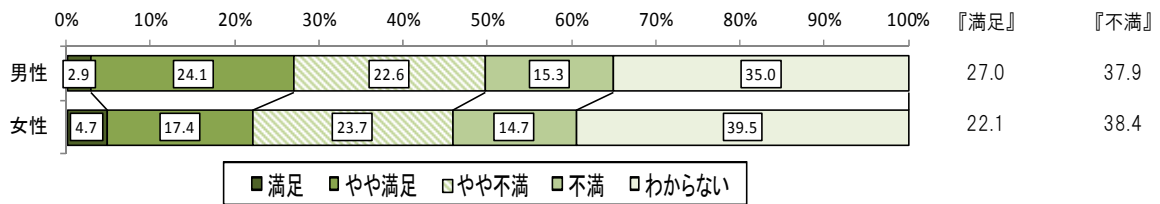


## 15) 福祉サービス

### ■属性別動向

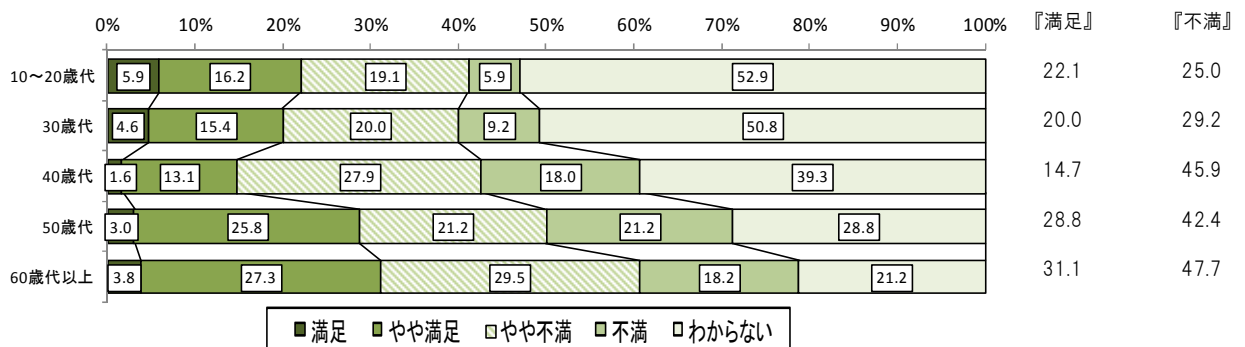
#### ①性別

・『満足』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



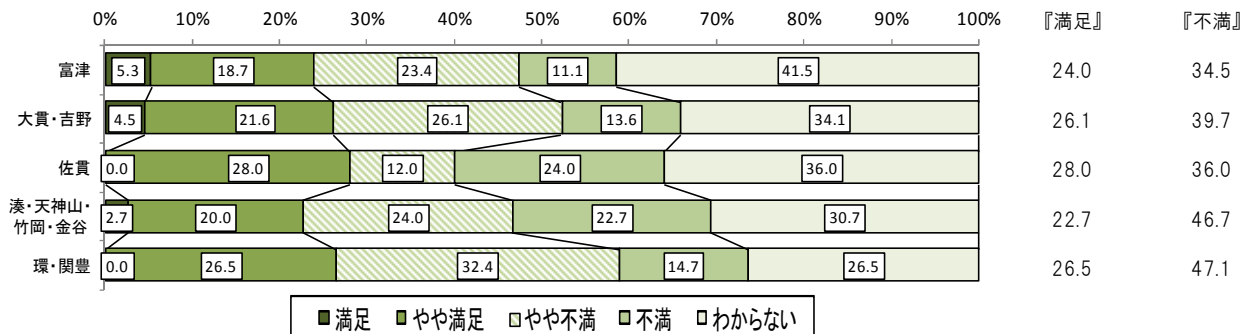
#### ②年齢階層別

・60歳代以上は『満足』、『不満』ともに回答比率が最も高くなっている。全体的に年代が上がるにつれて『不満』の回答比率が高くなっている。



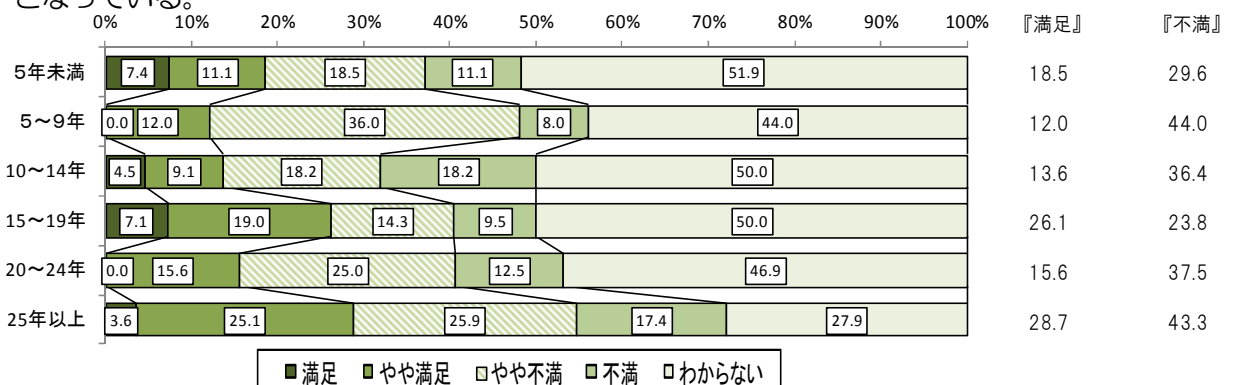
#### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは佐貫地区で、『不満』の回答比率が最も高いのは環・関豊地区となっている。



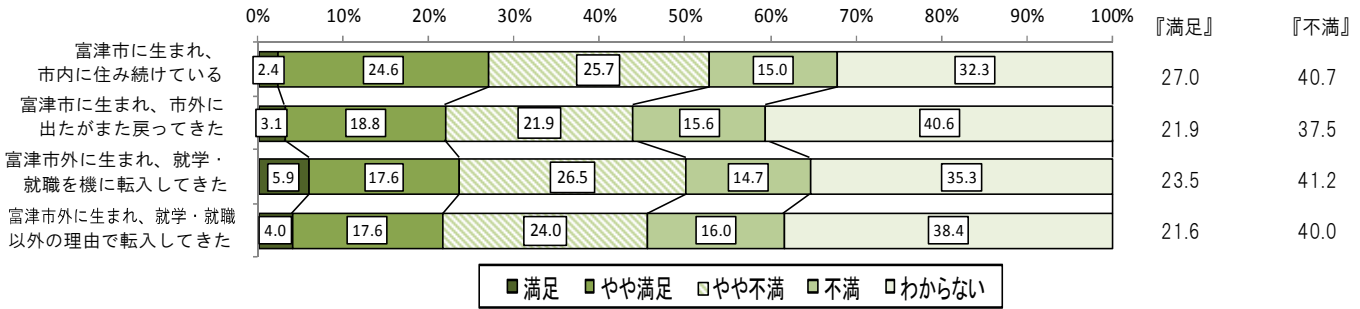
#### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは25年以上で、『不満』の回答比率が最も高いのは5~9年となっている。



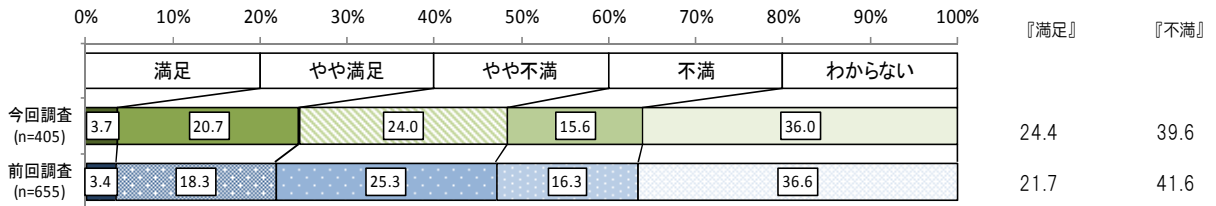
### ⑤転入の有無別

・市内で生まれた方が市外で生まれた方より『満足』の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は増加し、『不満』の回答比率は減少している。

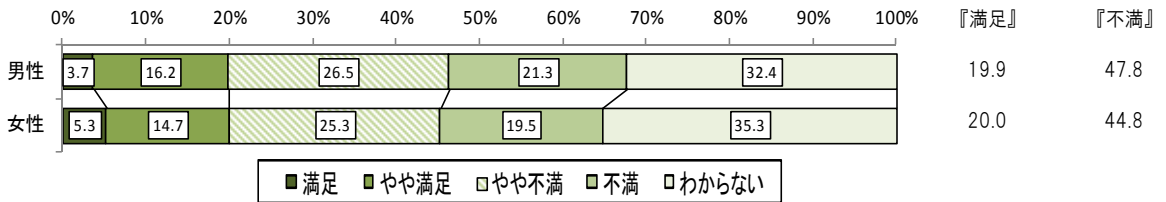


## 16) 学習環境

### ■属性別動向

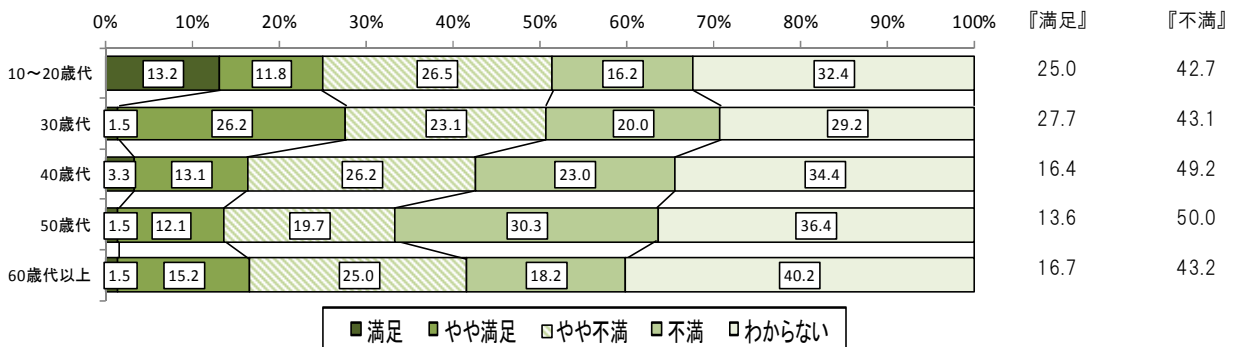
#### ①性別

・『満足』の回答比率は男女ともにほぼ同じだが、『不満』の回答比率は男性の方が高くなっている。



#### ②年齢階層別

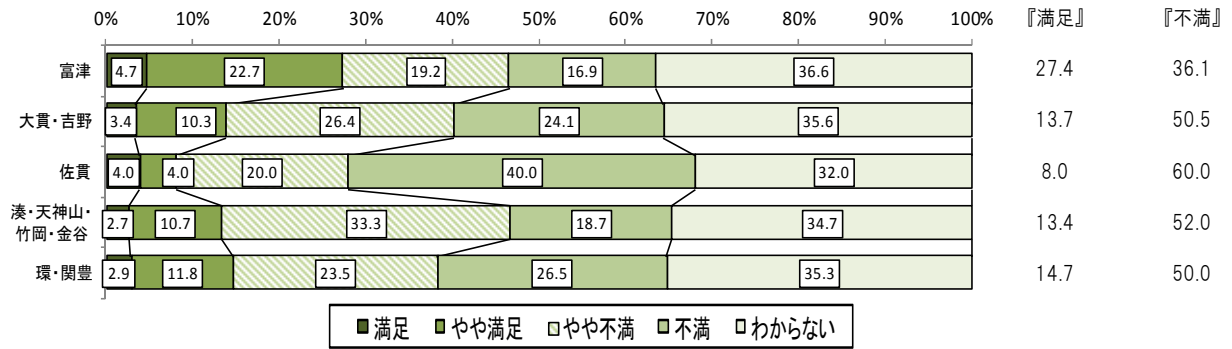
・『満足』の回答比率が最も高いのは30歳代で、『不満』の回答比率が最も高いのは50歳代となっている。





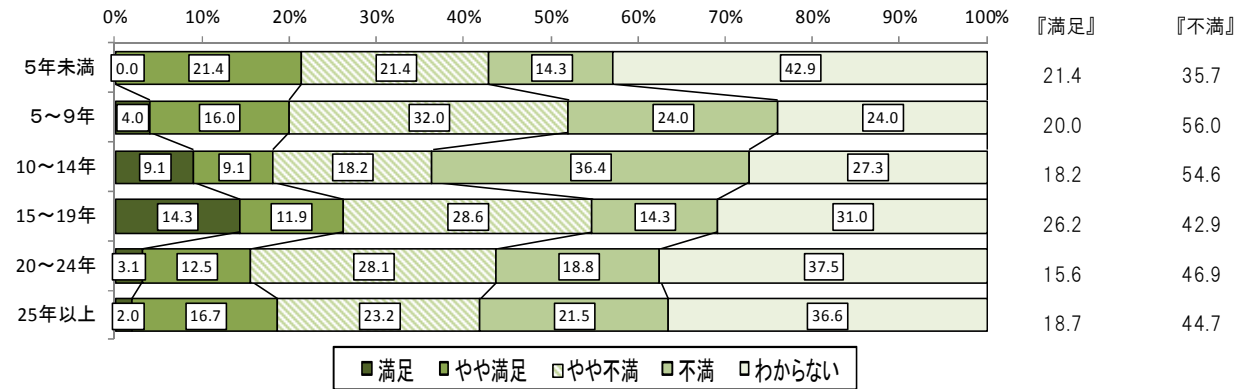
### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区で、『不満』の回答比率が最も高いのは佐貴地区となっている。



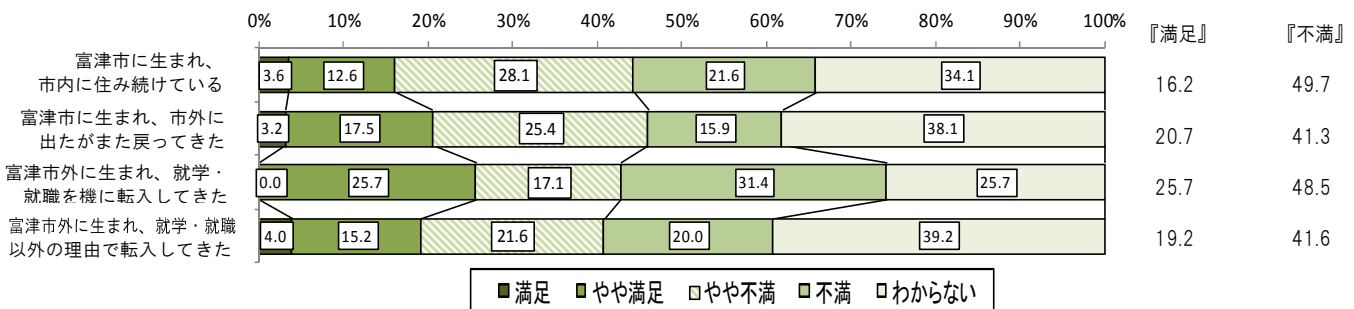
### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは15～19年で、『不満』の回答比率が最も高いのは5～9年となっている。



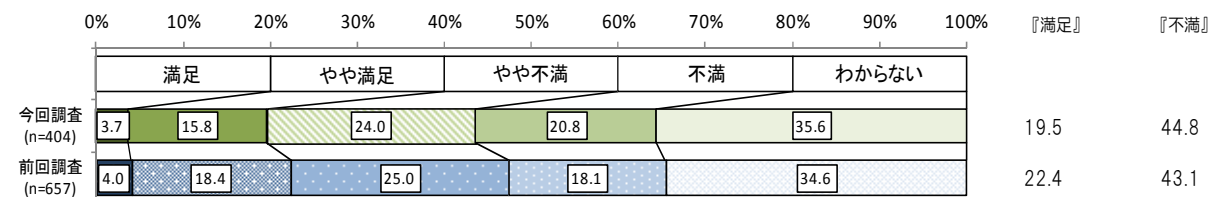
### ⑤転入の有無別

・市外で生まれた方が市内で生まれた方より『満足』の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』の回答比率は減少し、『不満』の回答比率は増加している。

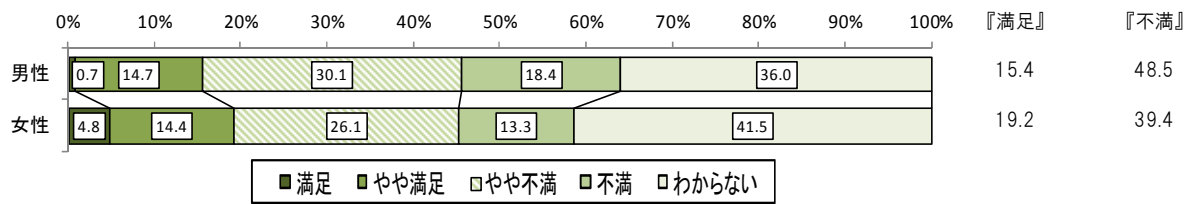


## 17) 市民の交流拠点

### ■属性別動向

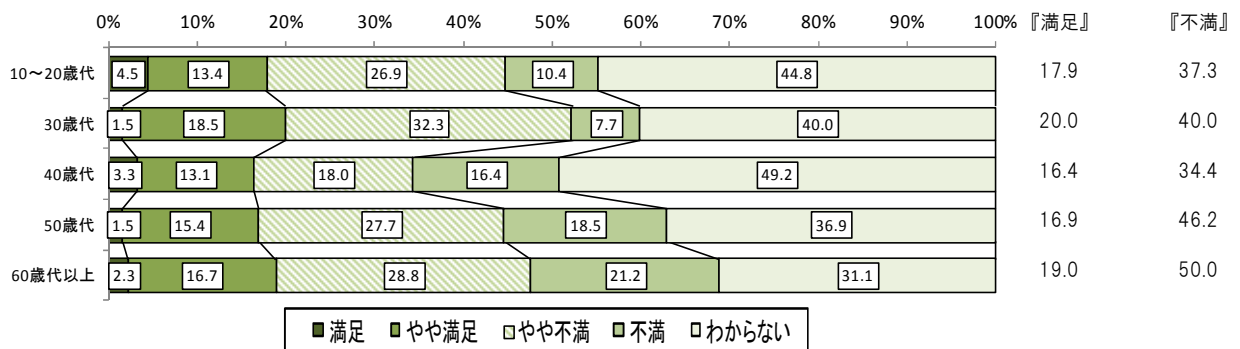
#### ①性別

・『満足』の回答比率は、女性の方が高くなっている。



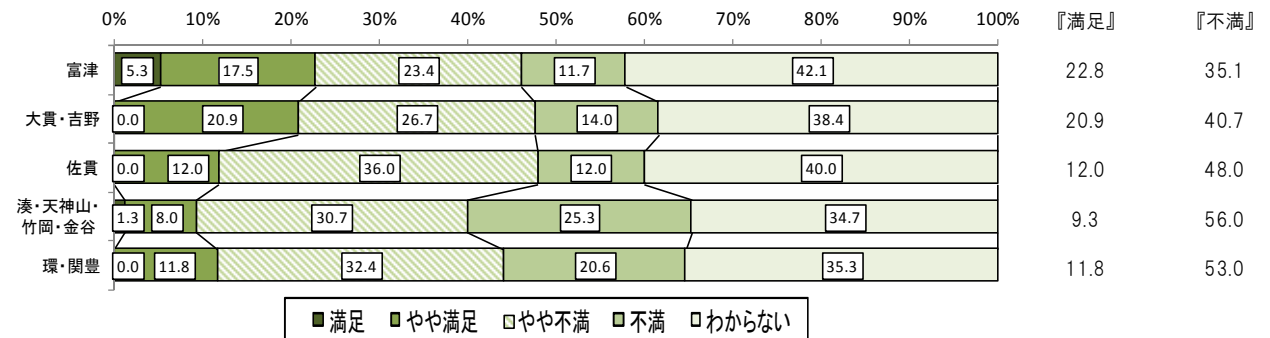
#### ②年齢階層別

・『満足』の回答比率が最も高いのは30歳代となっている。全体的に年代が上がるにつれて『不満』の回答比率が高くなっている。



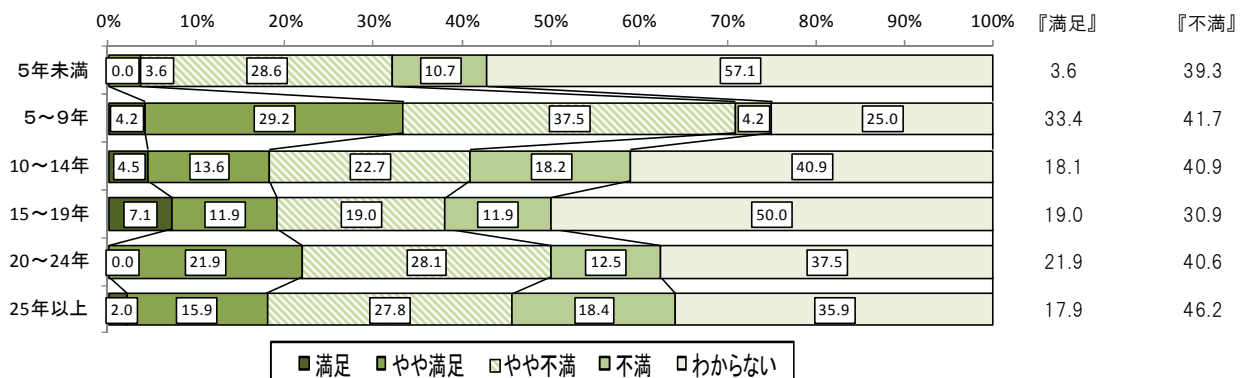
#### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区で、『不満』の回答比率が最も高いのは湊・天神山・竹岡・金谷地区となっている。



#### ④市内在住年数別

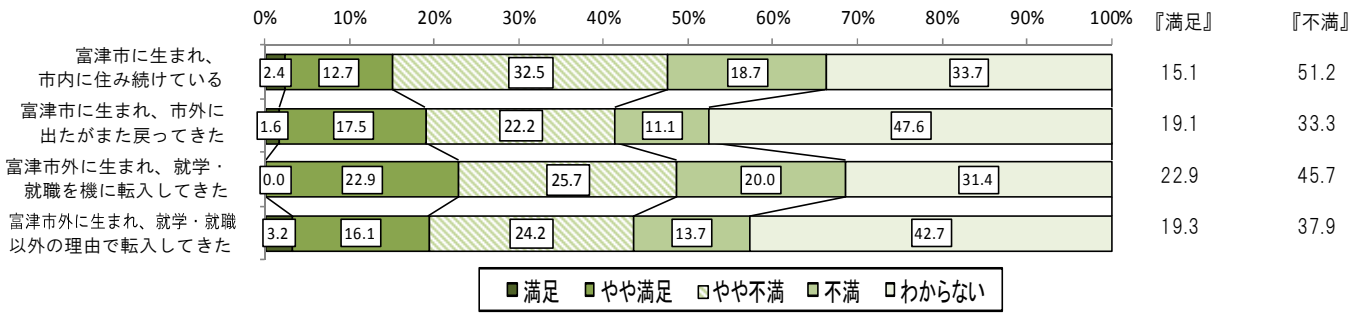
・『満足』の回答比率が最も高いのは5～9年となっている。5年未満は『満足』の回答比率が他の区分と比較して特になくなっている。





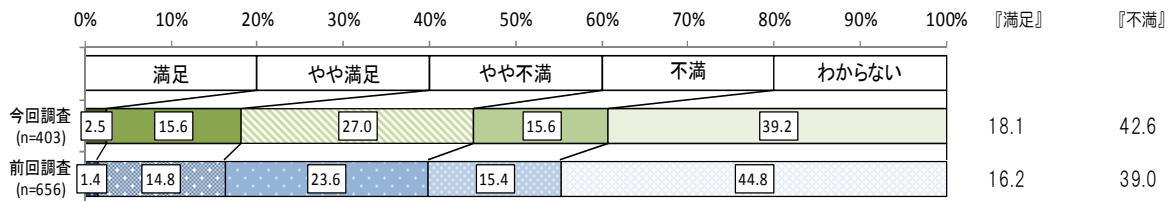
### ⑤転入の有無別

・市外で生まれた方が市内で生まれた方より『満足』の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して『満足』、『不満』ともに回答比率が増加している。

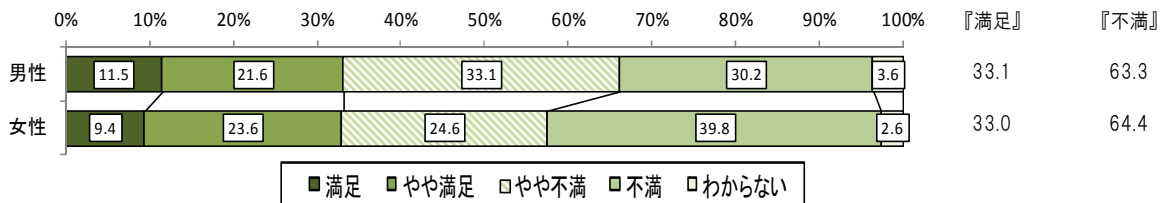


## 18) 買い物をする場所

### ■属性別動向

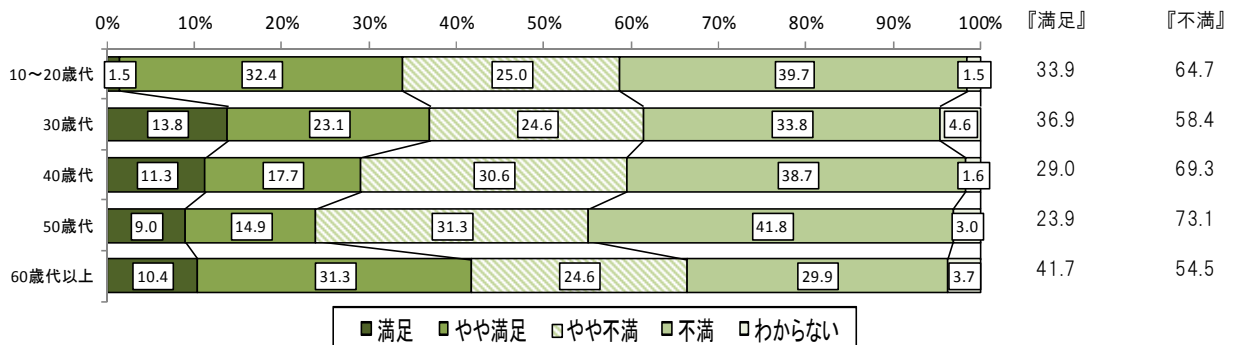
#### ①性別

・『満足』の回答比率は男女ともにほぼ同じだが、『不満』の回答比率は、女性の方が高くなっている。



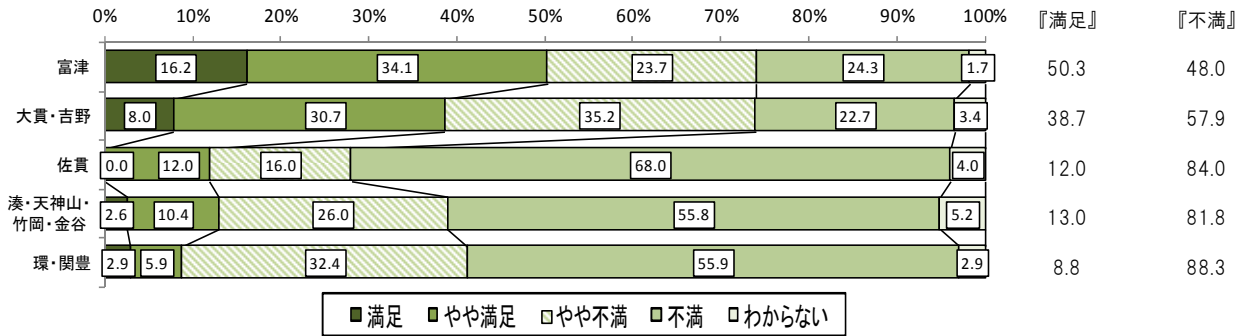
#### ②年齢階層別

・『満足』の回答比率が最も高いのは60歳代以上で、『不満』の回答比率が最も高いのは50歳代となっている。



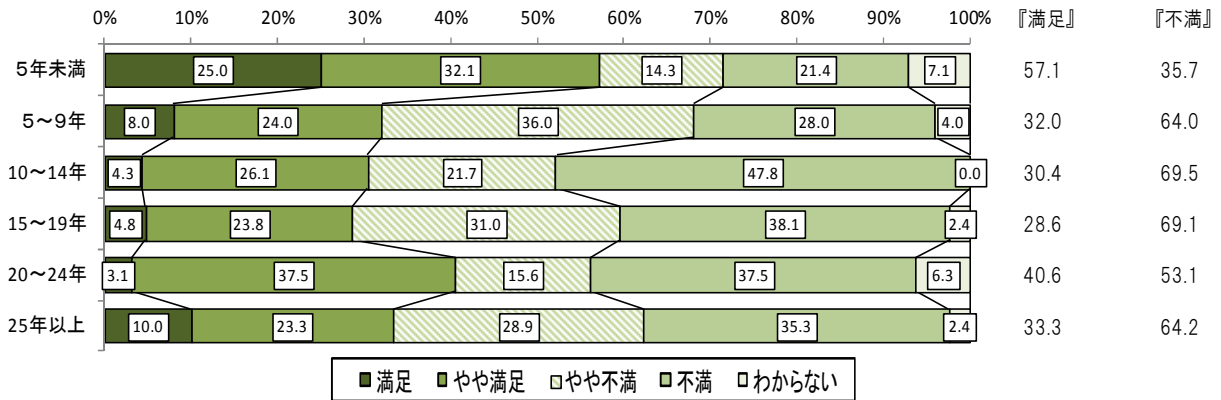
### ③居住地区別

・『満足』の回答比率が最も高いのは富津地区となっている。佐貴地区、湊・天神山・竹岡・金谷地区、環・関豊地区は『不満』の回答比率が高く、8割を超えている。



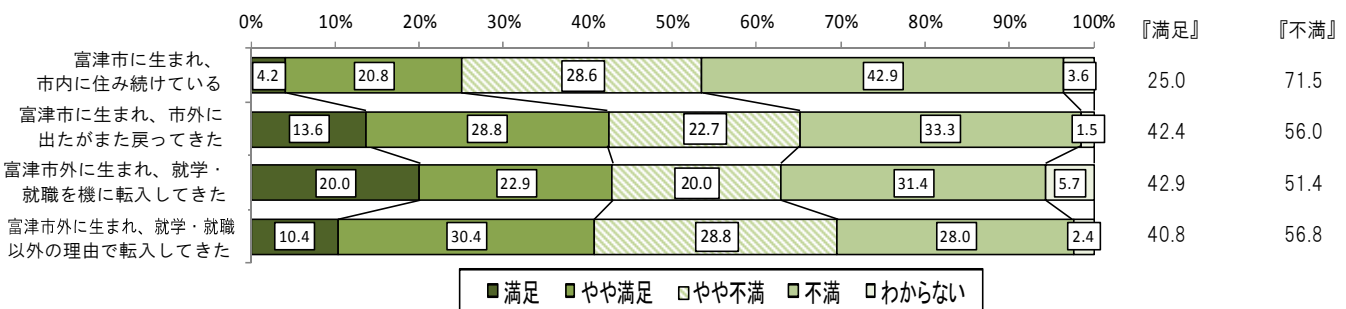
### ④市内在住年数別

・『満足』の回答比率が最も高いのは5年未満で、『不満』の回答比率が最も高いのは10～14年となっている。



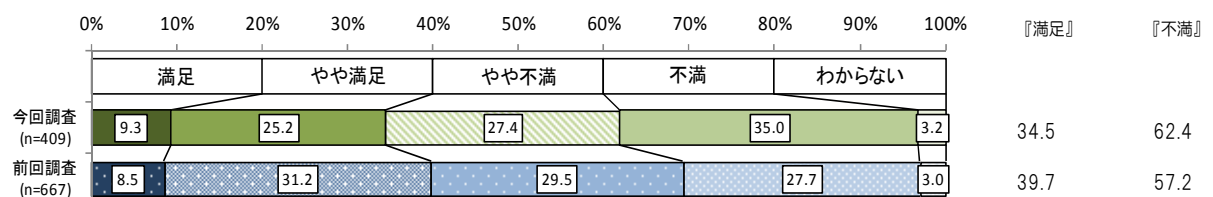
### ⑤転入の有無別

・市内に住み続けている方は他の区分と比較して特に『満足』の回答比率が低く、『不満』の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

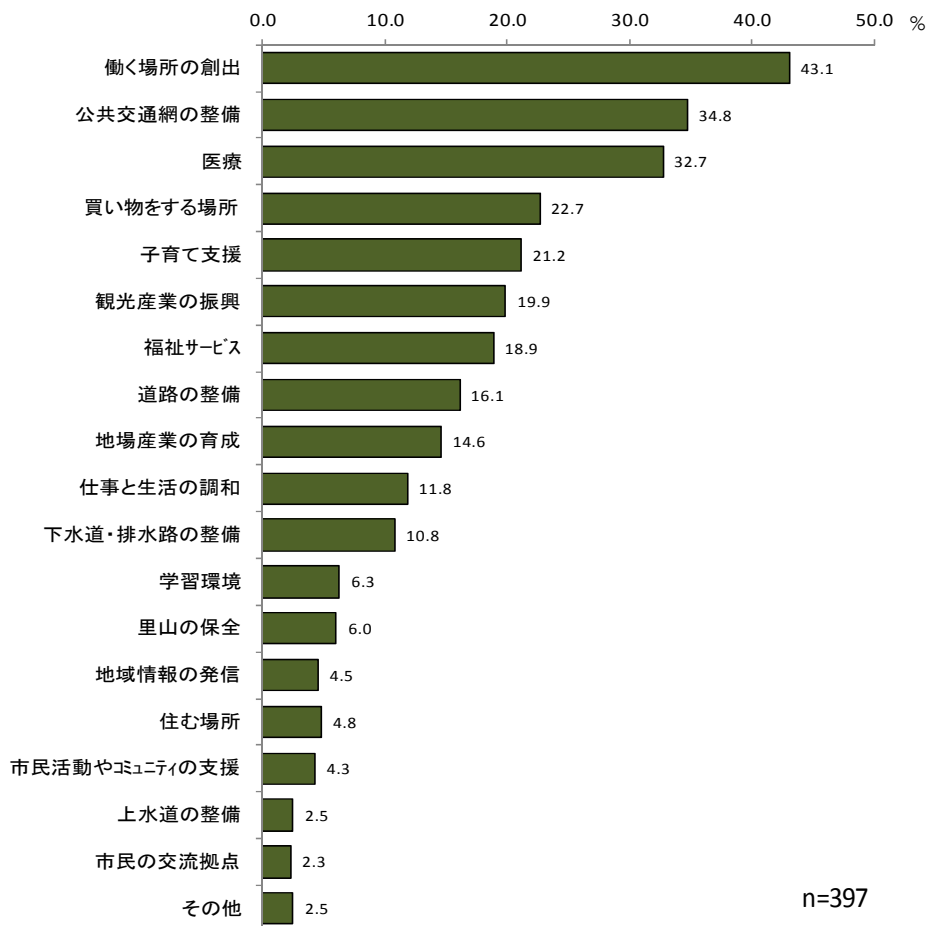
・前回調査と比較して『満足』の回答比率は減少し、『不満』の回答比率は増加している。



## (5) 富津市に重要なこと

問5 あなたが、これからの富津市に重要だと思うものを選んで番号に○印をつけてください(最大3つ)。(MA)

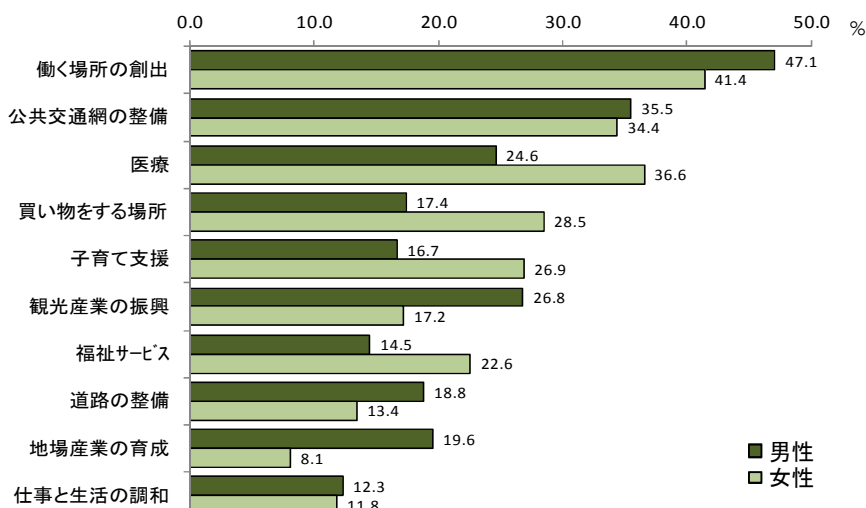
「働く場の創出」の比率が最も高く、次いで「公共交通網の整備」「医療」「買い物をする場所」「子育て支援」となっている。



### ■属性別動向(上位10項目)

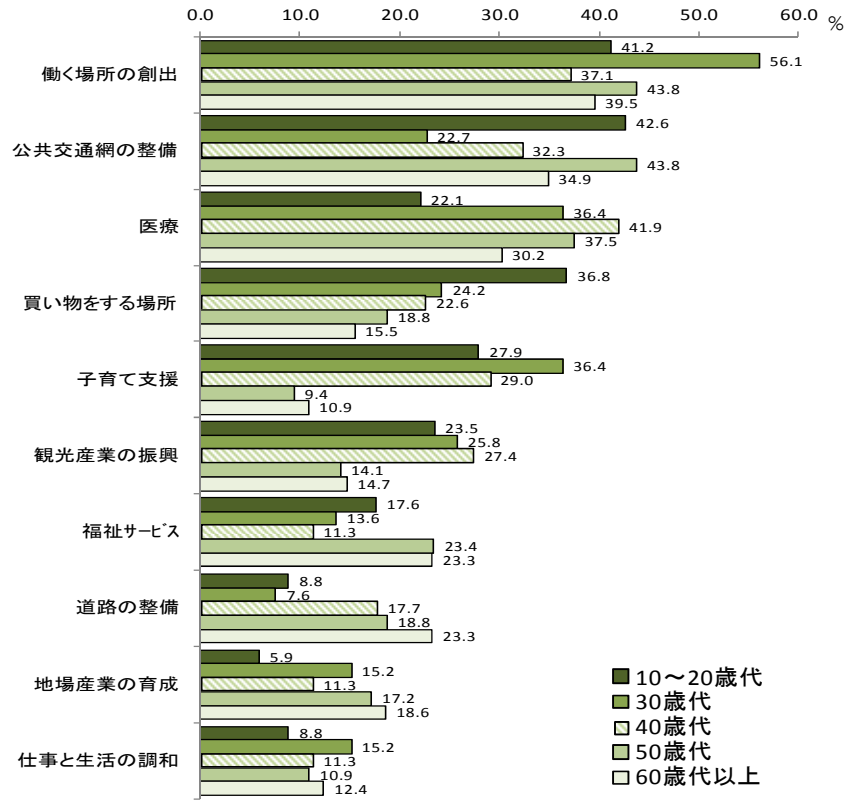
#### ①性別

・男女ともに「働く場所の創出」の回答比率が最も高くなっている。次いで男性では「公共交通網の整備」「観光産業の振興」「医療」「地場産業の育成」、女性では「医療」「公共交通網の整備」「買い物をする場所」「子育て支援」となっている。



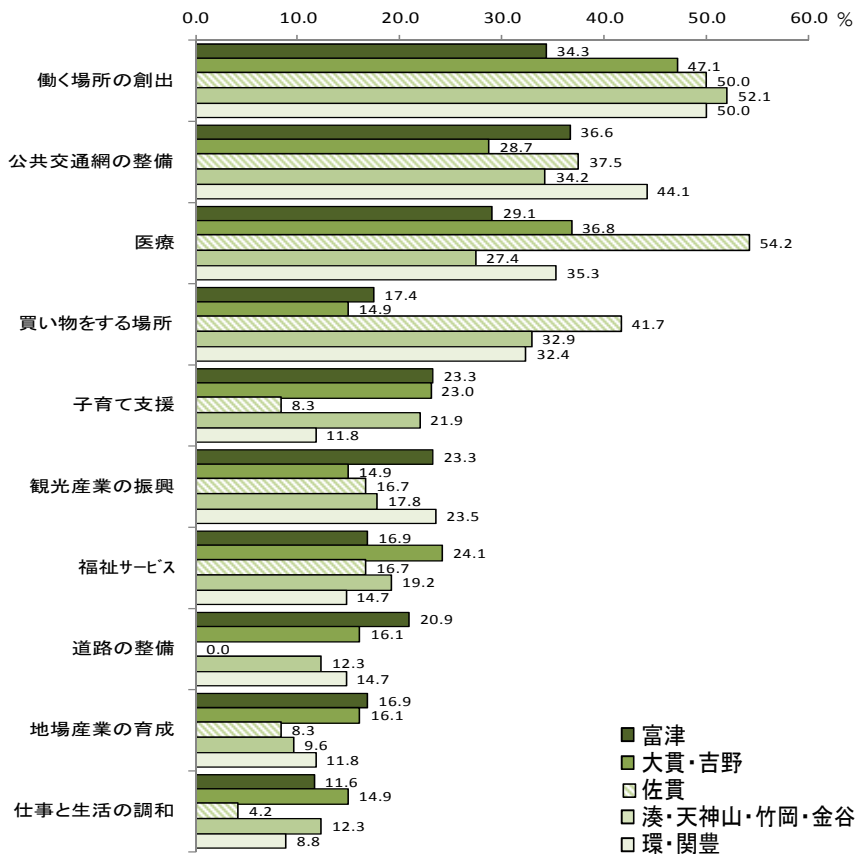
## ②年齢階層別

- 他の年代と比較して10歳～20歳代は「買い物をする場所」の、30歳代は「働く場所の創出」「子育て支援」の、50歳代と60歳代以上は「福祉サービス」の回答比率が高くなっている。



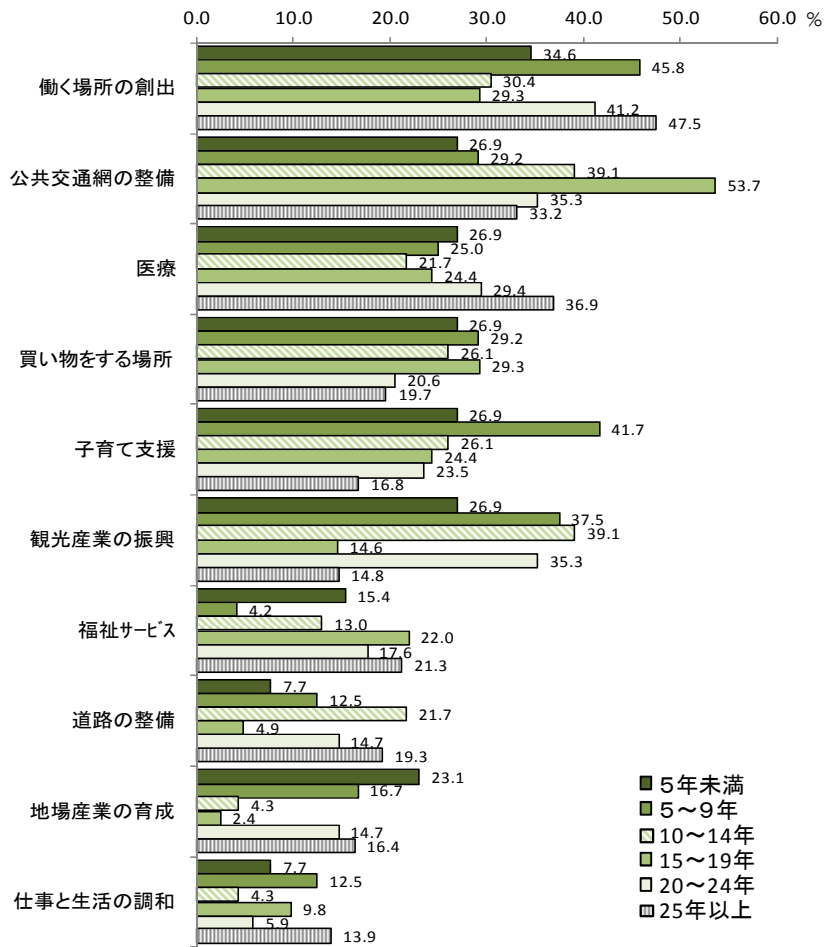
## ③居住地区別

- 他の地区と比較して佐貴地区は「医療」「買い物をする場所」の、環・関豊地区は「公共交通網の整備」の回答比率が高くなっている。



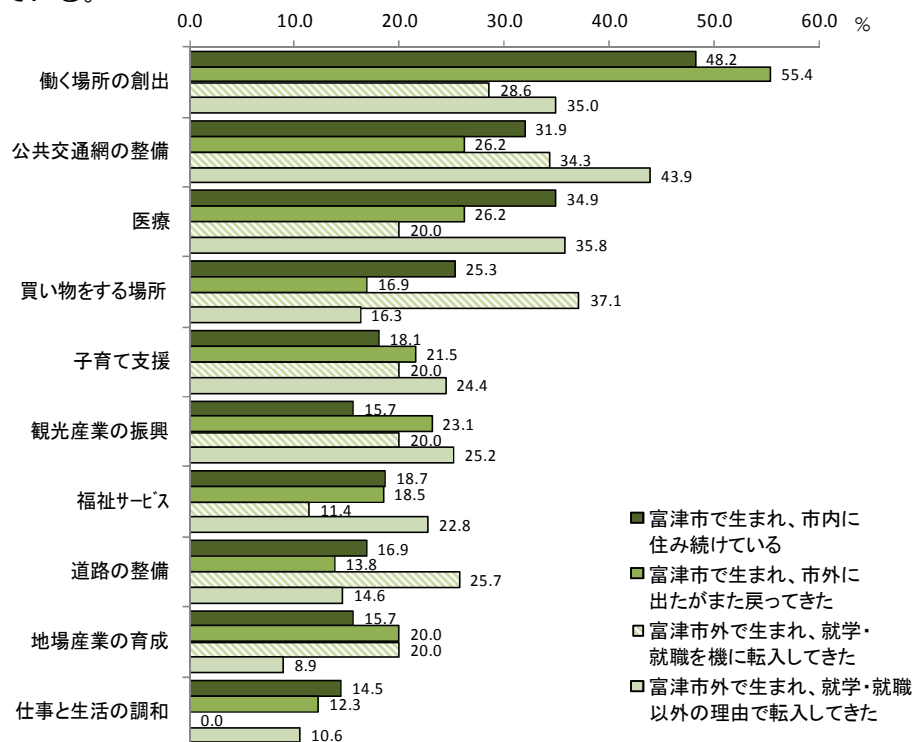
#### ④市内在住年数別

- 他の区分と比較して5～9年は「子育て支援」の、15～19年は「公共交通網の整備」の、25年以上は「医療」の回答比率が高くなっている。



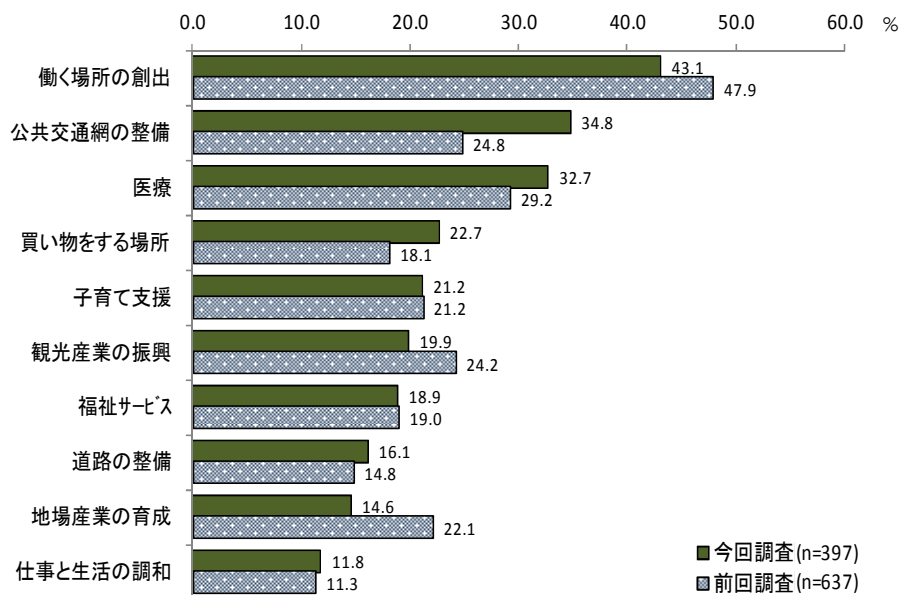
#### ⑤転入の有無別

- 市内で生まれた方は「働く場所の創出」の、市外で生まれた方は「公共交通網の整備」の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較（上位 10 項目）

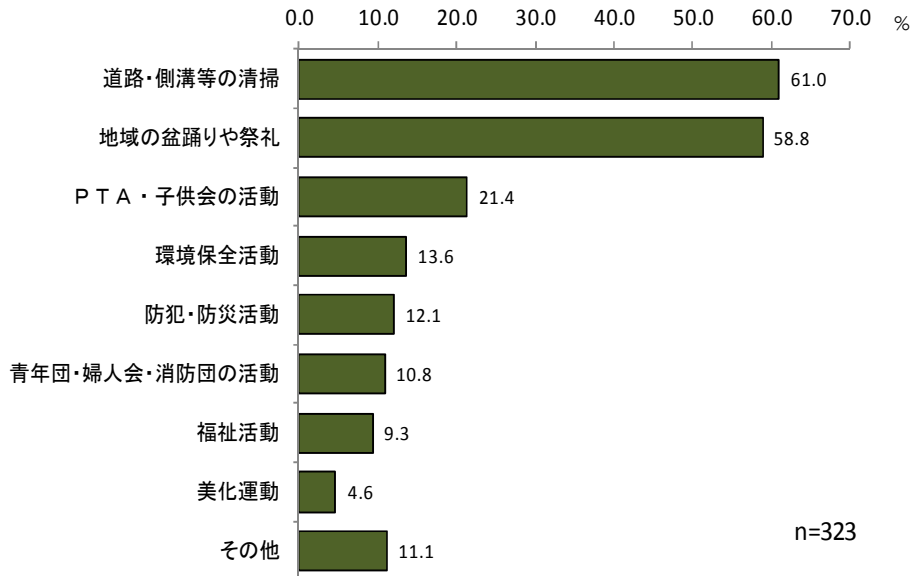
- 前回調査と比較して「公共交通網の整備」「医療」「買い物をする場所」の回答比率の増加、「働く場所の創出」「観光産業の振興」「地場産業の育成」の回答比率の減少が目立つ。



## (6) 参加している地域活動

問6 あなたは、地域などで行っているさまざまな活動に参加・協力していますか。参加・協力しているものを次の中からすべて選んで番号に○印をつけてください。(MA)

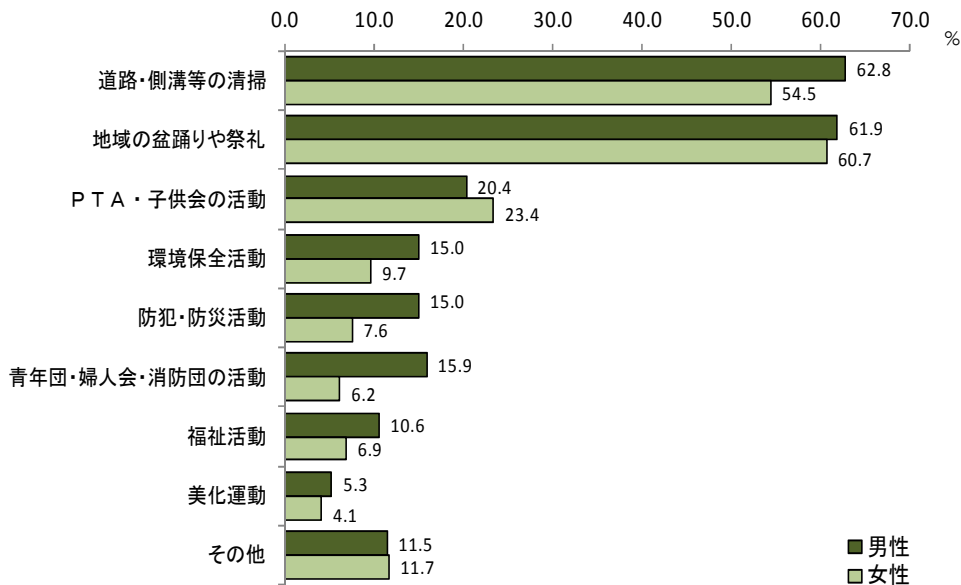
「道路・側溝等の清掃」「地域の盆踊りや祭礼」の比率が、他の項目と比較して高くなっている。



### ■属性別動向

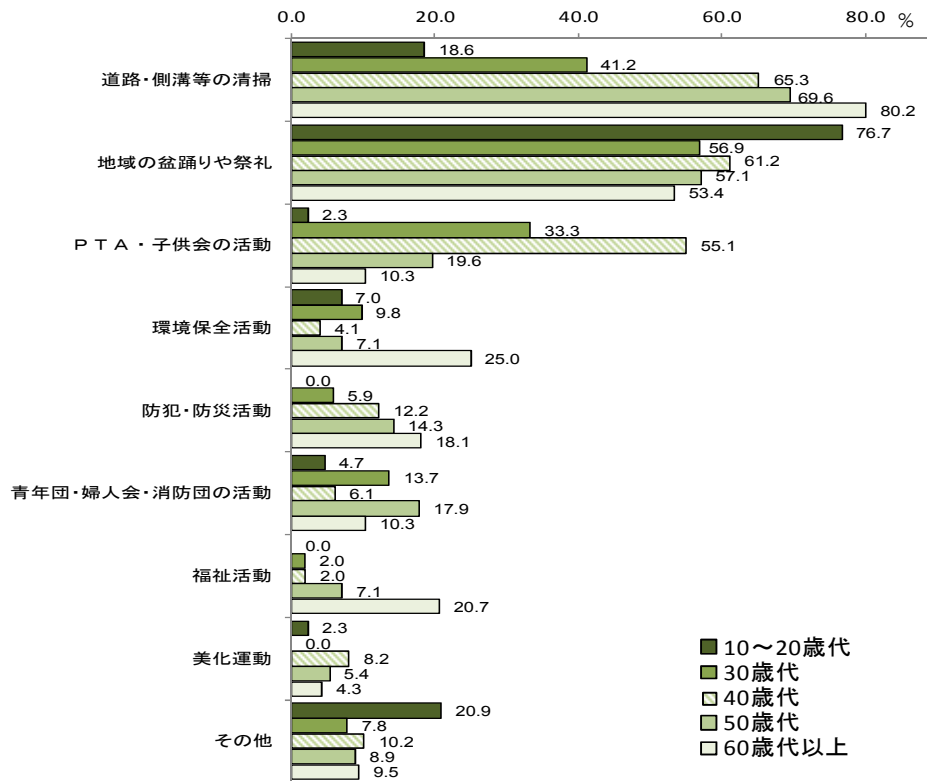
#### ①性別

・男女ともに「道路・側溝等の清掃」「地域の盆踊りや祭礼」の回答比率が高くなっている。男女間の回答比率では「環境保全活動」「防犯・防災活動」「青年団・婦人会・消防団の活動」で差異が目立つ。



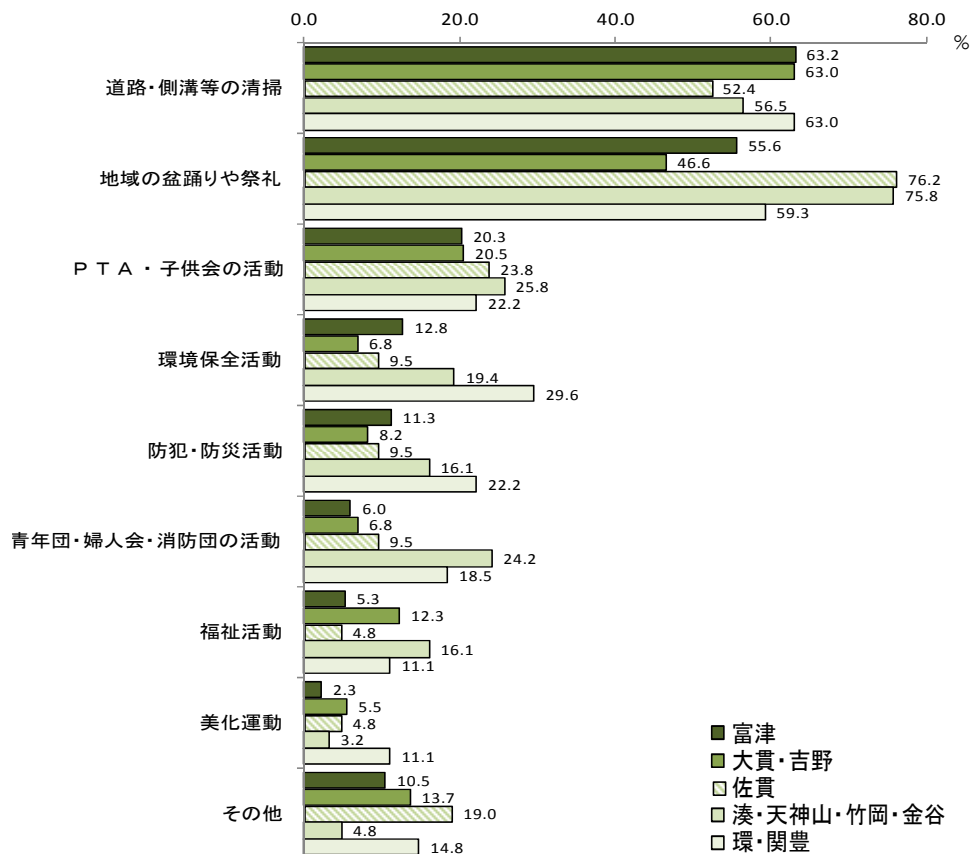
## ②年齢階層別

- 他の年代と比較して10～20歳代は「地域の盆踊りや祭礼」の、40歳代は「PTA・子供の活動」の、60歳代以上は「環境保全活動」「福祉活動」の回答比率が高くなっている。「道路・側溝等の清掃」は年代が上がるにつれて回答比率が高くなっている。



## ③居住地区別

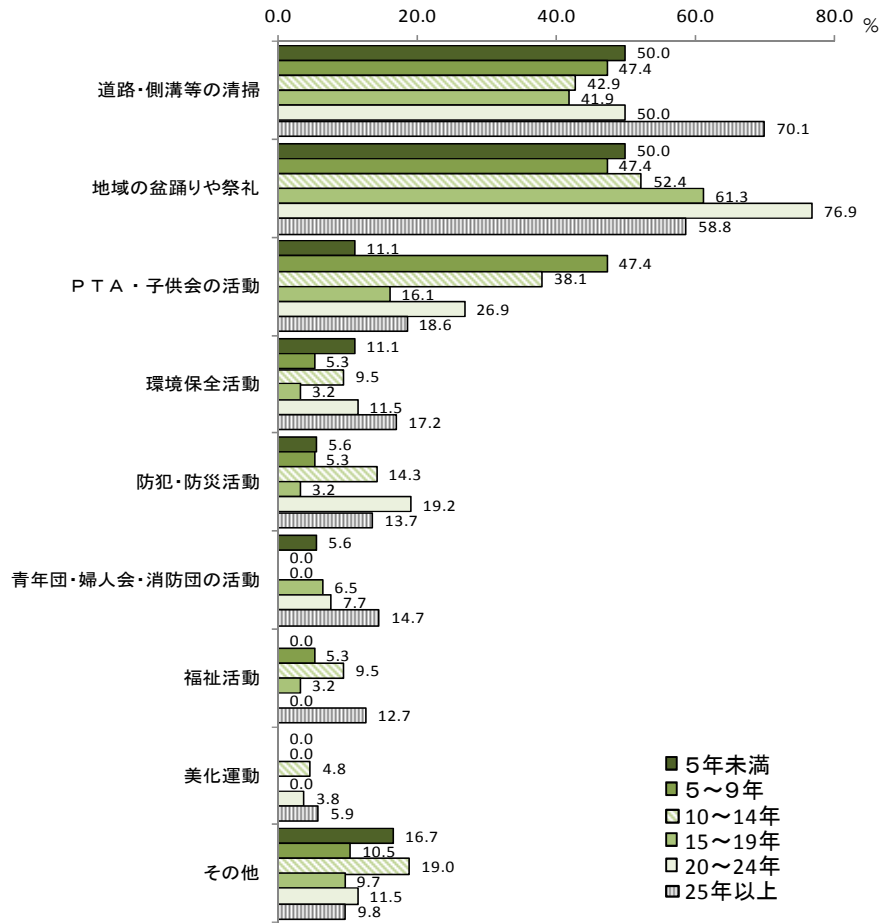
- 他の地区と比較して佐貫地区と湊・天神山・竹岡・金谷地区は「地域の盆踊りや祭礼」の、環・関豊地区は「環境保全活動」の回答比率が高くなっている。





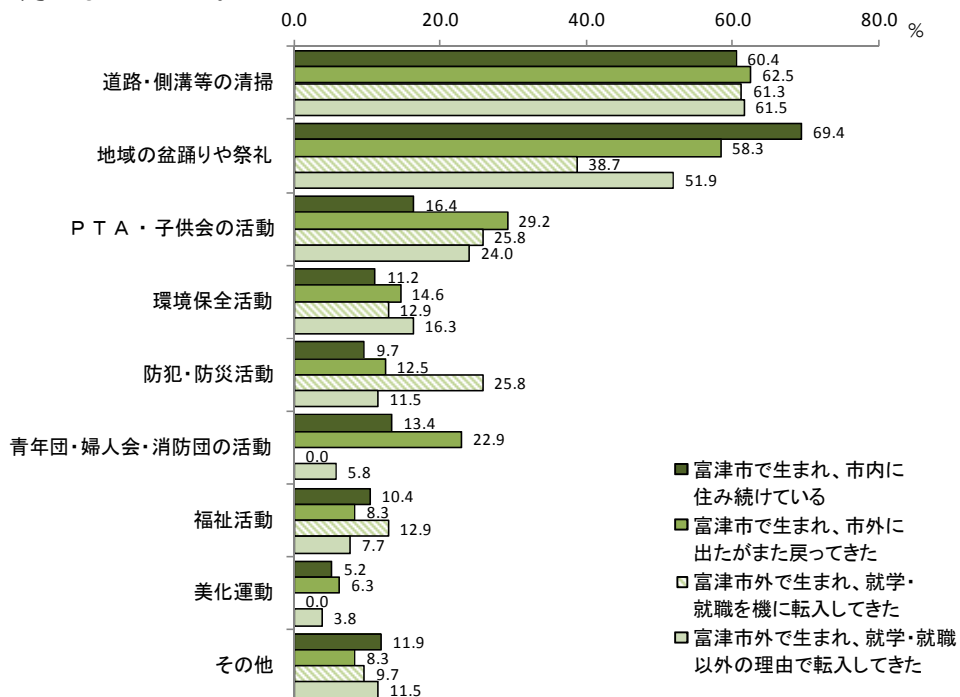
#### ④市内在住年数別

- 他の区分と比較して5～9年は「PTA・子供会の活動」の、20～24年は「地域の盆踊りや祭礼」の、25年以上は「道路・側溝等の清掃」の回答比率が高くなっている。



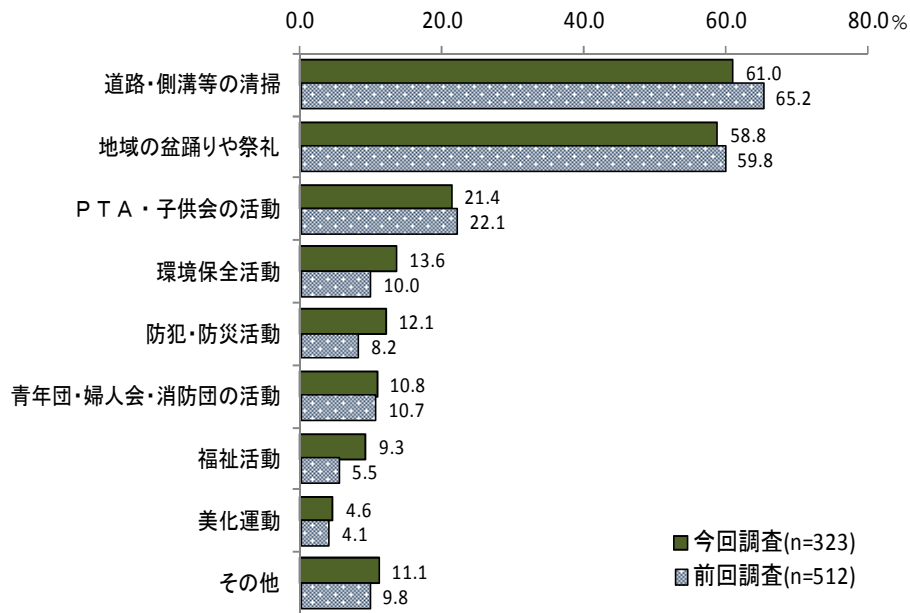
#### ⑤転入の有無別

- 市内で生まれた方は市外で生まれた方と比較して「地域の盆踊りや祭礼」「青年団・婦人会・消防団の活動」の、市外で生まれた方は市内で生まれた方と比較して「防犯・防災活動」の回答比率が高くなっている。



## 前回調査との比較

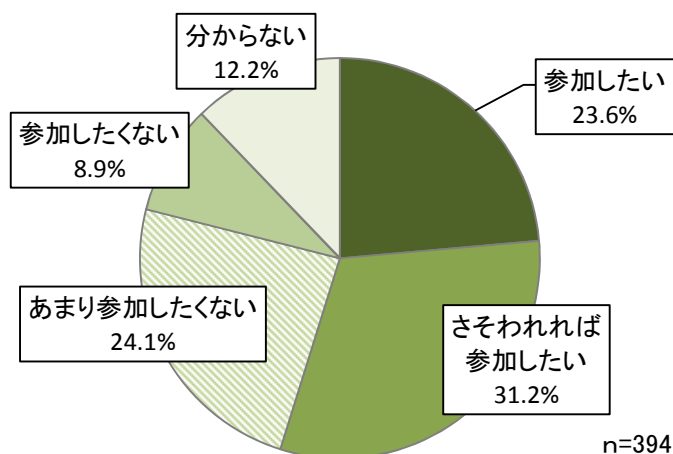
- 前回調査と比較して「環境保全活動」「防犯・防災活動」「福祉活動」の回答比率の増加、「道路・側溝等の清掃」の回答比率の減少が目立つ。



## (7) 地域活動への参加意欲

問7 あなたは、問6のようなコミュニティ活動（地域のさまざまな活動）に今後も参加したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。  
(SA)

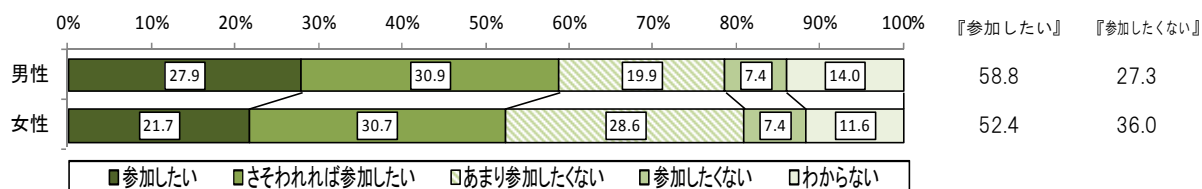
「参加したい」「さそわれれば参加したい」を合わせた『参加したい』は54.8%で、「あまり参加したくない」「参加したくない」を合わせた『参加したくない』の33.0%を大きく上回っていることから、全体的な傾向として、市民のコミュニティ活動への参加意欲は高いといえるが、「さそわれれば参加したい」の比率が高く、受動的な姿勢が目立つといえる。



### ■属性別動向

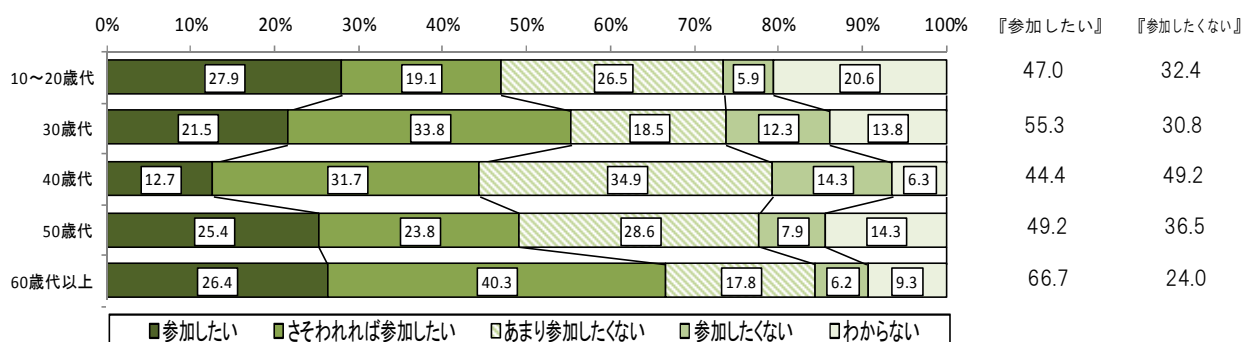
#### ①性別

・『参加したい』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



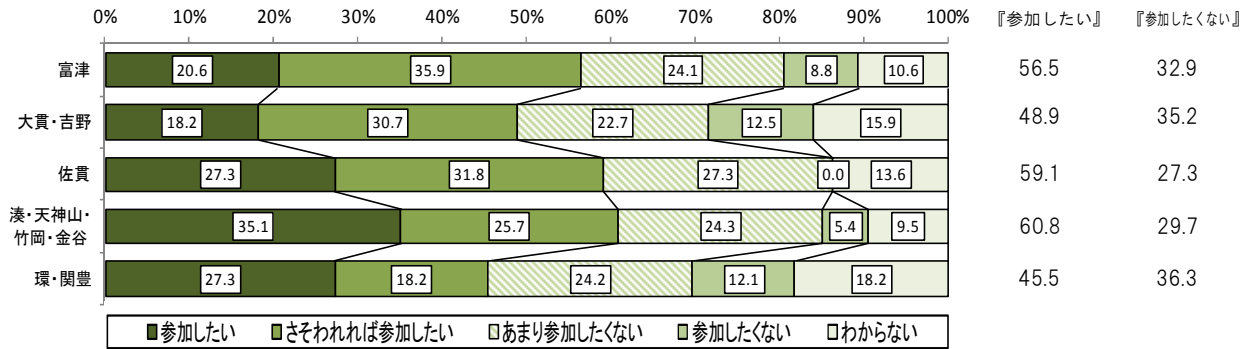
#### ②年齢階層別

・『参加したい』の回答比率が最も高いのは60歳代以上で、『参加したくない』の回答比率が最も高いのは40歳代となっている。



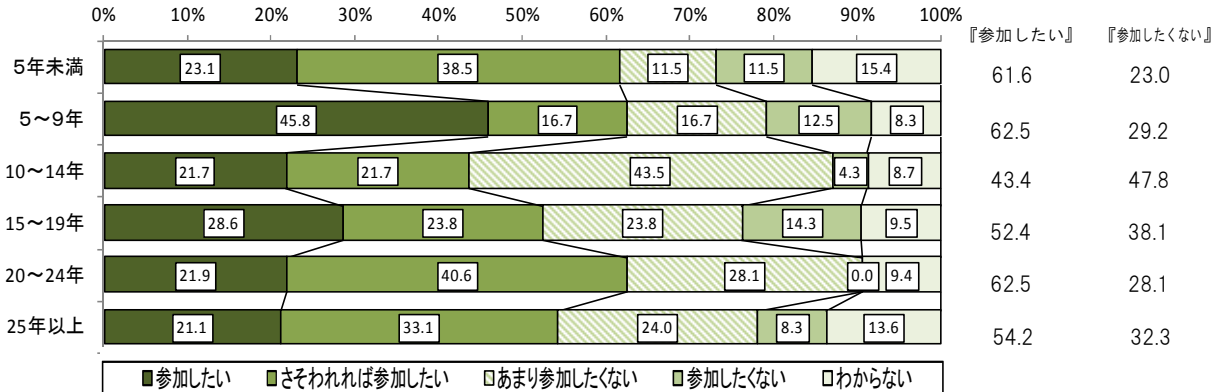
### ③居住地区別

・『参加したい』の回答比率が最も高いのは湊・天神山・竹岡・金谷地区で、『参加したくない』の回答比率が最も高いのは環・関豊地区はとなっている。



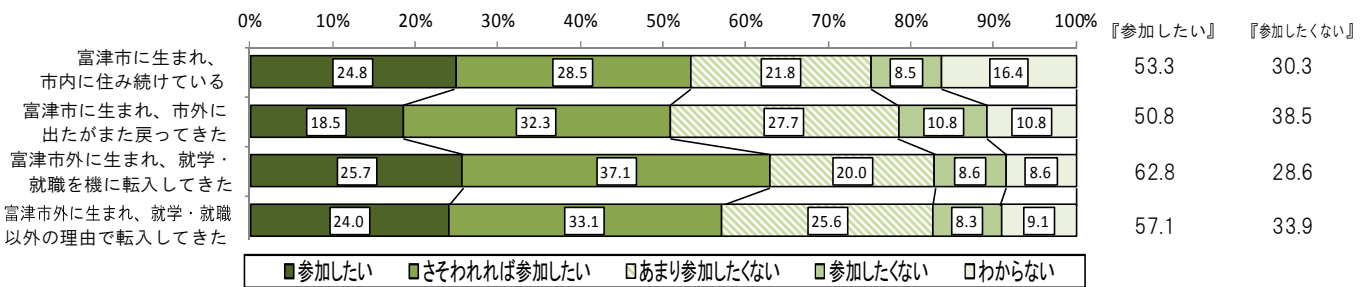
### ④市内在住年数別

・『参加したい』の回答比率が最も高いのは5～9年、20～24年となっている。5～9年は自発的な「参加したい」の回答比率が他の区分と比較して突出して高くなっている。『参加したくない』の回答比率が最も高いのは10～14年となっている。



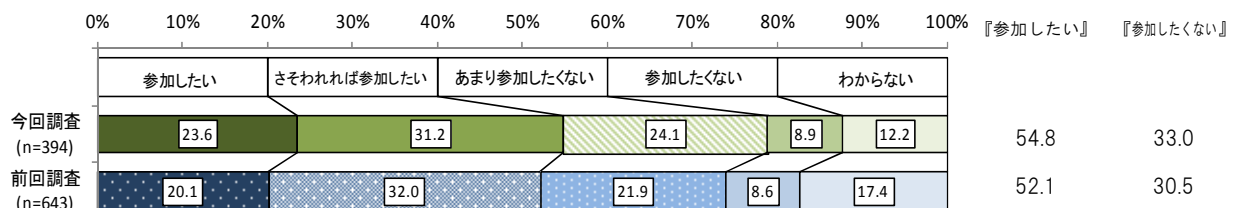
### ⑤転入の有無別

・市外で生まれた方が市内で生まれた方より『参加したい』の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

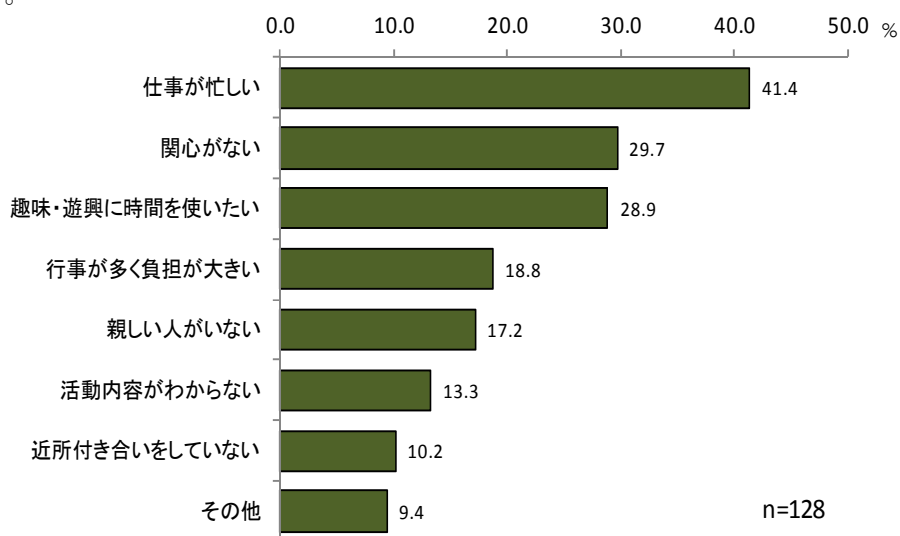
・前回調査と比較して『参加したい』、『参加したくない』ともに回答比率が増加している。



## (8) 地域活動に参加しない理由

問8 問7で「あまり参加したくない」または「参加したくない」に○印をつけた人におうかがいします。コミュニティ活動に参加したくない理由はなんですか。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。(最大3つ) (MA)

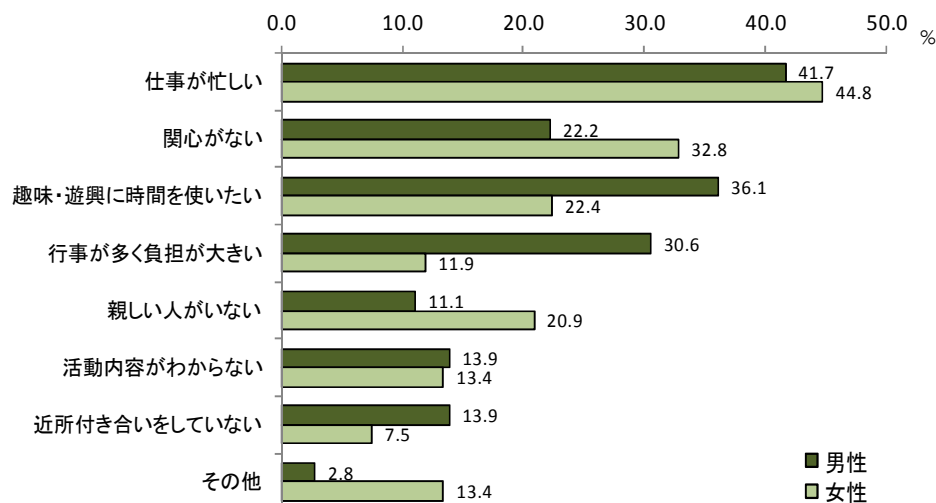
「仕事が忙しい」の比率が最も高く、次いで「関心がない」「趣味・遊興に時間を使いたい」となっている。



### ■属性別動向

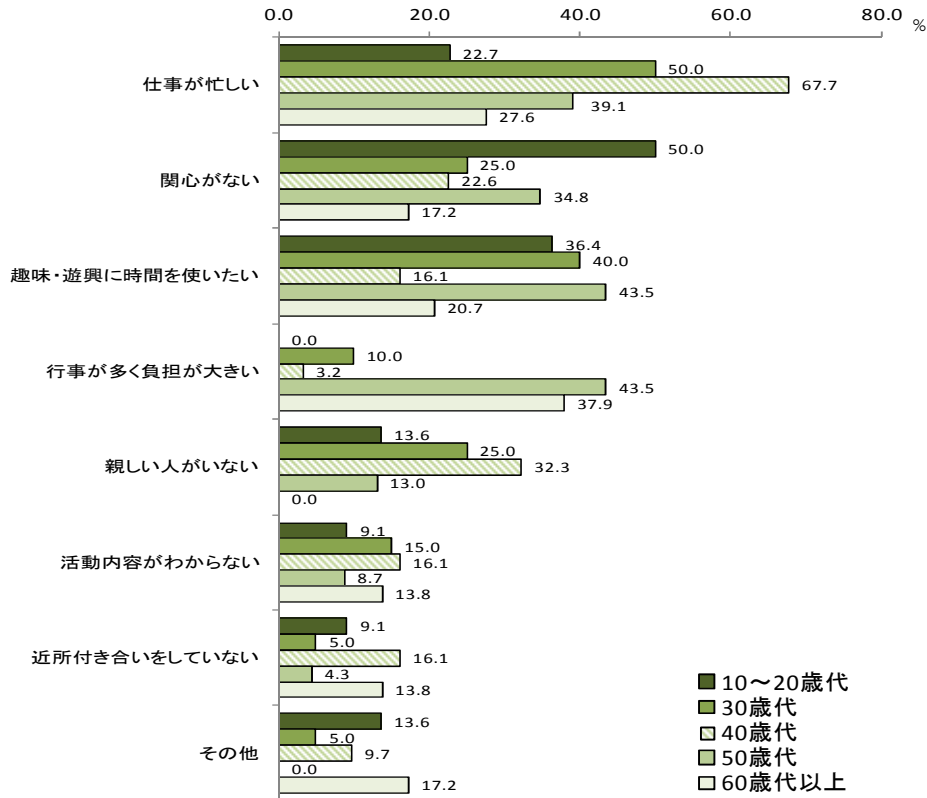
#### ①性別

・男女ともに「仕事が忙しい」の回答比率が最も高くなっている。男女間の回答比率では「関心がない」「趣味・遊興に時間を使いたい」「行事が多く負担が大きい」「親しい人がいない」で差異が目立つ。



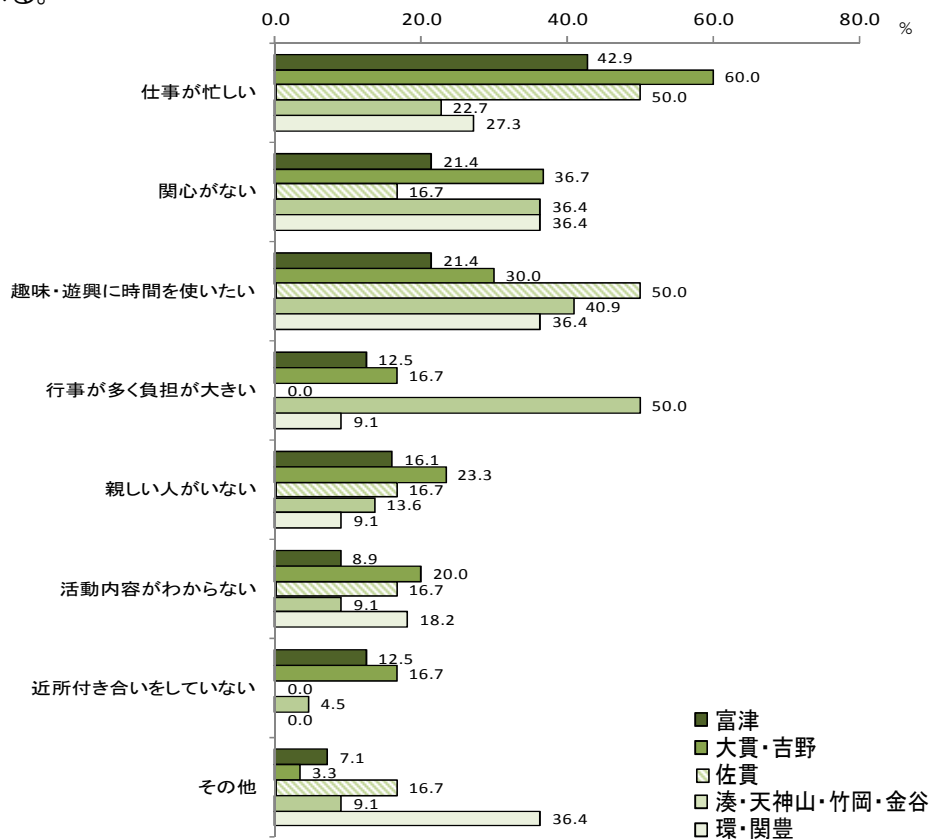
### ②年齢階層別

・他の年代と比較して10～20歳代は「関心がない」の、40歳代は「仕事が忙しい」の、50歳代と60歳代以上は「行事が多く負担が大きい」の回答比率が高くなっている。



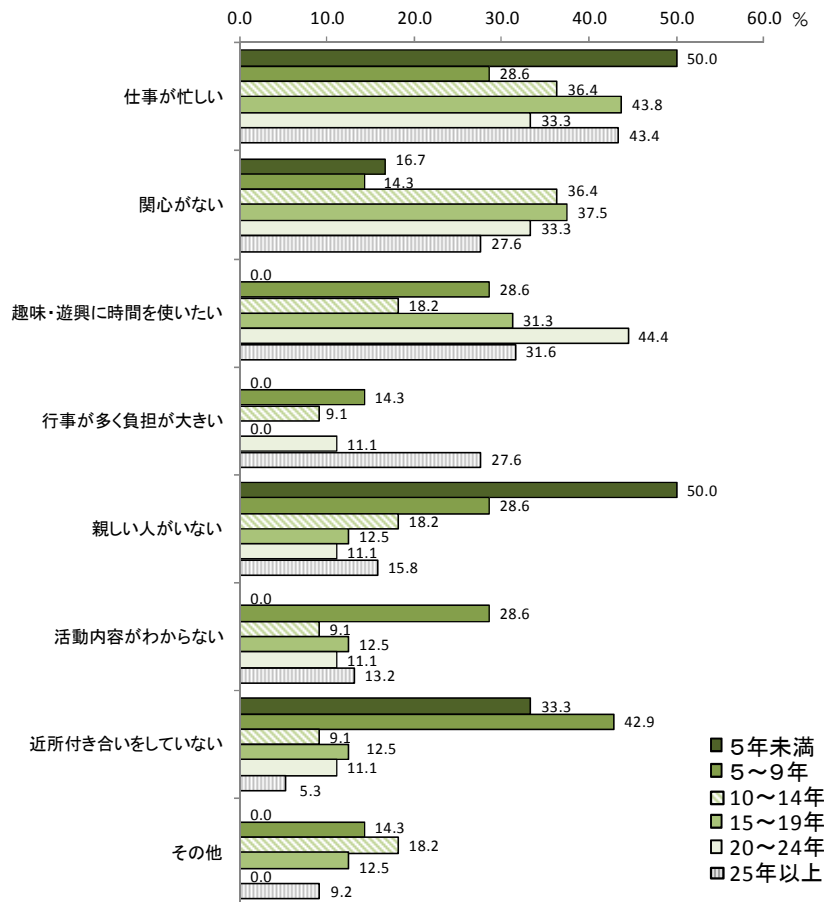
### ③居住地区別

・他の地区と比較して大貴・吉野地区は「仕事が忙しい」の、佐貴地区は「趣味・遊興に時間を使いたい」の、湊・天神山・竹岡・金谷地区は「行事が多く負担が大きい」の回答比率が高くなっている。



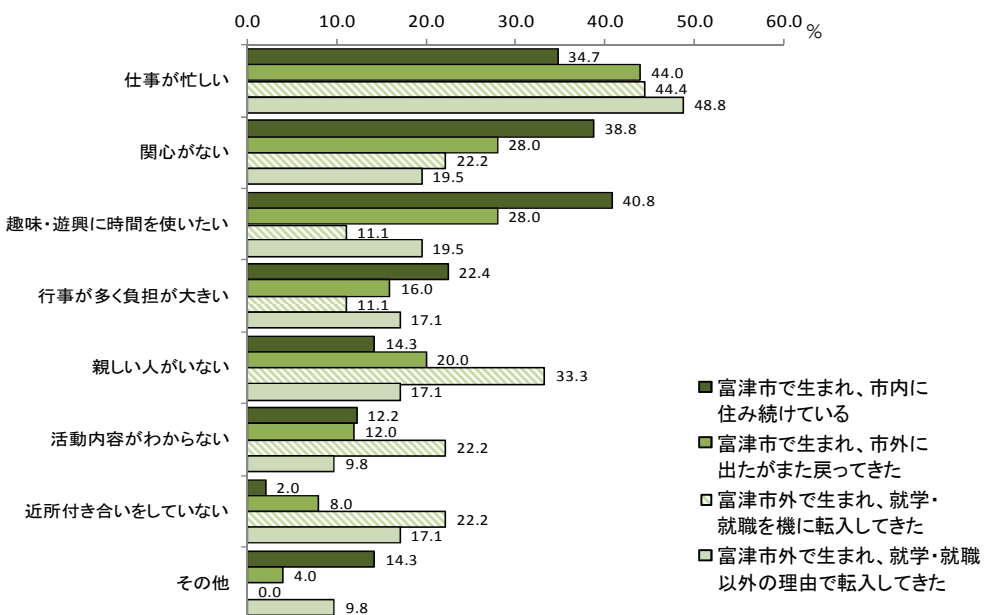
#### ④市内在住年数別

- 他の年代と比較して5年未満は「仕事が忙しい」「親しい人がいない」の、5～9年は「活動内容がわからない」「近所付き合いをしていない」の、20～24年は「趣味・遊興に時間を使いたい」の、25年以上は「行事が多く負担が大きい」の回答比率が高くなっている。



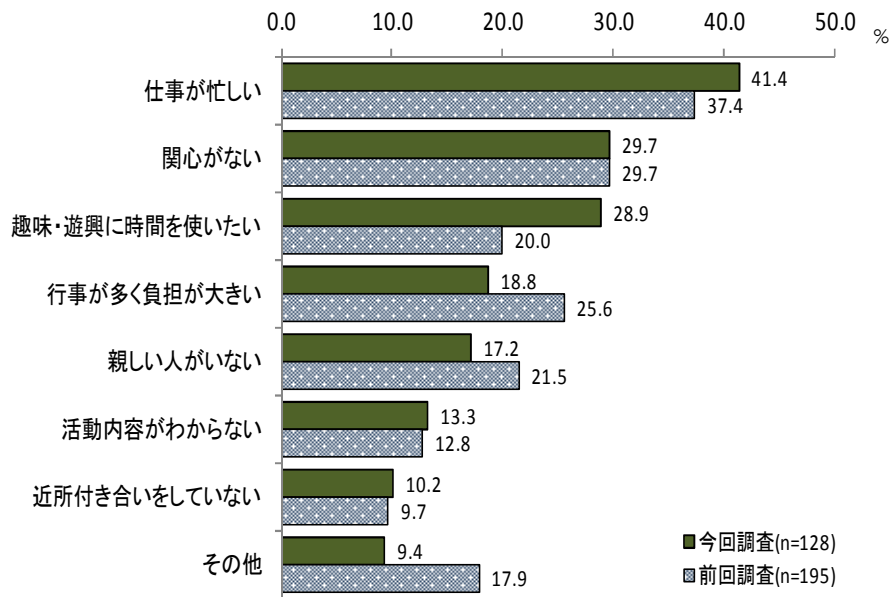
#### ⑤転入の有無別

- 市内で生まれた方は市外で生まれた方と比較して「関心がない」「趣味・遊興に時間を使いたい」の、市外で生まれた方は市内で生まれた方と比較して「親しい人がいない」「近所付き合いをしていない」の回答比率が高くなっている。



## 前回調査との比較

- 前回調査と比較して、「仕事が忙しい」「趣味・遊興に時間を使いたい」の回答比率の増加、「行事が多く負担が大きい」「親しい人がいない」の回答比率の減少が目立つ。



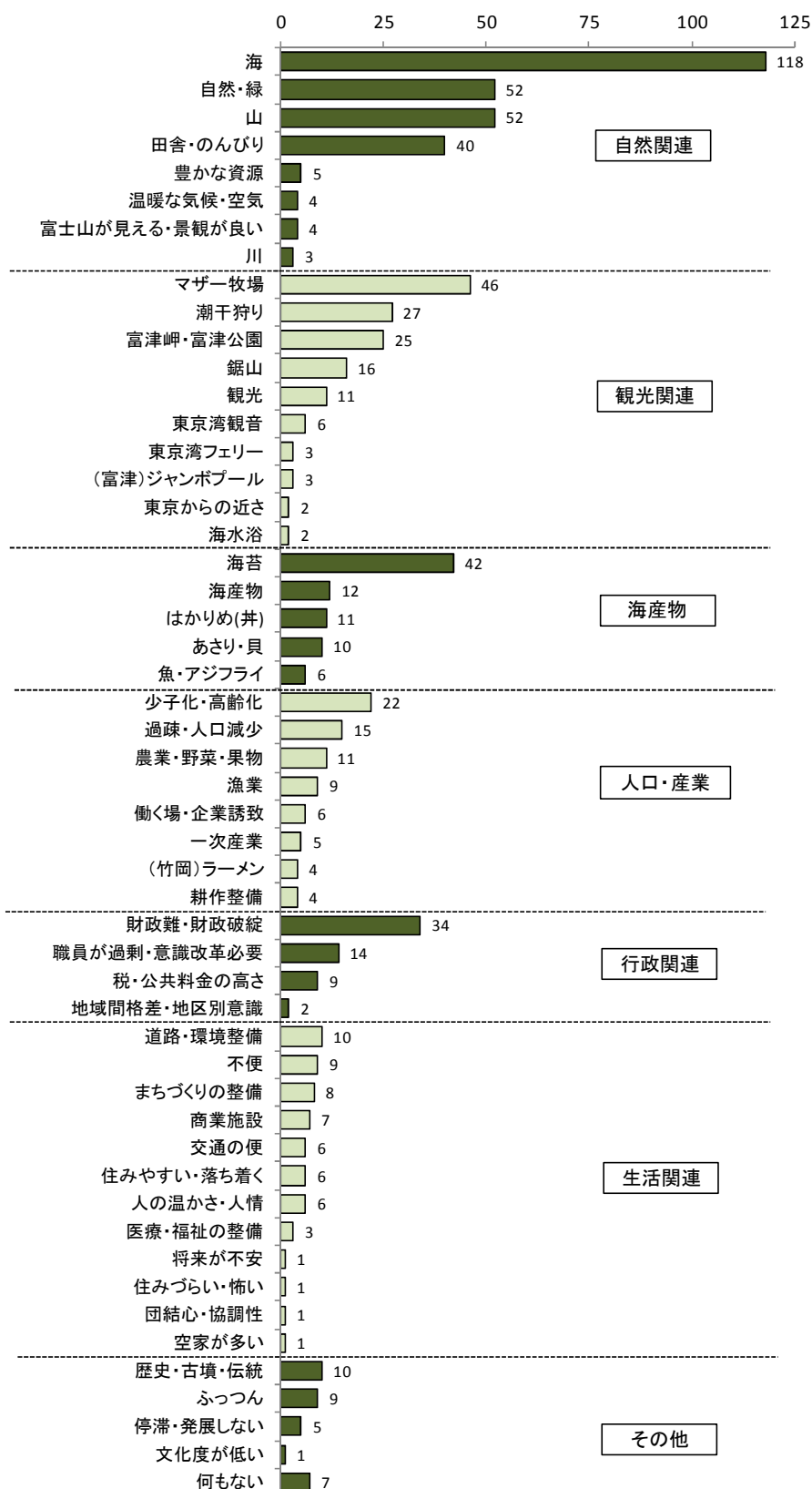


## (9) 富津市から連想するキーワード

問9 「富津市」から連想するキーワードを3つまで書いてください。(自由記載)

\* 回答のうち、主なものを掲載

カテゴリ別では「自然関連」の回答が最も多く、次いで「観光関連」、「海産物」となっている。  
個別回答では「海」の回答が最も多く、次いで「自然・緑」「山」「マザー牧場」となっている。

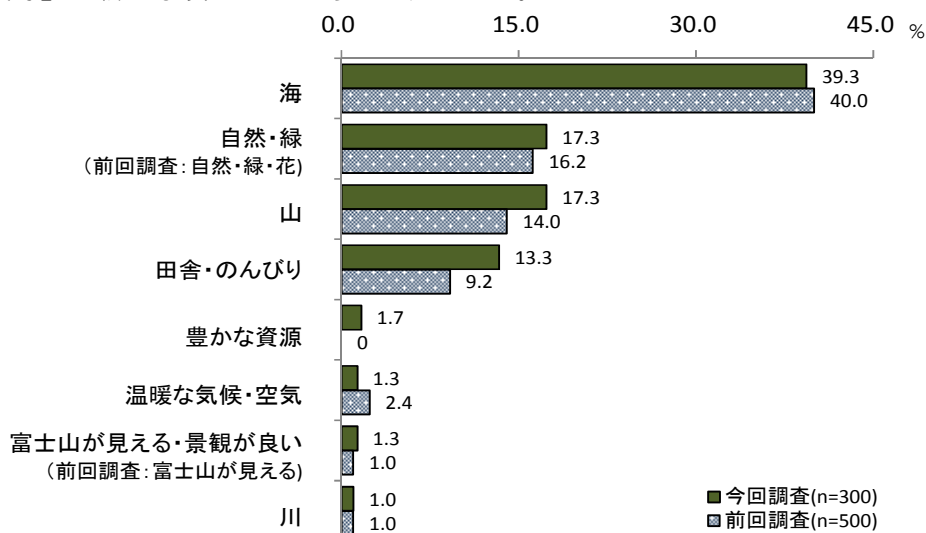


## 前回調査との比較

前回調査と比較して「自然関連」の回答比率は増加し、他のカテゴリーの回答比率は減少している。以下はカテゴリーごとに前回調査との比較を行っている。

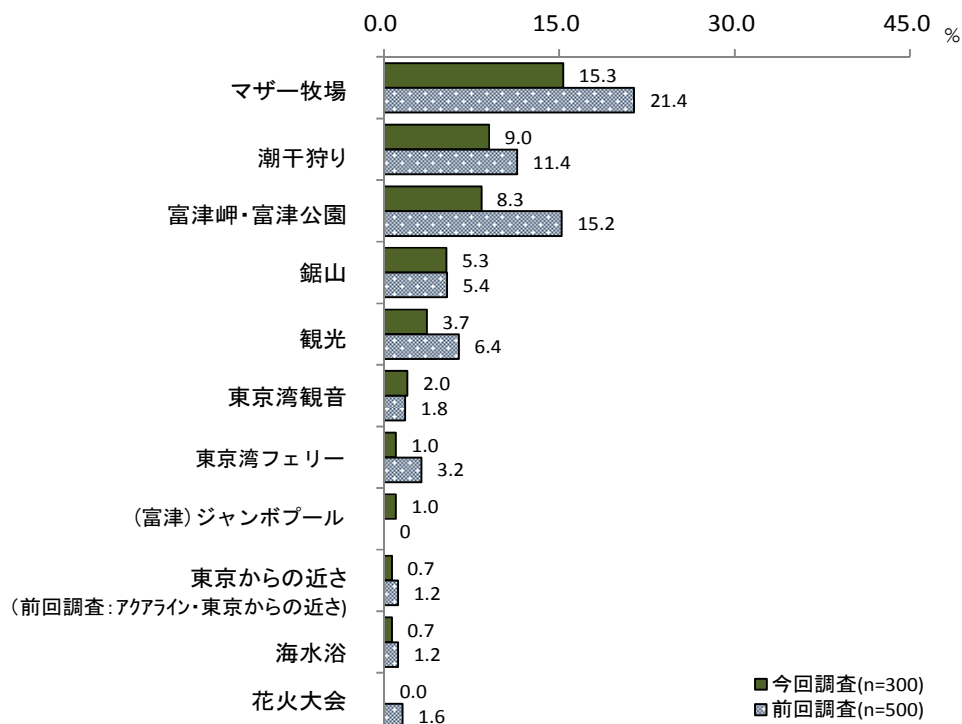
### <自然関連>

- 前回調査と比較して「自然・緑」「山」「田舎・のんびり」の回答比率が増加している。「豊かな資源」が新たな項目としてあげられている。



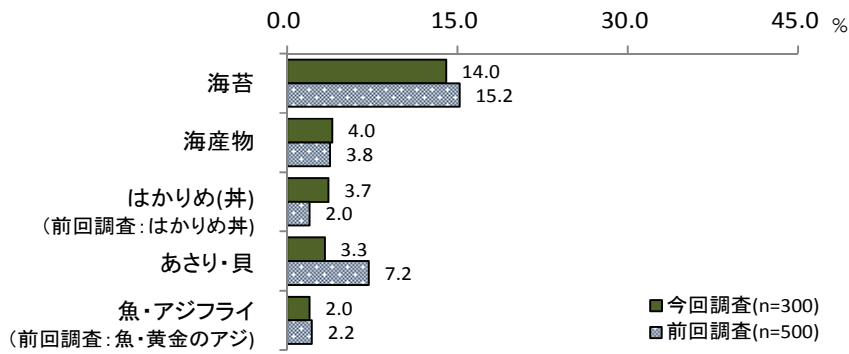
### <観光関連>

- 前回調査と比較して「マザー牧場」「富津岬・富津公園」の回答比率の減少が目立つ。「(富津)ジャンボプール」が新たな項目としてあげられている。



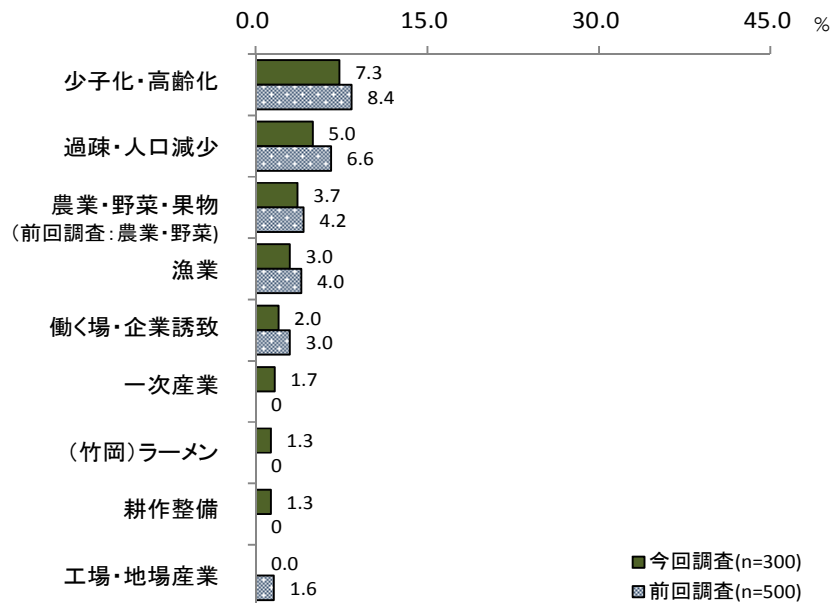
<海産物>

・前回調査と比較して「あさり・貝」の回答比率の減少が目立つ。



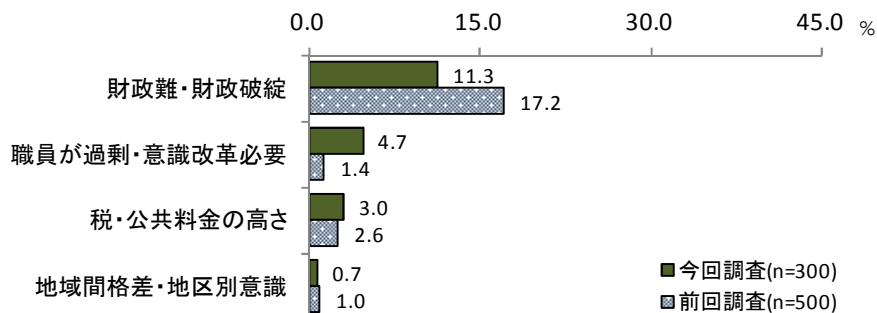
<人口・産業>

・「一次産業」「(竹岡)ラーメン」「耕作整備」が新たな項目としてあげられている。



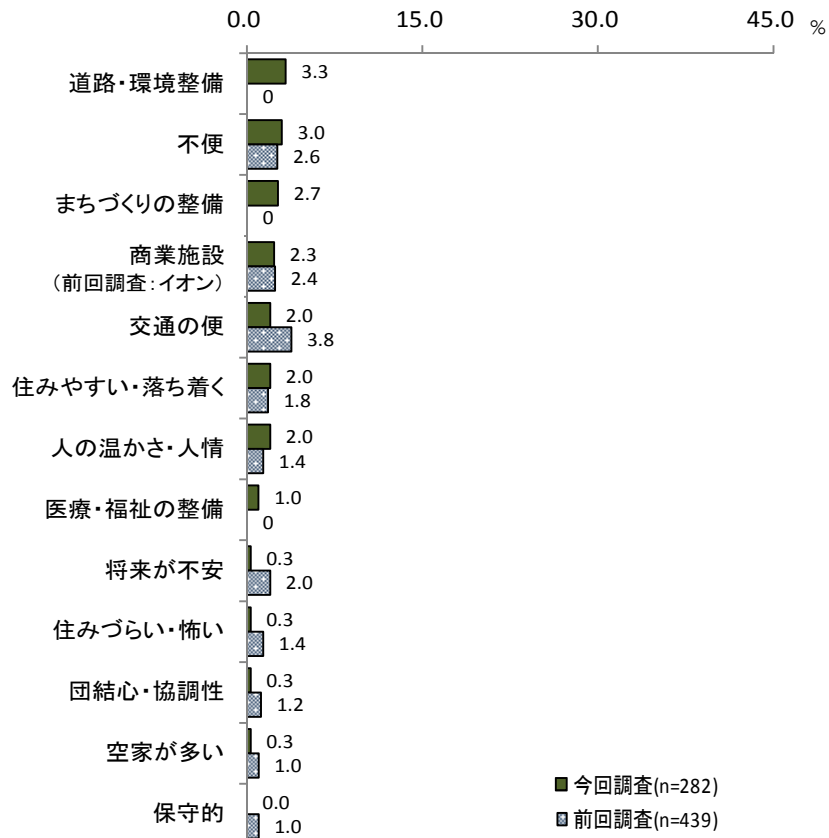
<行政関連>

・前回調査と比較して「財政難・財政破綻」の回答比率の減少、「職員が過剰・意識改革必要」の回答比率の増加が目立つ。



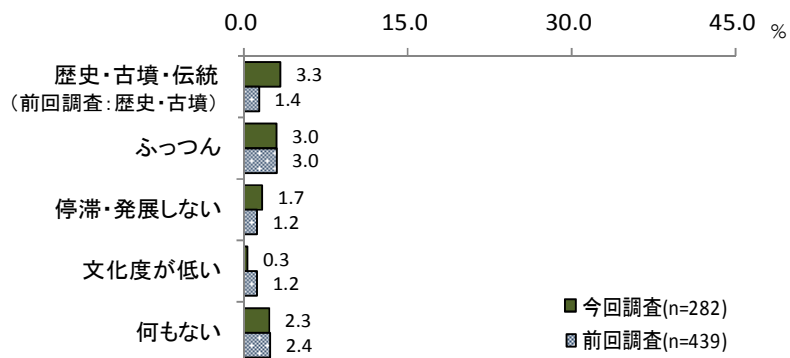
<生活関連>

・「道路・環境整備」「まちづくりの整備」「医療・福祉の整備」が新たな項目としてあげられている。



<その他>

・前回調査と比較して「歴史・古墳・伝統」の回答比率の増加が目立つ。

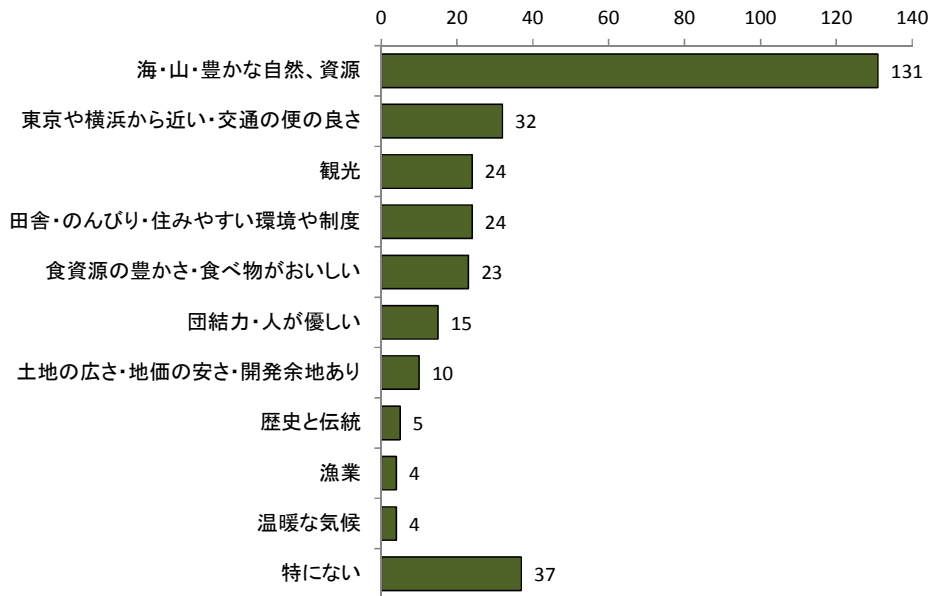


## (10) 富津市の強み

問 10 あなたが思う富津市の「強み」を一言で書いてください(自由記載)

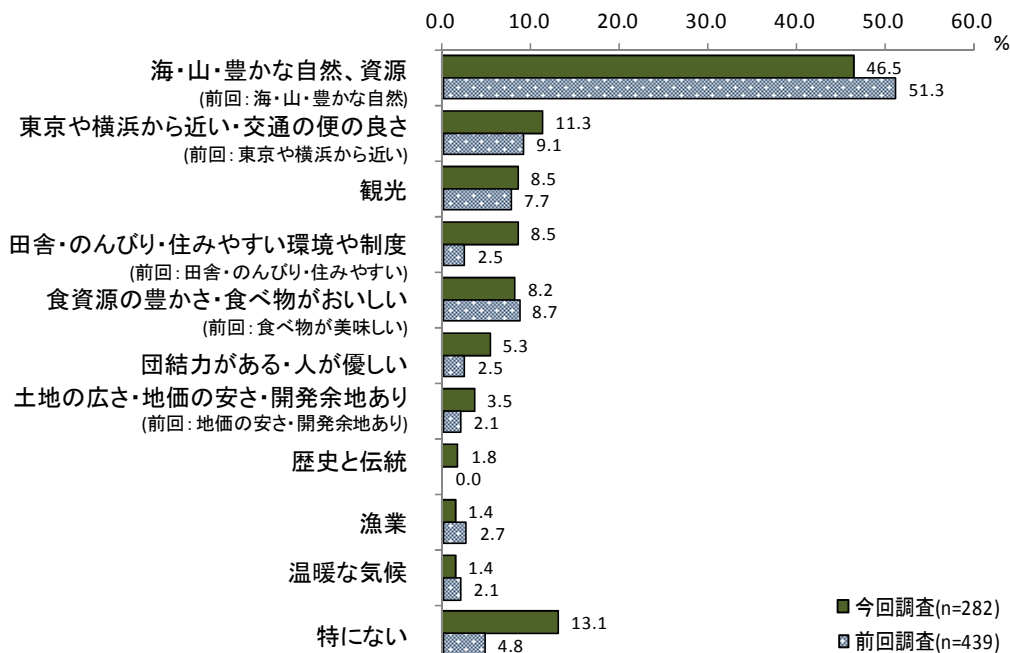
\* 回答のうち、主なものを掲載

「海・山・豊かな自然、資源」の回答が最も多く、次いで「東京や横浜からの近い・交通の便の良さ」「観光」「田舎・のんびり・住みやすい環境や制度」「食資源の豊かさ・食べ物がおいしい」となっている。「特にない」の回答も多く、全体でも2番目の回答数となっている。



### 前回調査との比較

- ・前回調査と比較して「田舎・のんびり・住みやすい環境や制度」「特にない」の回答比率の増加、「海・山・豊かな自然、資源」の回答比率の減少が目立つ。「歴史と伝統」が新たな項目としてあげられている。

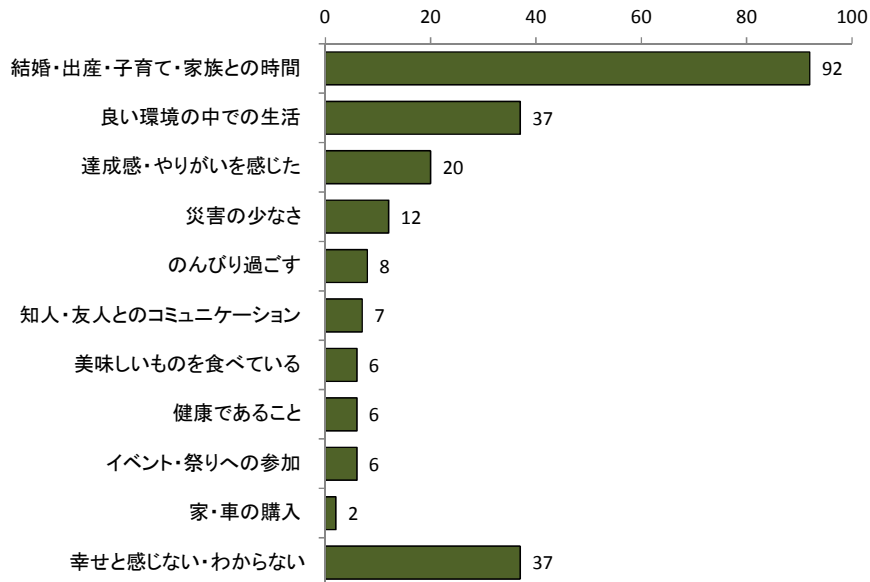


## (11) 幸せだと感じた時・事

問 11 今までで最も幸せと感じた時、事はなんですか。(自由記載)

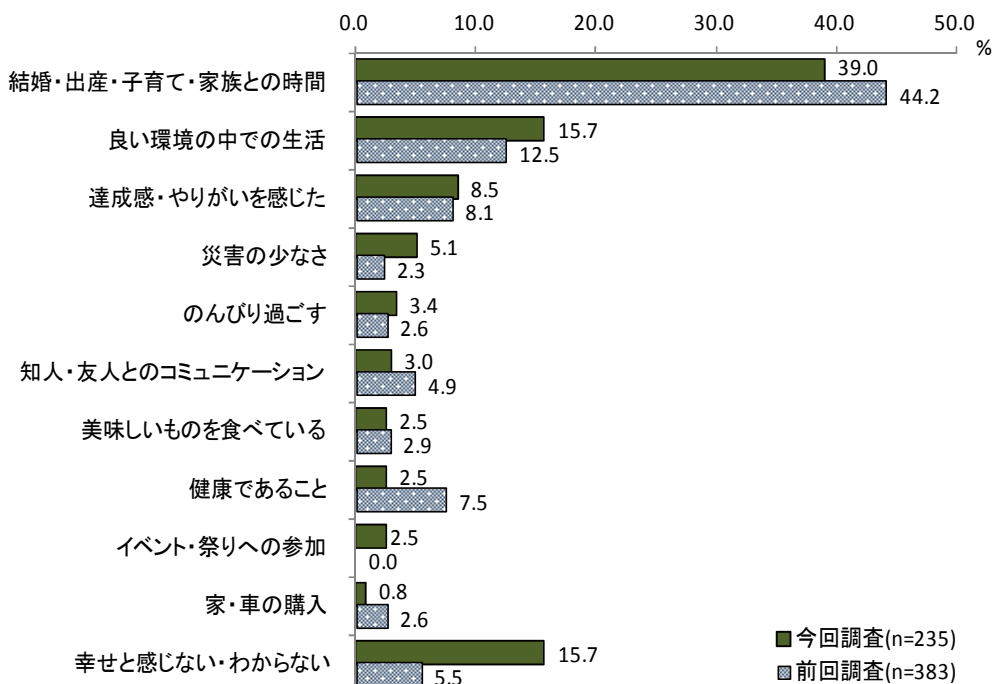
\* 回答のうち、主なものを掲載

「結婚・出産・子育て・家族との時間」の回答が最も多く、次いで「良い環境の中での生活」「達成感・やりがいを感じた」となっている。「幸せと感じない・わからない」の回答も多く、全体でも2番目の回答数となっている。



### 前回調査との比較

・前回調査と比較して「良い環境の中での生活」「災害の少なさ」「幸せと感じない・わからない」の回答比率の増加、「結婚・出産・子育て・家族との時間」「健康であること」の回答比率の減少が目立つ。「イベント・祭りへの参加」が新たな項目としてあげられている。

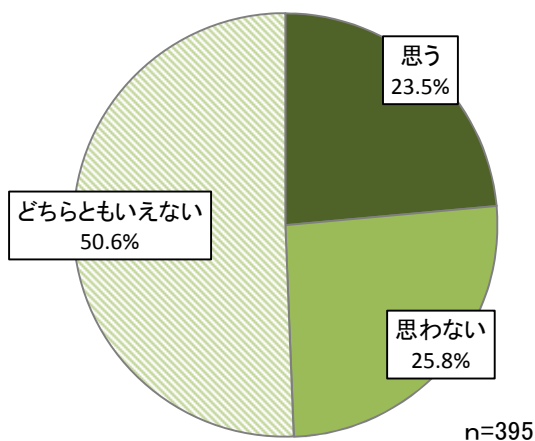


### 3. 子育てや結婚について

#### (1) 富津市の子育てのしにくさ

問 12 あなたは、富津市は子育てしにくいところだと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

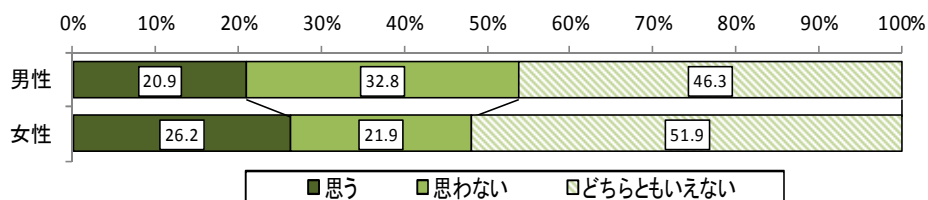
「思わない」は 25.8%で、「思う」の 23.5%を上回っているが、「どちらともいえない」が5割を超えている。



#### ■ 属性別動向

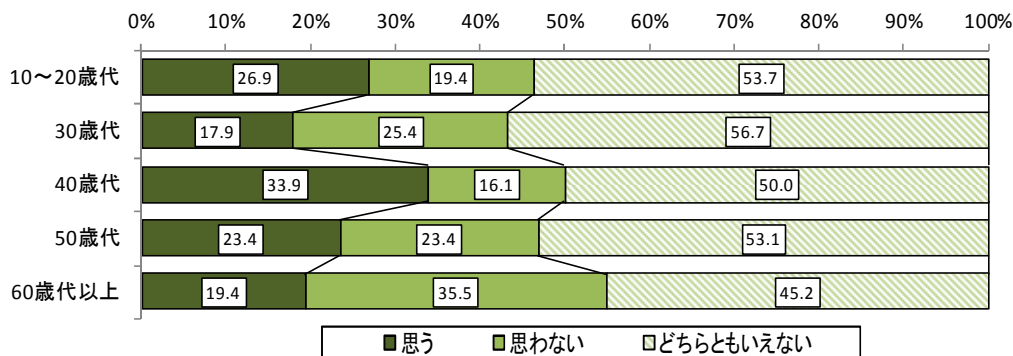
##### ① 性別

・「思う」の回答比率は、女性の方が高くなっている。



##### ② 年齢階層別

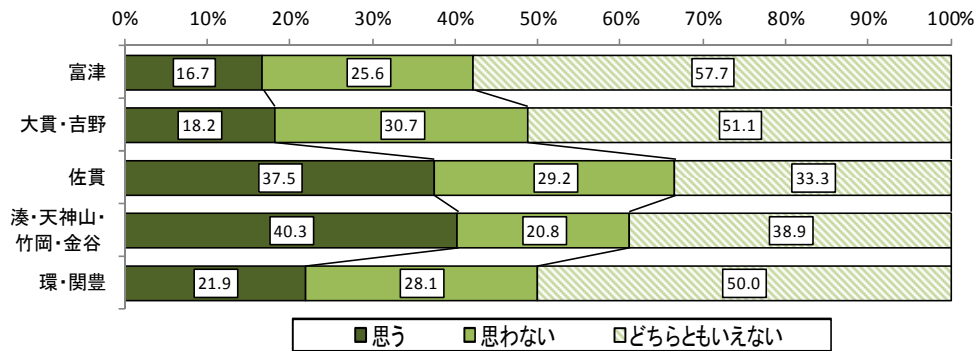
・「思う」の回答比率が最も高いのは40歳代で、最も低いのは30歳代となっている。





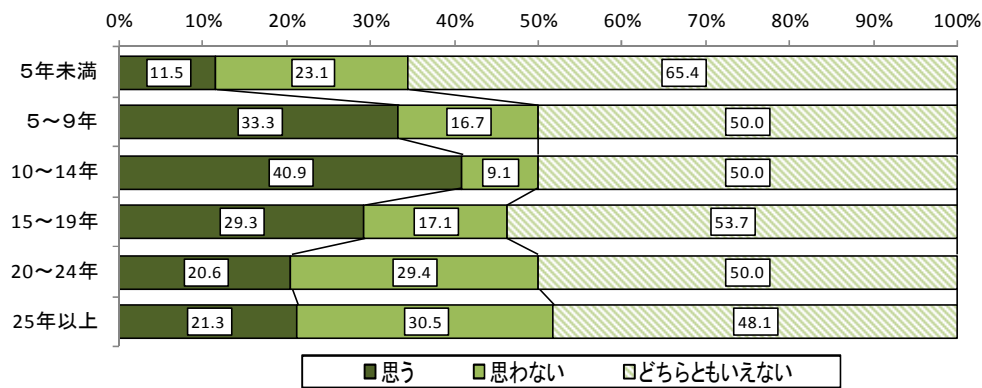
### ③居住地区別

- 他の地区と比較して佐貴地区と湊・天神山・竹岡・金谷地区は「思う」の回答比率が高くなっている。



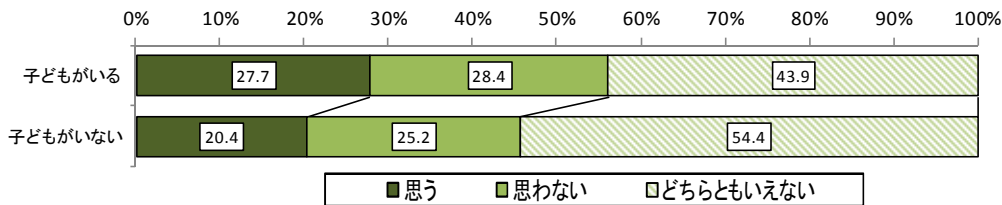
### ④市内在住年数別

- 10～14年が「思う」の回答比率が最も高く、「思わない」の回答比率が最も低くなっている。



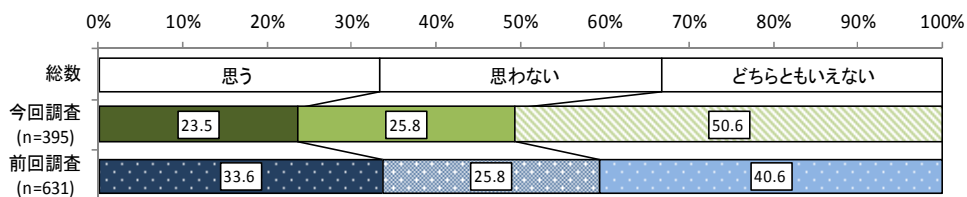
### ⑤子どもの有無別

- どちらの区分でも「思う」よりも「思わない」の回答比率が高くなっている。



### 前回調査との比較

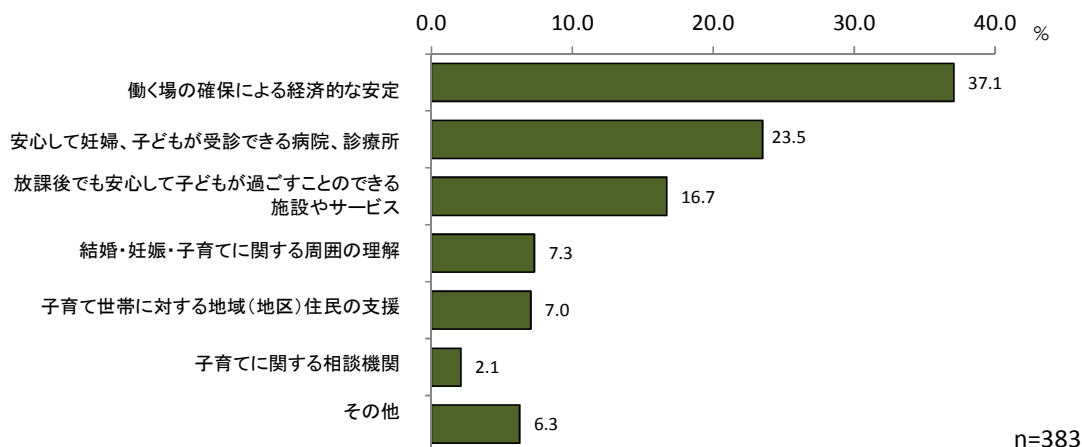
- 前回調査と比較して「思う」の回答比率が減少し、「どちらともいえない」の回答比率が増加している。



## (2) 子育てしやすい地域になるために必要なこと

問 13 あなたは、富津市が子育てしやすい地域になるためには、何が重要だとお考えですか。あてはまると思われるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

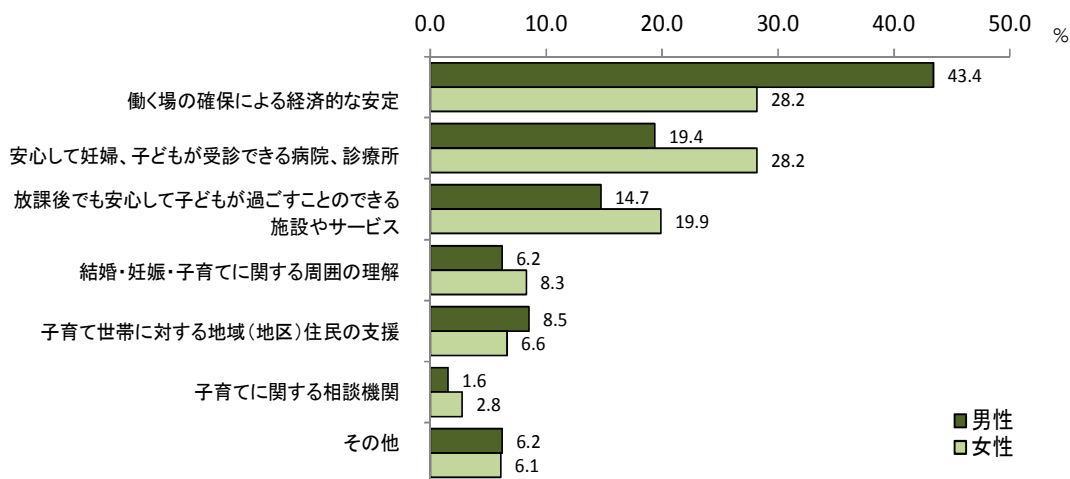
「働く場の確保による経済的な安定」の比率が最も高く、次いで「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」「放課後でも安心して子どもが過ごすことのできる施設やサービス」となっている。



### ■属性別動向

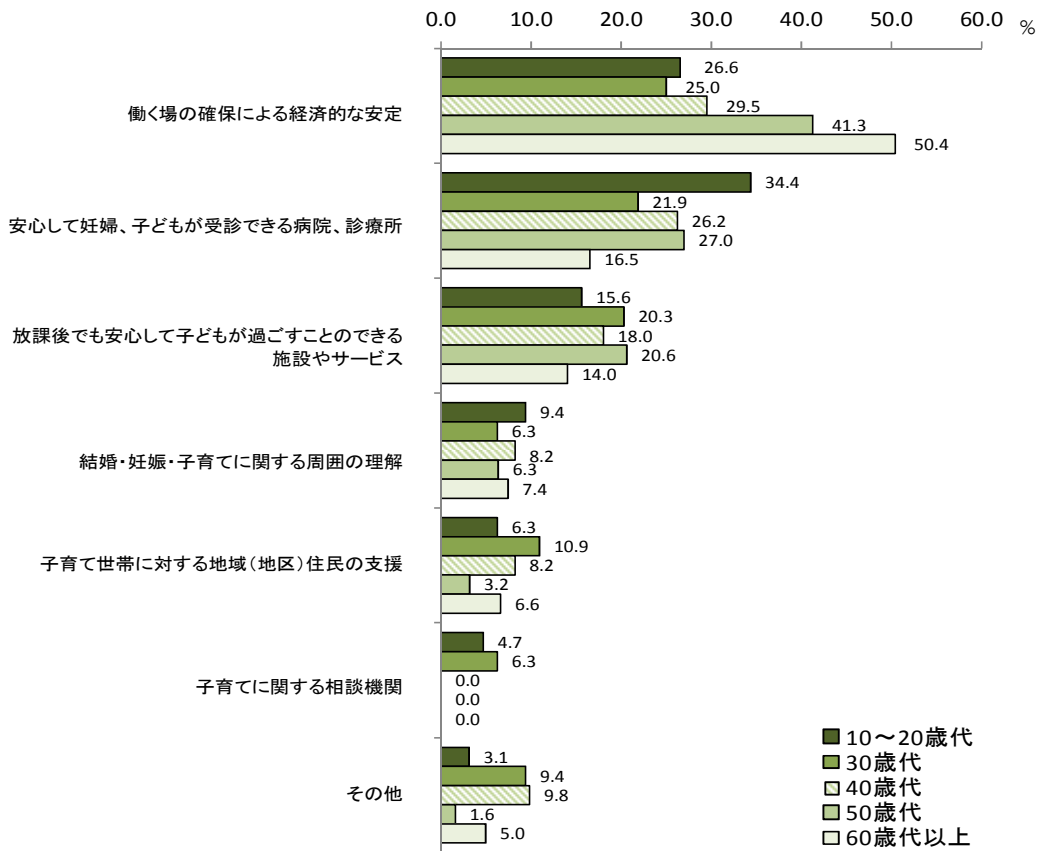
#### ①性別

- 男女ともに「働く場の確保による経済的な安定」の回答比率が高くなっている。男女間の回答比率では「働く場の確保による経済的な安定」「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」「放課後でも安心して子どもが過ごすことのできる施設やサービス」で差異が目立つ。



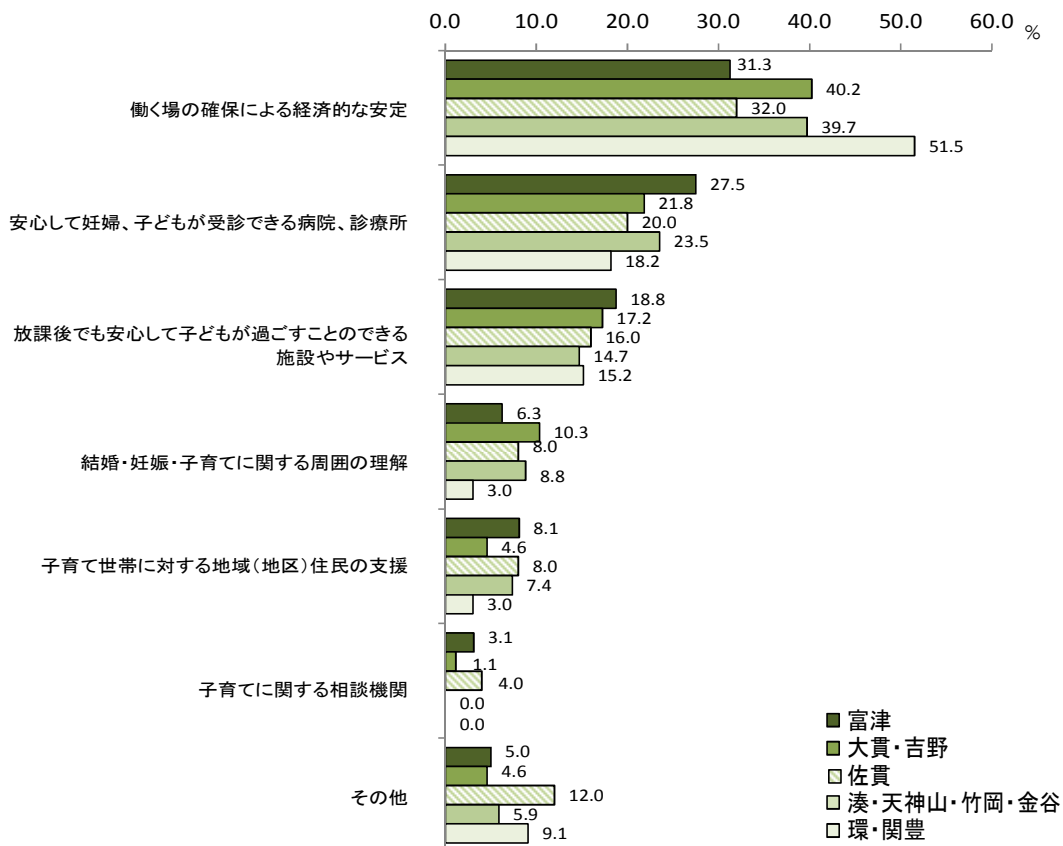
## ②年齢階層別

- 他の年代と比較して 10～20 歳代は「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」の、50 歳代と 60 歳代以上は「働く場の確保による経済的な安定」の回答比率が高くなっている。



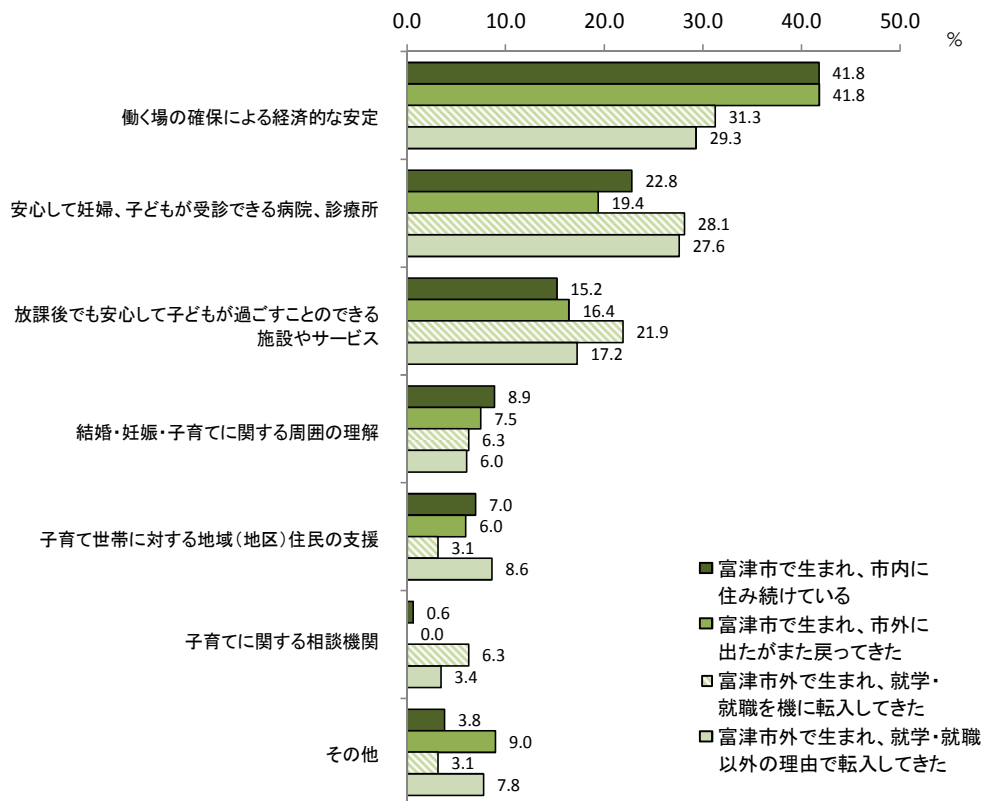
## ③居住地区別

- 全ての地区で「働く場の確保による経済的な安定」の回答比率が最も高くなっている。



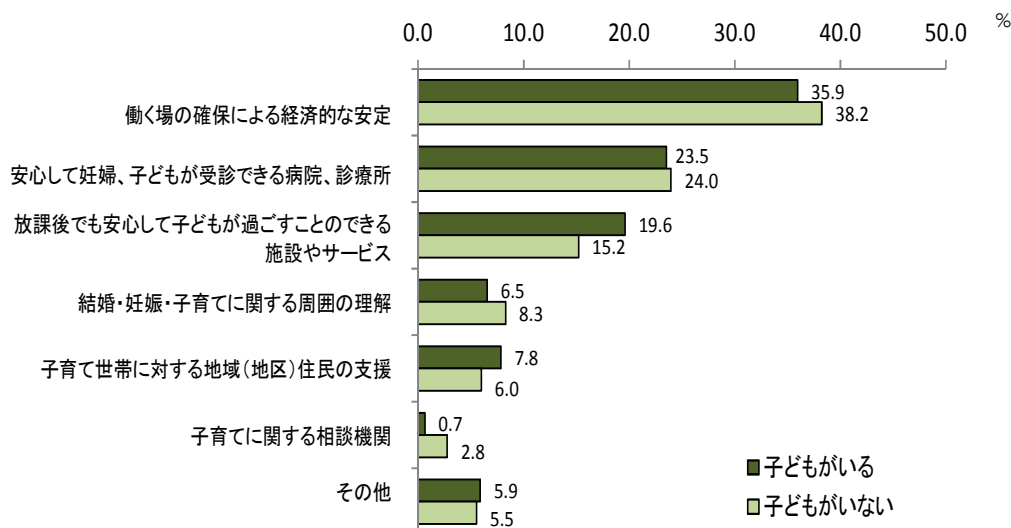
#### ④転入の有無別

- ・市内で生まれた方は市外で生まれた方と比較して「働く場の確保による経済的な安定」の、市外で生まれた方は市内で生まれた方と比較して「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」の回答比率が高くなっている。



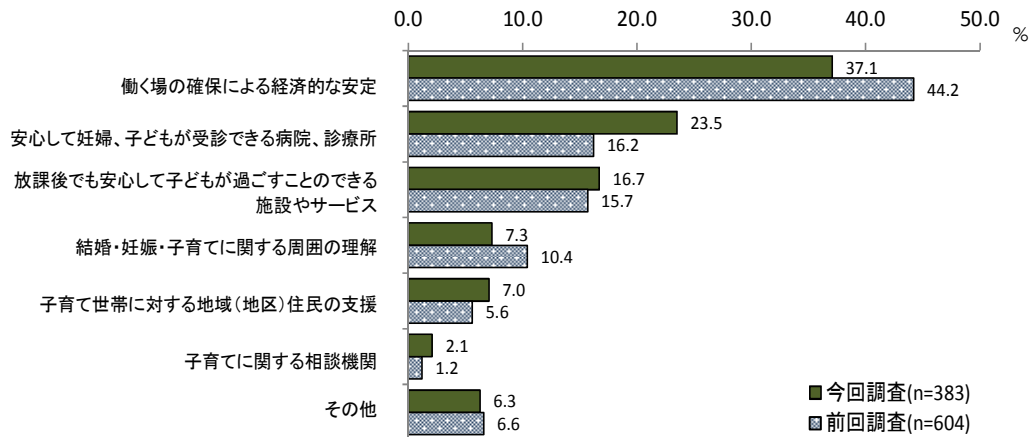
#### ⑤子どもの有無別

- ・どちらの区分でも「働く場の確保による経済的な安定」の回答比率が最も高くなっている。



### 前回調査との比較

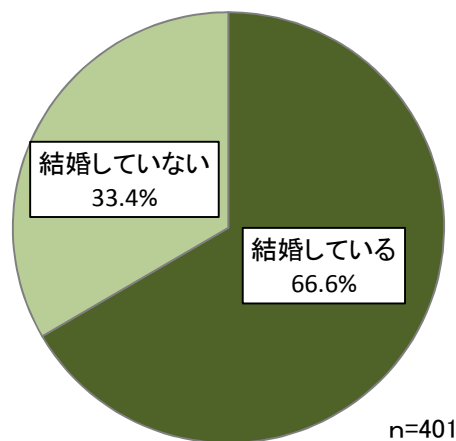
- 前回調査と比較して「働く場の確保による経済的な安定」の回答比率の減少、「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」の回答比率の増加が目立つ。



### (3) 未婚・既婚の別

問 14 あなたについて、おうかがいします。次のうち、あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。(SA)

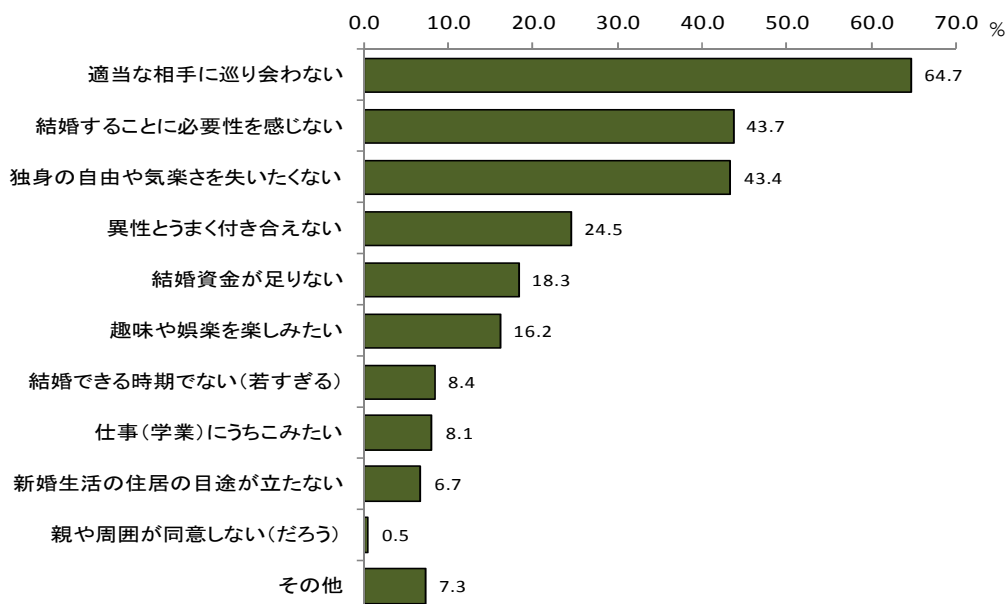
本アンケート調査に回答した方の既婚・未婚の比率は、既婚が 66.6%で未婚が 33.4%となっている。



#### (4) 未婚者が結婚しない理由

問 15 あなたは、結婚しない人が独身である理由は、次の中から選ぶとすればどれにあてはまるとお考えですか。あてはまると思われる理由を選んで番号に○印をつけてください。(最大3つ) (MA)

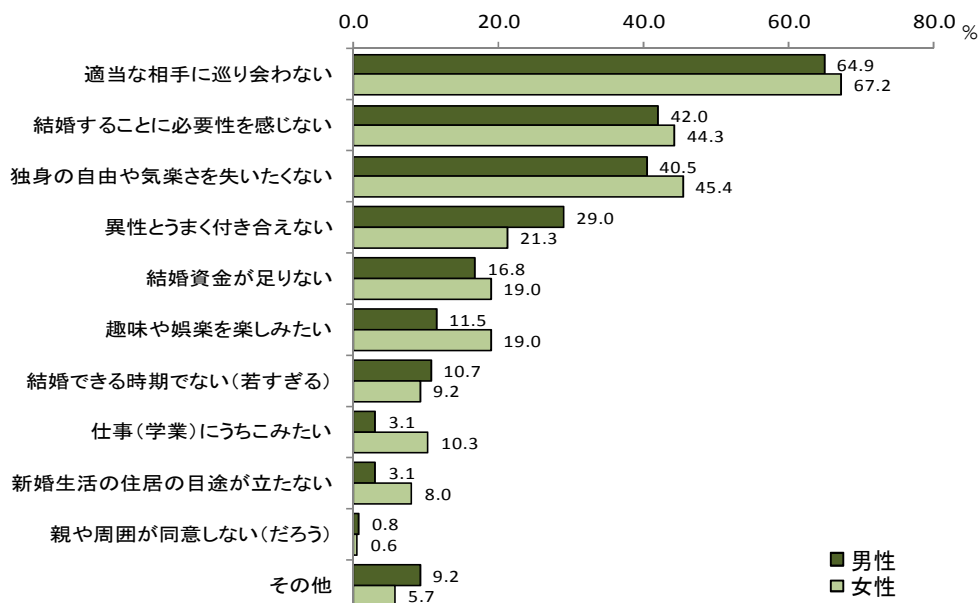
「適当な相手に巡り会わない」の比率が最も高く、次いで「結婚することの必要性を感じない」「独身の自由や気楽さを失いたくない」となっている。



#### ■ 属性別動向

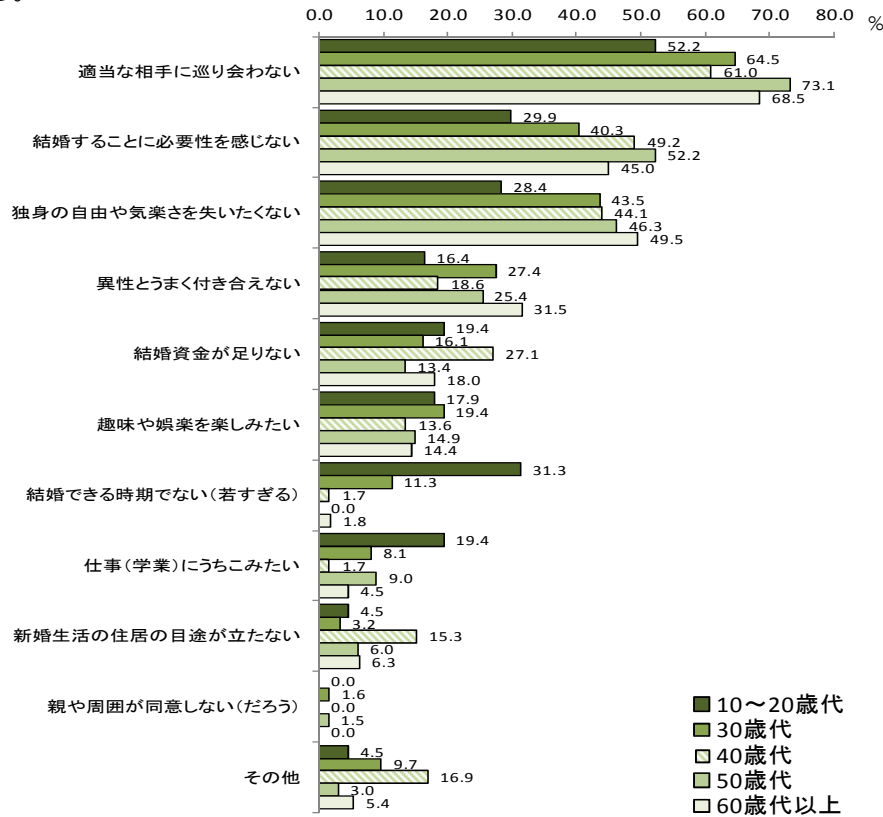
##### ① 性別

・男女ともに「適当な相手に巡り会わない」の回答比率が最も高くなっている。男女間の回答比率では「異性とうまく付き合えない」「趣味や娯楽を楽しみたい」「仕事(学業)にうちこみたい」の差異が目立つ。



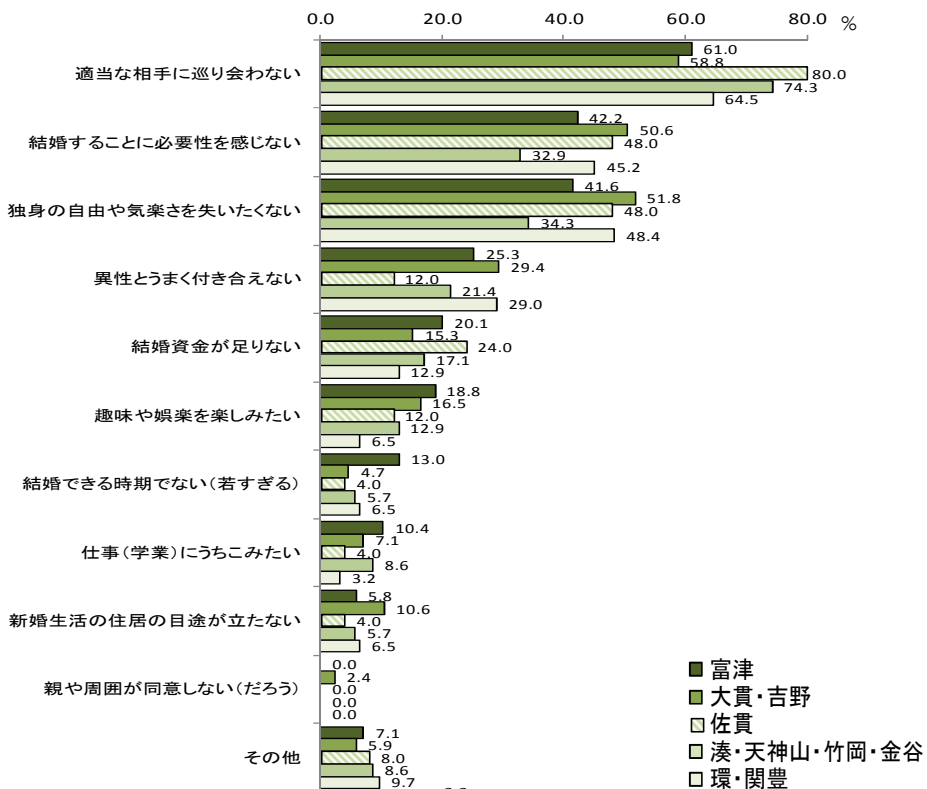
## ②年齢階層別

- 全ての年代で「適当な相手に巡り会わない」の回答比率が最も高くなっている。他の年代と比較して10～20歳代は「結婚できる時期でない(若すぎる)」「仕事(学業)にうちこみたい」の、40歳代は「結婚資金が足りない」「新婚生活の住居の目途が立たない」の回答比率が高くなっている。



## ③居住地区別

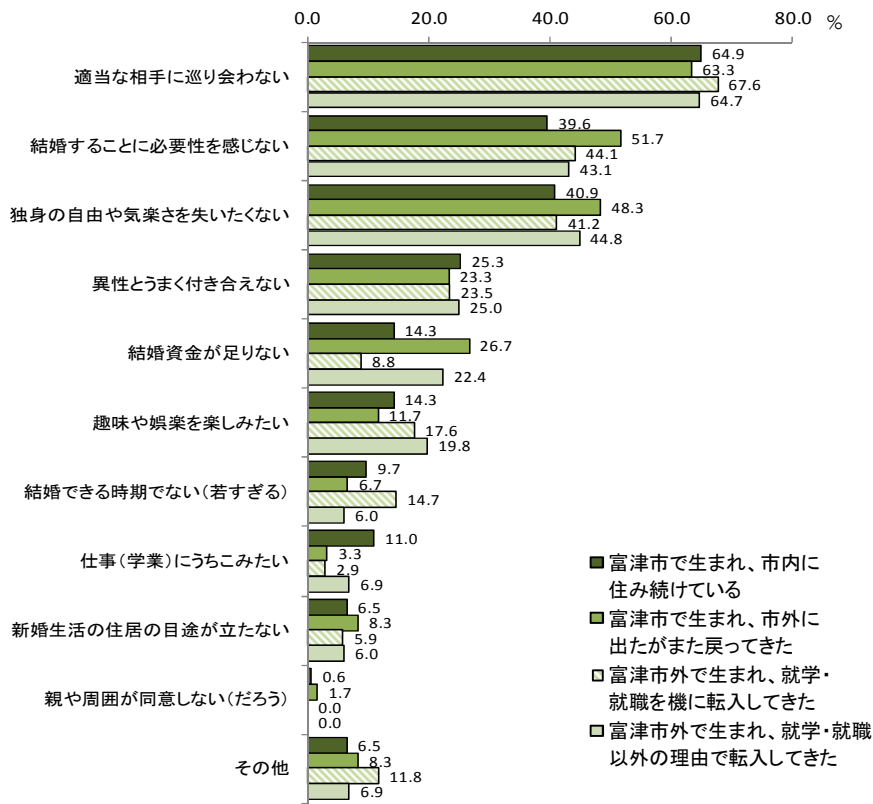
- 全ての地区で「適当な相手に巡り会わない」の回答比率が最も高く、中でも佐貫地区は8割となっている。他の地区と比較して富津地区は「結婚できる時期でない(若すぎる)」の回答比率が高くなっている。





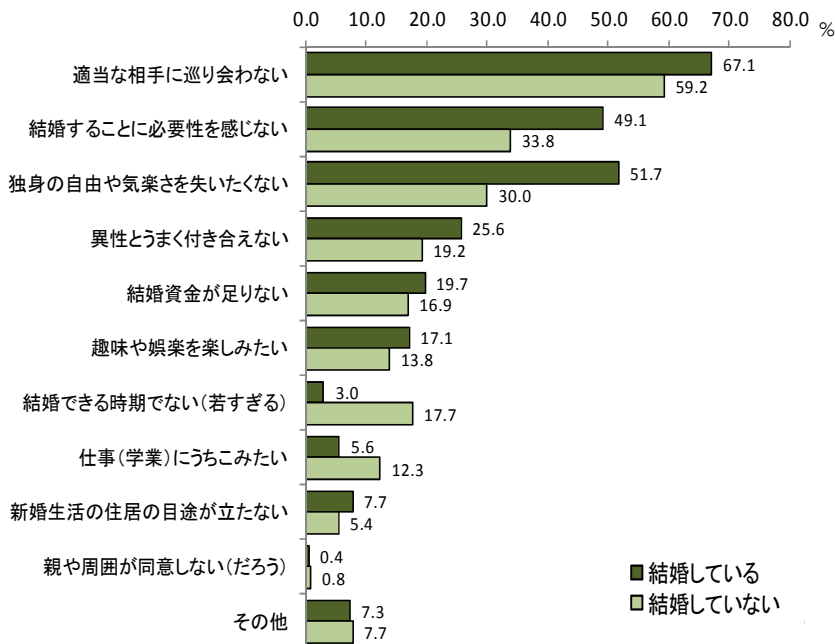
#### ④転入の有無別

- 全ての区分で「適当な相手に巡り会わない」の回答比率が最も高くなっている。他の区分と比較して市外に出たがまた戻ってきた方と就学・就職以外の理由で転入してきた方の「結婚資金が足りない」の回答比率が高くなっている。



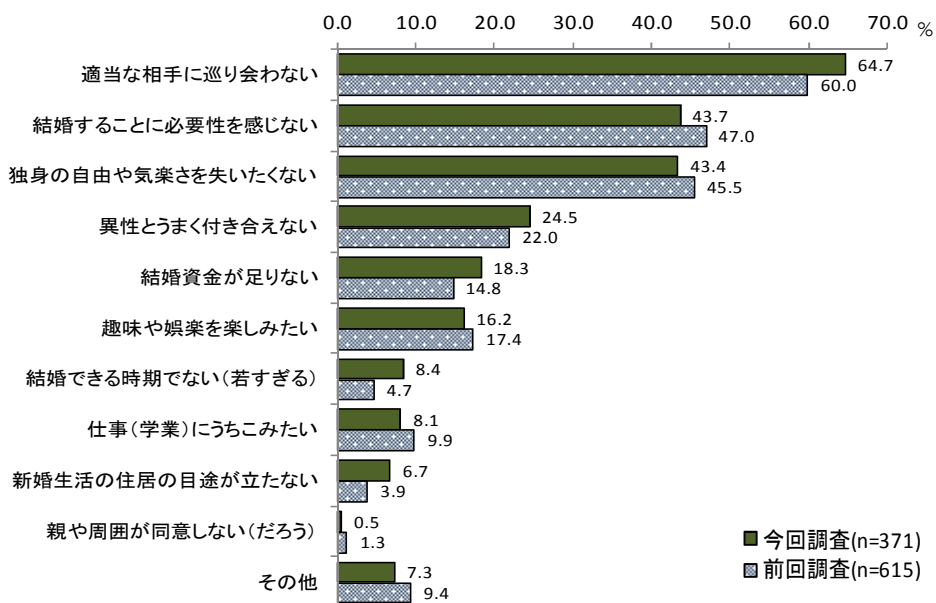
#### ⑤既婚未婚別

- どちらの区分でも「適当な相手に巡り会わない」の回答比率が最も高くなっている。既婚者は未婚者と比較して「結婚することに関心を感じない」「独身の自由や気楽さを失いたくない」の、未婚者は既婚者と比較して「結婚できる時期ではない(若すぎる)」「仕事(学業)にうちこみたいから」の回答比率が高くなっている。



## 前回調査との比較

- 前回調査と比較して「適当な相手に巡り会わない」「結婚資金が足りない」の回答比率の増加が目立つ。



## Ⅲ 分析結果

### 1. 市民と富津市との関係

#### (1) 市民(顧客)の満足度と価値度

マーケティングの視点から市民(顧客)の満足度と市民(顧客)が価値を認めている度合いについて分析する。分析にあたっては、問2の「住みごち」と問3の「定住意向」を活用する。

市民(顧客)の満足度は、「住みごち」がどうなっているか、市民(顧客)が価値を認めている度合いは、「定住意向」がどうなっているか、それぞれ次のように加重平均値を算出した。

##### 算出方法ア

- 問2の回答で「とても住みよい」を5点、「まあまあ住みよい」を4点、「どちらともいえない」を3点、「住みにくい」を2点、「とても住みにくい」を1点とする。

A「とても住みよい」回答者数

B「まあまあ住みよい」回答者数

C「どちらともいえない」回答者数

D「住みにくい」回答者数

E「とても住みにくい」回答者数

$$\text{加重平均値} = \frac{(A \times 5 \text{点}) + (B \times 4 \text{点}) + (C \times 3 \text{点}) + (D \times 2 \text{点}) + (E \times 1 \text{点})}{A+B+C+D+E}$$

- 問3の回答で「ずっと住み続けたい」を5点、「当分は住み続けたい」を4点、「市内の別の場所に転居したい」を3点、「やがては移りたい」を2点、「すぐにでも移りたい」を1点とする。

A「ずっと住み続けたい」回答者数

B「当分は住み続けたい」回答者数

C「市内の別の場所に転居したい」回答者数

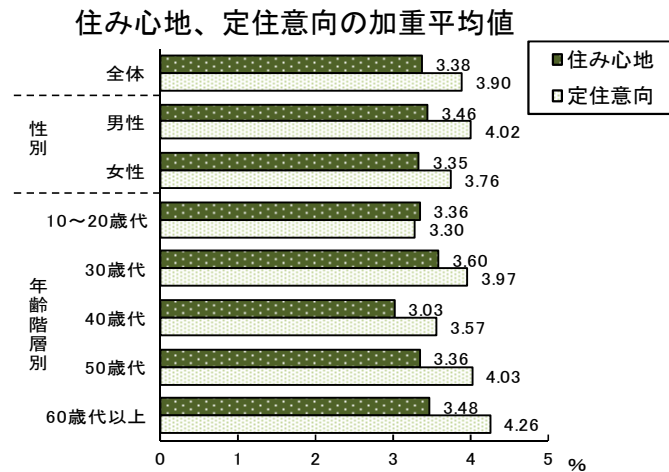
D「やがては移りたい」回答者数

E「すぐにでも移りたい」回答者数

$$\text{加重平均値} = \frac{(A \times 5 \text{点}) + (B \times 4 \text{点}) + (C \times 3 \text{点}) + (D \times 2 \text{点}) + (E \times 1 \text{点})}{A+B+C+D+E}$$

算出方法アにより算出した加重平均値の結果から、「住みごち」による満足度は3.38、「定住意向」による価値度は3.90である。富津市では住んでいる満足度よりも、富津市に住んでいることに対し、価値を見出している人が多いといえる。性別及び年齢階層別の加重平均値についても、10～20歳代を除く全ての区分で「定住意向」による価値度が「住みごち」による満足度を上回っている。

男女間の比較では男性の方が「定住意向」による価値度が高くなっている。また、年齢階層別では30歳代以上で年代が上がるにつれて「定住意向」による価値度が「住みごち」による満足度を上回る度合いが大きくなっている。



## (2) 定住意向による満足度からの魅力度

問3の「定住意向」と問4の「生活の満足度」を活用し、定住意向による満足度から地域の魅力度を探る。

### 算出方法イ

- 問3で「住み続けたい」「当分は住み続けたい」「市内の別の場所に転居したい」と回答した人を『住み続けたい』、「やがては移りたい」「すぐにでも移りたい」と回答した人を『移りたい』とし、問4で「満足」「やや満足」と回答した人を『満足』、「不満」「やや不満」と回答した人を『不満』とし、両者の回答をクロスさせることで定住意向による満足度を算出する。

算出方法イによる算出の結果、『住み続けたい』と回答した人の『満足』項目の比率は「住む場所」が最も高く、次いで「上水道の整備」、「買い物をする場所」となっている。

一方、『不満』の項目では、『住み続けたい』『移りたい』と回答した人のいずれも「公共交通網の整備」の比率が最も高く、「道路の整備」「働く場の創出」も共通上位項目となっている。また、『移りたい』と回答した人は「買い物をする場所」「仕事と生活の調和」を上位項目としてあげている。

これらのことから、富津市は「住む場所」としての魅力があり、生活の利便性に対するニーズへ対応することにより、更に市の魅力度を上げる余地があるといえる。

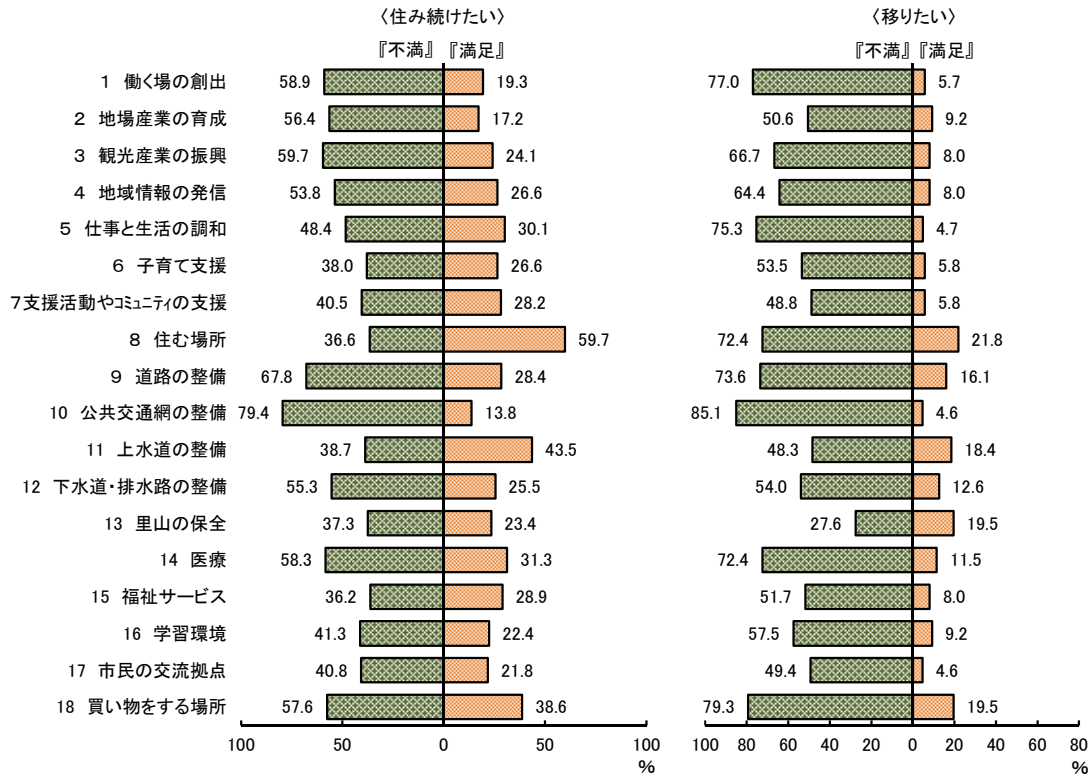
また、『住み続けたい』と回答した人の『不満』の比率が『移りたい』と回答した人の『不満』の比率を上回る項目は「地場産業の育成」「下水道・排水路の整備」「里山の保全」となっていることから、これらへの対応も市の魅力度を上げることに繋がるといえる。

### 定住意向による『満足』の項目（上位5項目）

〈住み続けたい〉		
1位	住む場所	59.7%
2位	上下水道の整備	43.5%
3位	買い物をする場所	38.6%
4位	医療	31.3%
5位	仕事と生活の調和	30.1%

定住意向による『不満』の項目（上位5項目）

	〈住み続けたい〉		〈移りたい〉	
1位	公共交通網の整備	79.4%	公共交通網の整備	85.1%
2位	道路の整備	67.8%	買い物をする場所	79.3%
3位	観光産業の振興	59.7%	働く場の創出	77.0%
4位	働く場の創出	58.9%	仕事と生活の調和	75.3%
5位	医療	58.3%	道路の整備	73.6%



## 2. 生活環境評価意識

### (1) 富津市の強みと弱み

問4の「生活の満足度」を活用し、加重平均値を算出することにより富津市の強みと弱みを探る。

#### 算出方法ウ

- 問4の回答で「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点、「わからない」を0点とする。

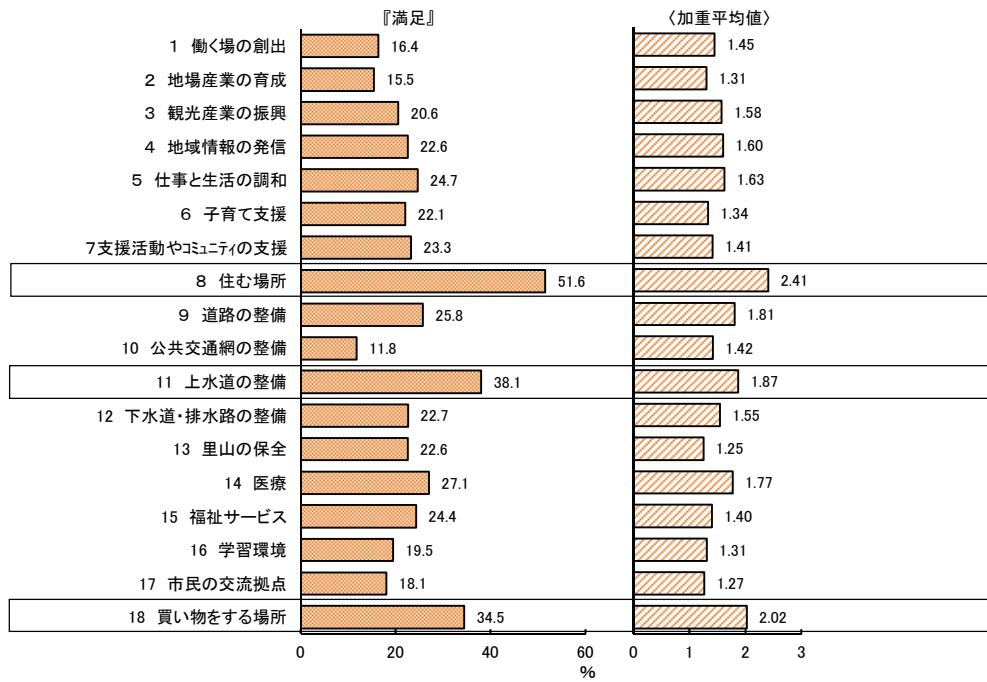
- A 「満足」回答者数
- B 「やや満足」回答者数
- C 「やや不満」回答者数
- D 「不満」回答者数
- E 「わからない」回答者数

$$\text{加重平均値} = \frac{(A \times 4点) + (B \times 3点) + (C \times 2点) + (D \times 1点) + (E \times 0点)}{A+B+C+D+E}$$

- 問4で「満足」「やや満足」と回答した人を『満足』、「不満」「やや不満」と回答した人を『不満』とする。

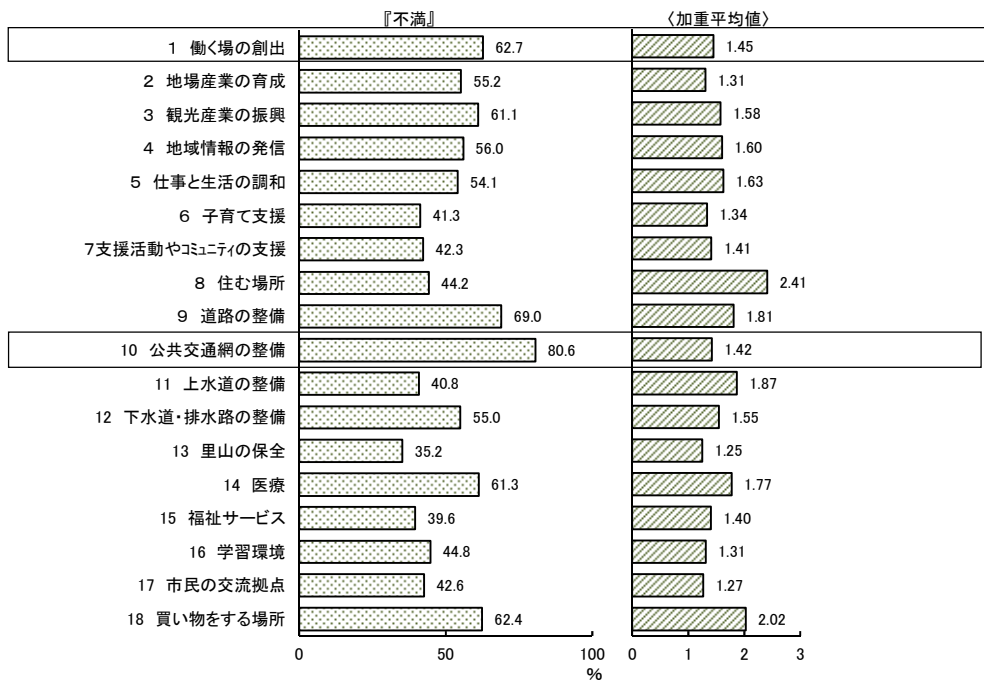
### 〈強み〉

算出方法ウによる算出の結果、『満足』の比率と加重平均値の両方が高くなっている項目は「住む場所」「上水道の整備」「買い物をする場所」となっている。これらの項目は、富津市の強みと考えられる。



### 〈弱み〉

算出方法ウによる算出の結果、『不満』の比率が高く、加重平均値の低い項目は「働く場の創出」「公共交通網の整備」となっている。これらの項目は、富津市の弱みと考えられる。



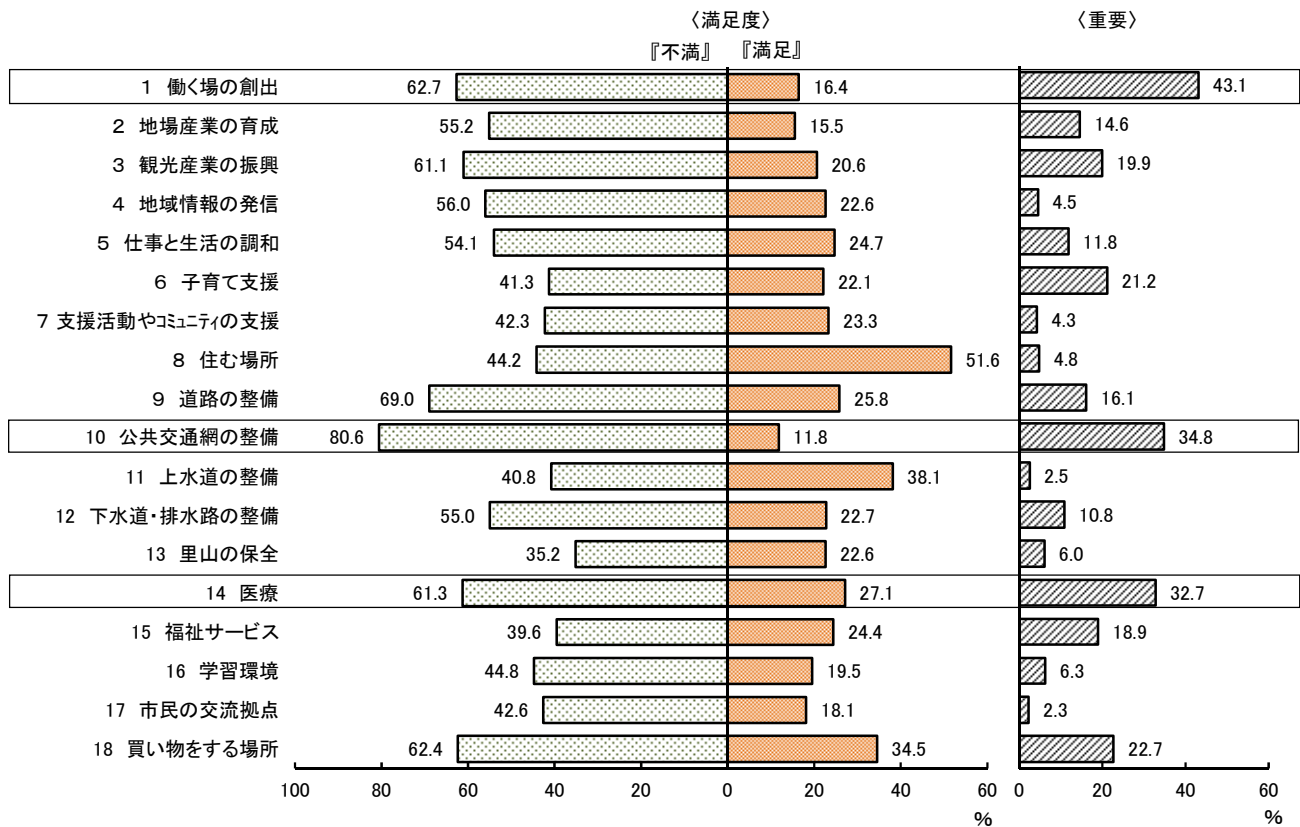
## (2) 満足度と重要度からの施策優先分野

問4の「生活の満足度」と問5の「富津市に重要なこと」を活用し、施策の優先分野を分析する。

### 算出方法

- 問4で「満足」「やや満足」と回答した人を『満足』、「不満」「やや不満」と回答した人を『不満』とする。

分析の結果、『不満』と「重要」の比率が両方高くなっている項目は「働く場の創出」「公共交通網の整備」「医療」となっている。「働く場の創出」と「公共交通網の整備」は富津市の弱みにもあげられていることから、これらの項目は今後優先すべき施策分野と考えられる。





## IV 基本目標に関する意見

問 16 「市民が幸せを感じられるまちの実現」に向け、あなた自身や地域・民間ができる（していきたい）ことをご記入ください。

いただいたご意見について、総合戦略で定めている基本目標及びその下に掲げている基本的な施策の方向に基づいて分類しています。

基本 目標	基本的な施行の方向
1 自分のくらす地域を好きになる	回答
	① 地域への愛着が育つ
	自然との共生による家族形成。
	富津市に住んでいる人が市に対してネガティブではなく、ポジティブな感覚を持って生活し続けることだと思う。
	地元の人たちが自分たちはリゾート地に住んでいるという事を認識すれば富津市を好きになってくれると思う。
	富津市には海や里山がありその中には眠っているもの、知らなかったものが必ずあるはず。私自身も日頃からコミュニケーションの場で知りえたことも多かったため、その中で共有し、情報を受け止めるだけでなく、地域の特色、魅力を市外の人にも周知したり、声を拾い上げる。
	偏見を持たず誰とでも会話をする。楽しい場所を作る。
	市政に関心を持つ。富津市の評判を上げられるような人になる。
	世代を越えたコミュニケーションが必要。
	我が家には「富津市家庭憲章」がリビングに飾ってあります。1項目の「あいさつはきちんとはっきりいしましょう」とありますが、年配の方でも挨拶をされない方が多いように思います。もう一度見直されてもいいのではないかと思います。
	生まれた時から富津市に住んでいるが、地元の知識が全くないことに気が付きました。これからは興味を持って色々と調べてみようと思います。
	住民同士の挨拶。
	SNS 等で富津市を紹介する。
	地域を知るための情報共有サイトを皆で編集、構築する。
	若い人を市のイベントに巻き込む企画を立て、お手伝いできることをする。
地域のイベントを盛り上げていく。	
市内にある商店や交通機関をできるだけ優先的に使用することで、活性化につなげます。	
公民館、市民会館を活用し、教養や趣味を深めたらいいと思います。また、スポーツしたい方は各々団体に入会し、楽しむことで、仲間、友達も広がり、そこに生きがいを感じる事が出来るのではないかと思います。	



公民館カフェなどで頑張っている人のイベントへの参加や協力。

私はテニスが得意なので、サークル等集まる場を作ってくれたり、またサークルを発足するサポートをしてくれたら交流の場を作ることに貢献できるかもしれない。

各種行事、催し物、サークル活動に積極的に参画していく。

## ② 自慢できる地域力の構築

地域での交流を深める。

困っている人がいたら声をかけるなど皆が仲間として接する。

皆が地元に残れるように出来る事として、古い悪しき習慣を無くすこと。

地域独自のイベントへの参加や協力。

今後更に地域で行っている活動に積極的に参加するよう心がける。

高齢化が進み、若い力が必要となっており、地域活動への参加を中学生や高校生にも依頼し全員参加型のまちづくりを行う。

隣近所との交流を大切にし、助け合う。

同年代の人と集まる機会を設けて今困っている事や楽しい出来事等、話し合ってみてもいいかと思います。自分には知らなかった新しい発見があるかもしれません。

高齢者や子供たちにボランティア協力をしてほしい。

退職後はボランティアなどで子育てに協力したい。

地域コミュニティ、ボランティア活動の参加。地域の事はできるだけ自分たちの手で盛り上げていこうという思いが大切。

年をとり一人暮らしになったとき、安心して暮らせるように、隣近所や町内会のマンパワーで支え合うことができる組織づくりを目指したい。

未来を担う子供たちが何か楽しく思える事を地域で充実させていき、それらについて親たちの親交を深める。小さなことから始めていき、今の時代難しいかもしれないけど、底の方からだんだんと盛り上げていき、全体に広がっていったらいいなと思います。

ボランティア活動などに参加します。

住みやすい環境であり、個々が市民活動に参加しやすいように心がけること。

地域ごとに何かの特化した活動を行う。

## ③ 高齢者や障がい者が地域で元気に暮らす

1人暮らしのお年寄りに対してのボランティア等。

高齢者への買い物及び草刈り代行、高齢者の住居の定期巡回。

高齢者地域なので、お互いに声をかけあっていく。

年をとっても元気で暮らせるようにしていきたい。なるべく若い人の迷惑にならないようにしたい。

民間によるお年寄りの生活サポート。
ご近所の方々は後期高齢者の方が多く、独居の方もいます。自分が仕事の休みのときは、その方の家を気に掛けるようにしています。
元気な高齢者が何か地域のために協力し、若者が働ける場所を作る。自然を活用し、高齢者が作物を作り販売していく。
独居の方への心配りは密接に行う。
地域、民間ができることはして、1人暮らしのお年寄りが買い物に行きやすいようにタクシーを増やしたり、宅配サービスの充実があればいいと思います。
いつまでも健康でいられるように軽い運動を心がける。
今後は今までとは違い子供が少なくなり、老人が多くなる世の中になってきます。地域での交流やコミュニケーションを図り明るく楽しく、しかも安心して生活できるまちづくりをする仕組みをつくるためにサポートをしていきたいと思っています。

#### ④ 地域ぐるみの防災、防犯体制の促進

市民パトロール。
防災、防犯体制の促進。夜間パトロールならできそうです。
登下校時の見守り（不審者対策）。
災害時の対策。子供だけでなく地域ぐるみでの訓練が定期的であればいいと思います。やれることは協力していきたいと思っています。
防犯への協力。

#### その他

世代を通じた話し合いや交流の場の構築が必要と感じる。
人と人との繋がりや場のどれだけつくれるかが人の幸せを感じられるかどうかだと思う。
清掃などあまりに負担が多く、減らしてもらいたいです。
自分に健康面、経済面などの余裕が無いと、なかなか地域活動に参加できません。
富津が地元ではないので地域の交流になかなか参加できない。
富津と言えばこれ、みたいな個性があると話しやすい。
市民に関心をもっといただく一つの方法として富津市観光大使ならぬ市民が幸せを感じられるまちづくり大使をお願いしイベントを開催したらどうか。
メディアをもっと活用したらいいと思う。
IT社会なので、ソーシャルネットワークをもっと活用。
富津市は全く魅力を感じられない。
高齢者の健康増進のため、公衆浴場で健康事業を実施。太極拳、手ぬぐい体操等を実施し、参加者は入浴料が割引対象になる特典をつける。

	<p>年々高齢化の時代になると思いますので、医療環境の充実が必要ではと思います。</p> <p>もっとボランティア活動を気軽に参加できる環境整備や新しいことを始めるための支援を行う。また、民間の企業と協力した市民活動のサポート。</p> <p>市又は地域みんなが集ってできる運動会のようなイベントなどを実施してほしい。</p> <p>駅から遠くに住んでいる高齢者たちは、外出は医者だけ、畑を耕したりしているだけ、楽しみのない生活を送っている。年に2回でもいいので老人と過ごす日を作ってください。</p> <p>長年社会に貢献しスキルを持った人が定年後に活躍できる場があまりないと思う。公的機関がそのような人を講師にし、技術伝授できる場をもっと多くつくる事、また、今現在実施しているものがあれば広く浸透できる体制を構築できたらと思う。</p> <p>富津市全体で障がいのある人に対しての差別をなくしてほしいです。</p> <p>これから高齢者が多くなるので、高齢者が住みやすい町になるように、特に財政面に力を入れてほしいと感じます。</p> <p>後期高齢者との接点を増やすことで健康状況を市の窓口へ繋ぐシステムの発展。</p> <p>障がい者やその家族、家庭の事をもっと親身になって相談にのってくれる人、相談できる場所を作るべきかと思います。</p> <p>金谷地区の防災無線が大変聞きづらいです。音が重なって何を言っているのか全く聞き取れないので、改善してください。</p> <p>防災無線がほとんど聞き取れず機能していない。交番、駐在所に誰もいないことが多く困る。</p>
2 くらしやすく、 移住しやすい環境づくり	<p><b>① 交通利便性を高める</b></p> <p>民間バスの1日定額乗車券の発行などをやったら助かるのではないかと思います。</p> <p>バスなどその場で支払うシステムをなくして、スムーズに乗り降りできるようにする。</p> <p>病院やスーパー等が無い地域でのコミュニティバス、タクシーなどのサービスの実施。</p> <p>交通の便が悪い。バスと電車の本数が少ない。</p> <p>買い物弱者のために公共交通（バス・JR）の充実導入に向けた取組み。</p> <p>これからますます高齢化が進み買い物が一番心配です。民間、市でもできる100円位の循環バスの設置。</p> <p>高速バス乗り場の増設。</p> <p>各駅の改修、青堀駅までの複線化。</p> <p>青堀駅に屋根を付ける。下り電車の本数を増やす。</p> <p>交通機関の充実。バスターミナルの建築。</p> <p>交通の利便性を上げ、高速バスターミナルや道の駅を設置。</p> <p>市内循環小型バスの運行。</p> <p>1時間に1本しかない電車をどうにかする。</p>

## ② 住環境の整備

飲食店、サービス業の充実（市民の満足度アップ）、ショッピングセンターや商店などと連携した集客事業や施策（市民と企業どちらにもメリットあり）。

人が生活するためには、病院や学校等の公共性のあるものの充実が不可欠。富津は少子高齢化にあり、病院の誘致が必要。大きな病院があればその病院を中心に人が集まる。その後リゾート地へ進むのか企業誘致をし、人を集めるのかが決まってくるのでは。

飲食店の増設。

医療機関（専門職）を増やす。

若い女の人向けの服を買える所を増やす。

お店などが増えれば雇用問題も少しは改善されるのと、地域の方も買い物の選択肢が増え、嬉しいのではないかと思います。

小中学生がいつもなかなか渡れずにいる交差点に信号を付ける。または、警察の方や民間の交通安全協会の方が誘導する。

飲食店や買い物施設の発展。

## ③ 移住者受け入れの環境整備

移住してきた方々に地域のしきたり等を押しつけない。

空き家を整備し、移住者を受け入れる。

外部からの入居者を支援する。

こんな田舎でも嫁に来ようと思ったのは、近くの新舞子の夕日がきれいだったから。美しい風景を SNS で発信していきます。

## ④ 生活環境の保全

街中に捨てられているごみを減らして環境をきれいにする。ポイ捨てをしない。ポイ捨てしている人を見かけたら注意する。

ごみを捨てない。

まちがきれいで気持ちよくなるためにごみを拾ったり、花を植えたりしていきたい。

生活環境を良くする。きれいなまちづくり。

夏は観光客や遊びに来る人が多いので、ごみがたくさん落ちているのを拾ったりすれば町のイメージがよくなると思います。

自分が住んでいる地域の清掃。

ごみ拾いを積極的にし、きれいにする。

手入れできない山や林を持っている人の山などに入って草取りや枝を切る。海岸の清掃ボランティアを行い、作業後に海水浴を楽しむイベントを行う。

地域の清掃活動への参加。美しいまちづくりへの協力。

ごみの分別から始まり、社会のルールをきちんと個々が守るよう努める。草などの野焼きを自宅の畑で行うことについては、みんながやっているからという考えはやめる。

## その他

古く危険な場所の修繕をする。

コミュニティバスの運行により買い物や駅までの足を確保したい。

道路整備、街灯整備をし明るいまちづくり。

特に生活環境の保全に力を入れてもらいたいです。

側溝整備、清掃を公的機関で実施してほしい。

モデルケースとなるような自然を生かした交通網の整備。

車を乗らなくなった高齢者の交通手段としてコミュニティバスなどを低料金で運営してほしい。

高齢者運転免許返納促進のためにも利便性の高いコミュニティバスの運行を希望します。

交通機関の充実。

高齢社会に向けて、コミュニティバスなどを充実し、車社会から免許返納などスムーズに移行できるような環境づくり。

他市に比べて税金が高くサービスが悪いので、内房線の複線化、高速バスターミナルを設置し、交通の利便性を高め、住みやすくする。

年配の方が多町で、年配の方の車の事故が多い中、我が家も父親や母親の免許の返納を勧めたくても公共の交通機関が不便なので、踏ん切りが付きません。バスももっと使いやすくなれば幸せと感じられるかもしれません。

細い路地がたくさんある中で、もっと街灯を増設した方がいい。暗いイメージがある。

登下校時の児童、高齢者等が利用している道路の整備。

山間地を利用した新たな都市の開発。

使っていない土地の整備。

空き家をつぶし公園をつくり遊具を増やす。道路整備（草刈り）が行き届かず事故が多い。

集会所整備。汲みとり取りトイレを水洗にしてほしい。

子供達が元気に遊べる公園（ふなばしアンデルセン公園）等の建設。

自然環境に恵まれているので、仕事ができる場所を提供して、ショッピング施設、医療機関が近くにあって、防災に強い町が住み良いと思う。

街並みの整備。里山の整備。空き家対策。

次の世代が富津市に住んでもらわなければこれから先若者がいなくなってしまうので、目先の財源より、10年後20年後の富津市にするために、自宅の敷地に家を建てる場合に補助金等を出してほしい。手続きの面でも、積極的に市が協力してくれたらこの地に住みやすい。

	<p>大きな有名大学の誘致ができたと思います。法人税を安くして、工場、企業の誘致だと思います。</p> <p>人の住んでいない家の活用。更地にして活用。</p> <p>図書館の施設充実。</p> <p>家族と安心して楽しく過ごせる施設の充実。</p> <p>老人が増えてきて、排水路の掃除など難しくなっているから、下水整備をお願いしたい。</p> <p>人口が増え、交通の便が良く、歩いて買い物に行けるなど、普段の生活が満足できる環境作りで市民が幸せを感じられるまちになると思います。</p> <p>図書館が欲しい。</p> <p>デジタル図書や図書館の充実。体験室の拡充をする。</p> <p>子供や若者が豊かに暮らせる町。図書館を各地区に設備する。</p> <p>他の土地から移り住んだ人が地域の人と良い人間関係を作れる土地であってほしい。</p> <p>市の活性化のため人口を減少から増加にしていこうため災害の少ない市を前面に PR して移住者を誘致していく。地震、台風、雪、気温等、日本一安定している地域だと思っています。</p> <p>木更津、君津より不動産が安いと思うから、若い人たちが富津に住んでくれると思う。</p> <p>通学路の草が道路まで出ているので、切ってもらいたい。</p> <p>ごみを燃やしている地域があります。洗濯物を干すことができず、本当に困ります。回収する日を決めてほしい。土日も燃やしているから、すごくストレスが溜まります。道路脇の草を刈ってほしいです。</p> <p>山遊びにしても、川遊びにしても危険な動物が増えすぎて遊べないのが現状です。駆除行為についても、かわいそうだからと反対している住民もいる。そのような考えでは、住みにくいと富津市から離れてしまう人も多くなるのではないのでしょうか。</p> <p>海がもっときれいになればいいと思う。</p> <p>私自身ができる事は思い浮かばないが、今まで通り富津市に住み続けていきたい。</p>
3 子どもの笑顔があふれるまちづくり	<p><b>① 出会いの場を創出し、結婚の希望をかなえる</b></p> <p>独身男女に結婚相談所に行くことや婚活を勧め、結婚までみんなで協力して助け合う。</p> <p>旦那の友人は独身が多いため、BBQ などを実施して積極的に女子を紹介していく。</p> <p>若い人や独身者が気軽に参加できる出会いの場の創出。</p>
	<p><b>② 出産、子育てしやすい環境の整備</b></p> <p>子供が安全に安心して登下校できるように地域のボランティアでの見守り、パトロールを行う。</p> <p>子育て中のお母さんに進んで声をかけてあげたり、温かいまなざしを向けて、積極的に子育ての応援をしていきたい。</p>



子供の安心・安全を考えていきたい。
子育てが落ち着いたら、ボランティアとして無償で放課後に勉強などを見てあげたりしたい。
若い世代が仕事と子育てを不安なくできるようなゆとりある支援をしたい。
学童の見守りをしたい。
変質者などから守るため、通学路で子供の安全が保たれるよう見守りをしていきたい。
PTA 活動や地域の活動には今後も参加していきたい。
子供が有事の際に敷地内に逃げこめることができる家に目印を貼る。
子供が放課後に安心して勉強や遊びが出来る施設があれば、ボランティアとしてみんなと交代しながら子供たちをみていきたい。
民間等の保育施設の充実をお願いしたい。
民間でもよいので、一時的にでも安心して子供を預けられる所があればと思います。
子供が安心して遊べる場所として、畑の貸出しや農業を体験させたい。

### ③ のびのび学ぶ教育環境の整備

廃校を活用し、自然（海山）の体験型施設を設置すればいいと思います。運営は、シルバー人材を活用。
廃校になった学校を都道府県と協力し再利用する。
廃校を活用して図書館などの誰でも利用できる場を作る。
廃校の活用策として、TV 撮影誘致や道の駅などの施設として利用する。

### その他

小学校の立て直しをしてあげてほしい。
現在、子供だけで遊びに行ける場所（公園、児童館）が近くにないため、人の家で遊ぶことが多い。もっと気軽に遊びに行かせることができるような場所が欲しい。
富津市の昨今の統廃合のニュースが気になります。統合した後の子供たちの心のケアや手厚さをもって進めてほしいと思います。また、教育現場を助けてくれるボランティアの方を募ってもいいと思います。
市でも、結婚相談員がいるようですが、もっと積極的に活動し、袖ヶ浦、君津と連携し、安い会費で婚活パーティーのような催しをして、出会いの場を市民に提供して下さい。
子供が気軽に遊びに行ける児童館などの設立。
「もうひとつのお家」などは随分お世話になりました。また、妊婦の時に栄養指導の教室のような所でも、その時に仲良くなった方々とは、10年以上の付き合いになります。子育ては大変しやすいように思いました。
子供も親もお弁当を持って通えるような図書館などがあれば有料でもいいので欲しい。

	<p>保育所に家庭訪問があるため子供を預けようとするのが嫌な顔をされる。とても預けにくい。何とかしてほしい。</p> <p>学童の人数が年々増加しているので富津市として施設を建ててはどうか。</p> <p>子育てはしやすい環境だと思いますが、今現在子供を預けることができず仕事をしたくてもできない状況。もう少し預けられる施設が増えればと思う。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 市の産業、仕事を創る</p>	<p><b>① 雇用の創出</b></p>
	<p>新たな雇用形態を取り入れる仕組みを導入する。働く時間を短くしても安心できる制度や、個人の時間を奪わないようにする。</p>
	<p>若者が働く場づくり。</p>
	<p>雇用に関しては、富津の求人が少なく、木更津市や君津市で探すことが多いです。若者の雇用の創出も必要だと思います。健康寿命が延びてきているため、高齢者の雇用の創出も必要だと思います。</p>
	<p>企業誘致と雇用の創出で町を活性化させたい。</p>
	<p>農業・漁業を活かした地元の名産品を開発し、道の駅等で販売し雇用を創出する。</p>
	<p>健康な高齢者が働くことのできる場の情報提供。</p>
	<p>特に雇用に力を入れてもらいたいです。</p>
	<p><b>② 地場産業の振興</b></p>
	<p>野菜づくり。</p>
	<p>脱サラして東京から富津へ移住し海苔漁師をしています。年々漁師が減少していますが、富津の海苔は全国でもトップクラスの味がある海苔だと思います。その海苔を全国に広めて海苔産業が活性化して雇用が創出できればと考えています。</p>
	<p>地産地消を積極的に進める。</p>
	<p>農家で研修しており、富津の特産を生産、加工販売して富津の名産を作りだしていきたい。</p>
	<p>ふつつんの自動販売機を作る。ふつつんのワオンを作ってほしい。ふつつんのグッズをもっと多く売り出してほしい。ふつつんとチーバくんでコラボをしてほしい。ふつつんをもっと多く出してください。</p>
	<p>街に活気が無いので、他地域のように物産所（道の駅等）を作り、人を集める。</p>
<p>食品・食物のイベントを行う。</p>	
<p><b>③ 観光の振興</b></p>	
<p>富津市は観光地が多いと思うので、地域全体でアピールしていけばいいと思う。</p>	
<p>コンサート、観劇、映画、フリーマーケット、ボロ市、市内スタンプラリー等のイベントの開催。誰でも気軽に参加できるイベントを定期的に大々的に行い、富津市の名物を作る。各地で行われている花火大会、お祭り、灯籠流し等を積極的に宣伝する。</p>	
<p>プロスポーツなど（野球、サッカーなど）の誘致活動。</p>	



富津公園を活用したイベントの促進。
観光施設などを増やし、観光客を集客する。
観光協会のインスタグラム設立。
Twitter などの SNS で地域特有の料理や観光名所の写真をアップする。友人が旅行計画を立てていたら富津市を提案する。
地元の名物品の PR を強化する。
最近の高齢者は、名峰よりも手軽に登れる低山を好むようなので、市内の鹿野山、高岩山、鋸山を富津市三低名山として PR し、高齢登山者を呼び込む。
お祭り、イベントによる地域の活性化について、既存のものだけではなく新しいものも増やし、もう少し宣伝し、周辺地域からの集客を図る。
大型客船に入港してもらい、訪日外国人の旅行客を増やす。
家の前を観光バスなどが通るため、道路に面した庭の植木などはバスにあたらないように低くカットなどをして、観光客等から見ても気分を害さないように努めています。
第一海保まで歩いて行ける歩道を作りイベントを行う。
交通手段（特に JR 内房線）を使って多くの観光客等を増やしてほしいです。
観光により知名度を上げ、差別化を図る。
土地がいっぱいあるので、今人気のある花を中心とした集客がしたい。

## 市民アンケート調査報告書

発行年月 平成 31 年 3 月  
発 行 富津市  
〒293-8506 富津市下飯野 2443 番地  
Tel 0439-80-1223  
ホームページアドレス  
<http://www.city.futtsu.lg.jp/>  
Eメールアドレス  
[info@city.futtsu.chiba.jp](mailto:info@city.futtsu.chiba.jp)  
編 集 富津市総務部企画課

